(19) **日本国特許庁(JP)**

再 公 表 特 許(A1)

(11) 国際公開番号

WO2010/110346

発行日 平成24年10月4日(2012.10.4)

(43) 国際公開日 平成22年9月30日(2010.9.30)

(51) Int.Cl.			F I		テーマコー	ド (参考)
C12Q	1/68	(2006.01)	C 1 2 Q 1/68	ZNAA	4BO24	
C12N	15/09	(2006.01)	C 1 2 N 15/00	A	4B063	
A61K	45/00	(2006.01)	A 6 1 K 45/00		4CO84	
A61P	<i>35/02</i>	(2006.01)	A 6 1 P 35/02		4CO85	
A61K	31/7088	(2006.01)	A 6 1 K 31/7088	}	4CO86	
			審査請求 未請求 予	着審査請求 未請求	(全 54 頁)	最終頁に続く

出願番号 特願2011-506104 (P2011-506104) (21) 国際出願番号 PCT/JP2010/055131

(22) 国際出願日 平成22年3月24日 (2010.3.24) (31) 優先権主張番号 特願2009-72400 (P2009-72400)

(32) 優先日 平成21年3月24日 (2009. 3. 24)

(33) 優先権主張国 日本国 (JP)

(71) 出願人 503359821

独立行政法人理化学研究所 埼玉県和光市広沢2番1号

(74)代理人 100080791

弁理士 高島 一

(74)代理人 100125070

弁理士 土井 京子

(74)代理人 100136629

弁理士 鎌田 光宜

(74)代理人 100121212

弁理士 田村 弥栄子

(74)代理人 100122688

弁理士 山本 健二

(74)代理人 100117743

弁理士 村田 美由紀

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】白血病幹細胞マーカー

(57)【要約】

ヒト白血病幹細胞(LSC)に特異的な分子標的を見出し、急性骨髄性白血病(AML)の根治につながる治療手段などの提供。

AMLの初発又は再発を予測するための試験方法であって、(1)被験者から採取した生体試料におけるLSCマーカー遺伝子の発現レベルを、当該遺伝子の転写産物又は翻訳産物を対象として測定する工程、および(2)測定工程で得られた発現レベルを基準値と比較する工程を含み、当該LSCマーカー遺伝子は、2~218の遺伝子から構成される試験方法、LSCマーカー遺伝子から選ばれる遺伝子の発現を抑制し得る物質または当該遺伝子の翻訳産物の活性を抑制し得る物質を有効成分として含有する、LSCを標的化したAMLの治療剤、並びにAML患者に対する自家移植又は同種移植のための造血細胞を含む試料の製造方法であって、少なくとも1種のLSCマーカーを指標として、LSCがパージングされた試料を得る工程を含む製造方法。LSCマーカー遺伝子は、明細書中に定義した通りである。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

急性骨髄性白血病の初発または再発を予測するための試験方法であって、

(1)被験者から採取した生体試料における白血病幹細胞マーカー遺伝子の発現レベルを 、当該遺伝子の転写産物または翻訳産物を対象として測定する工程、および

(2)測定工程で得られた発現レベルを基準値と比較する工程

を含み、当該白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

A D F P、 A L O X 5 A P、 A Z U 1、 C 3 A R 1、 C A C N B 4、 C A L C R L、 C C L 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 6、 C D 3 D、 C D 8 6、 C D 9、 C D 9 3、 C D 9 6、 C D 9 7、 C F D、 C H I 3 L 1、 C L E C 1 2 A、 C L E C L 1、 C O C H、 C S T 7、 C X C L 1、 D O K 2、 E M R 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 F U C A 2、 G P R 1 0 9 B、 G P R 1 6 0、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H A V C R 2、 H B E G F、 H C S T、 H G F、 H L A - D O B、 H O M E R 3、 I F I 3 0、 I L 1 3 R A 1、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I N H B A、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 L Y 8 6、 M A M D C 2、 M G A T 4 A、 P 2 R Y 1 4、 P 2 R Y 5、 P L A U R、 P P B P、 P R G 2、 P R S S 2 1、 P T H 2 R、 P T X 3、 R E E P 5、 R N A S E 2、 R X F P 1、 S L C 3 1 A 2、 S L C 4 3 A 3、 S L C 6 A 6、 S L C 7 A 6、 S T X 7、 S U C N R 1、 T A C S T D 2、 T I M P 1、 T M 4 S F 1、 T M 9 S F 1、 T N F、 T N F R S F 4、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P、 U T S 2 および V N N 1 からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;

AURKA、C13orf34、CCNA1、DSCC1、FAM33A、HPGD、NEK6、PYHIN1、RASSF4、TXNL4BおよびZWINTからなる細胞周期関連遺伝子;

MPO、IER3、BIK、TXNDC1、GADD45BおよびNAIPからなるアポトーシス関連遺伝子;

A K 5 、 A R H G A P 1 8 、 A R R B 1 、 D U S P 6 、 F Y B 、 H C K 、 L P X N 、 M S 4 A 3 、 P A K 1 I P 1 、 P D E 9 A 、 P D K 1 、 P R K A R 1 A 、 P R K C D 、 P X K 、 R A B 2 0 、 R A B 8 A 、 R A B I F 、 R A S G R P 3 、 R G S 1 8 および S 1 0 0 A 1 1 からなるシグナル伝達関連遺伝子;

WT1、MYCおよびHLXからなる転写因子遺伝子;ならびに

A C T R 2 、 A L O X 5 、 A N X A 2 P 2 、 A T L 3 、 A T P 6 V 1 B 2 、 A T P 6 V 1 C 1 、 A T P 6 V 1 D 、 C 1 2 o r f 5 、 C 1 7 o r f 6 0 、 C 1 8 o r f 1 9 、 C 1 G ALT1C1、C1orf135、C1orf163、C1orf186、C6orf1 5 0 、 C A L M L 4 、 C C T 5 、 C L C 、 C O M M D 8 、 C O T L 1 、 C O X 1 7 、 C R I P 1、 C S T A、 C T S A、 C T S C、 C T S G、 C Y B B、 C Y P 2 E 1、 D E N N D3、DHRS3、DLAT、DLEU2、DPH3、EFHD2、ENC1、EXOS C 3 、 F A M 1 O 7 B 、 F A M 1 2 9 A 、 F A M 3 8 B 、 F B X O 2 2 、 F L J 1 4 2 1 3、FNDC3B、GNPDA1、GRPEL1、GTSF1、HIG2、HN1、HV CN1、IDH1、IDH3A、IKIP、KIF2C、KYNU、LCMT2、ME1 、MIRN21、MKKS、MNDA、MTHFD2、MYO1B、MYO1F、NAG A、NCF2、NCF4、NDUFAF1、NP、NRIP3、OBFC2A、PARP 8 PDLIM1 PDSS1 PGM2 PIGK PIWIL4 PPCDC PP IF、PRAME、PUS7、RPP40、RRM2、S100A16、S100A8、 S 1 0 0 P 、 S 1 0 0 Z 、 S A M H D 1 、 S H 2 D 1 A 、 S P C S 2 、 S P P L 2 A 、 T ESC、THEX1、TMEM30A、TMEM33、TRIP13、TUBB6、UB A S H 3 B 、U G C G 、 V S T M 1 、 W D R 4 、 W I T 1 、 W S B 2 および Z N F 2 5 3 からなるその他の遺伝子

からなる群より選ばれる 2 ~ 2 1 8 の遺伝子であり、被験者における 2 以上の白血病幹細胞マーカー遺伝子の発現が基準値に比べて有意に高い場合、採取した生体試料中または被験者の生体内に白血病幹細胞の存在可能性が示唆される、試験方法。

10

20

30

40

【請求項2】

白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

ADFP、ALOX5AP、CACNB4、CCL5、CD33、CD3D、CD93、CD97、CLEC12A、DOK2、FCER1G、FCGR2A、FUCA2、GPR34、GPR84、HCST、HGF、HOMER3、IL2RA、IL2RG、IL3RA、ITGB2、LGALS1、LRG1、LY86、MGAT4A、P2RY5、PRSS21、PTH2R、RNASE2、SLC43A3、SUCNR1、TIMP1、TNF、TNFRSF4、TNFSF13B、TYROBP、およびVNN1からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;ZWINT、NEK6およびTXNL4Bからなる細胞周期関連遺伝子;BIKからなるアポトーシス関連遺伝子;AK5、ARHGAP18、FYB、HCK、LPXN、PDE9A、PDK1、PRKCD、RAB20、RAB8AおよびRABIFからなるシグナル伝達関連遺伝子;WT1およびHLXからなる転写因子遺伝子;ならびにCYBB、CTSCおよびNCF4からなるその他の遺伝子からなる群より選ばれる2~58の遺伝子である、請求項1に記載の試験方法。

【請求項3】

下記遺伝子群:

A D F P、 A L O X 5 A P、 A Z U 1、 C 3 A R 1、 C A C N B 4、 C A L C R L、 C C L 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 6、 C D 3 D、 C D 8 6、 C D 9、 C D 9 3、 C D 9 6、 C D 9 7、 C F D、 C H I 3 L 1、 C L E C 1 2 A、 C L E C L 1、 C O C H、 C S T 7、 C X C L 1、 D O K 2、 E M R 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 F U C A 2、 G P R 1 0 9 B、 G P R 1 6 0、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H A V C R 2、 H B E G F、 H C S T、 H G F、 H L A - D O B、 H O M E R 3、 I F I 3 0、 I L 1 3 R A 1、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I N H B A、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 L Y 8 6、 M A M D C 2、 M G A T 4 A、 P 2 R Y 1 4、 P 2 R Y 5、 P L A U R、 P P B P、 P R G 2、 P R S S 2 1、 P T H 2 R、 P T X 3、 R E E P 5、 R N A S E 2、 R X F P 1、 S L C 3 1 A 2、 S L C 4 3 A 3、 S L C 6 A 6、 S L C 7 A 6、 S T X 7、 S U C N R 1、 T A C S T D 2、 T I M P 1、 T M 4 S F 1、 T M 9 S F 1、 T N F、 T N F R S F 4、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P、 U T S 2 および V N N 1 からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;

AURKA、C13orf34、CCNA1、DSCC1、FAM33A、HPGD、NEK6、PYHIN1、RASSF4、TXNL4BおよびZWINTからなる細胞周期関連遺伝子;

MPO、IER3、BIK、TXNDC1、GADD45BおよびNAIPからなるアポトーシス関連遺伝子;

A K 5 、 A R H G A P 1 8 、 A R R B 1 、 D U S P 6 、 F Y B 、 H C K 、 L P X N 、 M S 4 A 3 、 P A K 1 I P 1 、 P D E 9 A 、 P D K 1 、 P R K A R 1 A 、 P R K C D 、 P X K 、 R A B 2 0 、 R A B 8 A 、 R A B I F 、 R A S G R P 3 、 R G S 1 8 および S 1 0 0 A 1 1 からなるシグナル伝達関連遺伝子;

WT1、MYCおよびHLXからなる転写因子遺伝子;ならびに

A C T R 2 、 A L O X 5 、 A N X A 2 P 2 、 A T L 3 、 A T P 6 V 1 B 2 、 A T P 6 V 1 C 1 、 A T P 6 V 1 D 、 C 1 2 o r f 5 、 C 1 7 o r f 6 0 、 C 1 8 o r f 1 9 、 C 1 G A L T 1 C 1 、 C 1 o r f 1 3 5 、 C 1 o r f 1 6 3 、 C 1 o r f 1 8 6 、 C 6 o r f 1 5 0 、 C A L M L 4 、 C C T 5 、 C L C 、 C O M M D 8 、 C O T L 1 、 C O X 1 7 、 C R I P 1 、 C S T A 、 C T S A 、 C T S C 、 C T S G 、 C Y B B 、 C Y P 2 E 1 、 D E N N D 3 、 D H R S 3 、 D L A T 、 D L E U 2 、 D P H 3 、 E F H D 2 、 E N C 1 、 E X O S C 3 、 F A M 1 0 7 B 、 F A M 1 2 9 A 、 F A M 3 8 B 、 F B X O 2 2 、 F L J 1 4 2 1 3 、 F N D C 3 B 、 G N P D A 1 、 G R P E L 1 、 G T S F 1 、 H I G 2 、 H N 1 、 H V C N 1 、 I D H 1 、 I D H 3 A 、 I K I P 、 K I F 2 C 、 K Y N U 、 L C M T 2 、 M E 1 、 M I R N 2 1 、 M K K S 、 M N D A 、 M T H F D 2 、 M Y O 1 B 、 M Y O 1 F 、 N A G A 、 N C F 2 、 N C F 4 、 N D U F A F 1 、 N P 、 N R I P 3 、 O B F C 2 A 、 P A R P

10

20

30

40

8、PDLIM1、PDSS1、PGM2、PIGK、PIWIL4、PPCDC、PPIF、PRAME、PUS7、RPP40、RRM2、S100A16、S100A8、S100P、S100Z、SAMHD1、SH2D1A、SPCS2、SPPL2A、TESC、THEX1、TMEM30A、TMEM33、TRIP13、TUBB6、UBASH3B、UGCG、VSTM1、WDR4、WIT1、WSB2およびZNF253からなるその他の遺伝子

からなる白血病幹細胞マーカー遺伝子から選ばれる遺伝子の発現を抑制し得る物質または当該遺伝子の翻訳産物の活性を抑制し得る物質を有効成分として含有する、白血病幹細胞を標的化した急性骨髄性白血病の治療剤。

【請求項4】

白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

A D F P 、 A L O X 5 A P 、 C A C N B 4 、 C C L 5 、 C D 3 3 、 C D 3 D 、 C D 9 3 、 C D 9 7 、 C L E C 1 2 A 、 D O K 2 、 F C E R 1 G 、 F C G R 2 A 、 F U C A 2 、 G P R 3 4 、 G P R 8 4 、 H C S T 、 H G F 、 H O M E R 3 、 I L 2 R A 、 I L 2 R G 、 I L 3 R A 、 I T G B 2 、 L G A L S 1 、 L R G 1 、 L Y 8 6 、 M G A T 4 A 、 P 2 R Y 5 、 P R S S 2 1 、 P T H 2 R 、 R N A S E 2 、 S L C 4 3 A 3 、 S U C N R 1 、 T I M P 1 、 T N F 、 T N F R S F 4 、 T N F S F 1 3 B 、 T Y R O B P 、 および V N N 1 からなる 細胞膜または細胞外局在遺伝子; Z W I N T 、 N E K 6 および T X N L 4 B からなる 細胞 周期関連遺伝子; B I K からなる アポトーシス関連遺伝子; A K 5 、 A R H G A P 1 8 、 F Y B 、 H C K 、 L P X N 、 P D E 9 A 、 P D K 1 、 P R K C D 、 R A B 2 0 、 R A B 8 A および R A B I F からなる シグナル 伝達関連遺伝子; W T 1 および H L X からなる 転写 因子遺伝子; ならびに C Y B B 、 C T S C および N C F 4 からなる その他の遺伝子からなる 群より選ばれる、請求項 3 に記載の治療剤。

【請求項5】

白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

ALOX5AP、CACNB4、CCL5、CD33、CD3D、CD93、CD97、 CLEC12A、DOK2、FCGR2A、GPR84、HCST、HOMER3、IT GB2、LGALS1、LRG1、PTH2R、RNASE2、TNF、TNFSF13 B、TYROBPおよびVNN1からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;NEK6から なる細胞周期関連遺伝子;BIKからなるアポトーシス関連遺伝子;AK5、FYB、H CK、LPXN、PDE9A、PDK1、PRKCDおよびRAB20からなるシグナル 伝達関連遺伝子;WT1からなる転写因子遺伝子;ならびにCTSCおよびNCF4から なるその他の遺伝子からなる群より選ばれる、請求項3に記載の治療剤。

【請求項6】

白血病幹細胞マーカー遺伝子が、骨髄のニッチに存在し、細胞周期が静止し、かつ抗癌剤抵抗性の幹細胞に発現するマーカーであって、AK5、BIK、DOK2、FCGR2A、IL2RA、LRG1、SUCNR1およびWT1からなる群より選ばれる、請求項3に記載の治療剤。

【請求項7】

遺伝子の発現を抑制し得る物質がアンチセンス核酸またはRNAi誘導性核酸である、 請求項3~6のいずれか一項に記載の治療剤。

【請求項8】

翻訳産物の活性を抑制し得る物質がアプタマーまたは抗体である、請求項3~6のいずれか一項に記載の治療剤。

【請求項9】

抗体が抗体と抗癌物質とのイムノコンジュゲートである、請求項8に記載の治療剤。

【請求項10】

急性骨髄性白血病患者に対する自家移植または同種移植のための造血細胞を含む試料の製造方法であって、

a)当該患者またはドナーから造血細胞を含む試料を採取する工程、

10

20

30

20

30

40

50

b)採取した試料と、下記遺伝子群:

A D F P、 A L O X 5 A P、 A Z U 1、 C 3 A R 1、 C A C N B 4、 C A L C R L、 C C L 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 6、 C D 3 D、 C D 8 6、 C D 9、 C D 9 3、 C D 9 6、 C D 9 7、 C F D、 C H I 3 L 1、 C L E C 1 2 A、 C L E C L 1、 C O C H、 C S T 7、 C X C L 1、 D O K 2、 E M R 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 F U C A 2、 G P R 1 0 9 B、 G P R 1 6 0、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H A V C R 2、 H B E G F、 H C S T、 H G F、 H L A - D O B、 H O M E R 3、 I F I 3 0、 I L 1 3 R A 1、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I N H B A、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 L Y 8 6、 M A M D C 2、 M G A T 4 A、 P 2 R Y 1 4、 P 2 R Y 5、 P L A U R、 P P B P、 P R G 2、 P R S S 2 1、 P T H 2 R、 P T X 3、 R E E P 5、 R N A S E 2、 R X F P 1、 S L C 3 1 A 2、 S L C 4 3 A 3、 S L C 6 A 6、 S L C 7 A 6、 S T X 7、 S U C N R 1、 T A C S T D 2、 T I M P 1、 T M 4 S F 1、 T M 9 S F 1、 T N F、 T N F R S F 4、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P、 U T S 2 および V N N 1 からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;

A U R K A、C 1 3 o r f 3 4、C C N A 1、D S C C 1、F A M 3 3 A、H P G D、N E K 6、P Y H I N 1、R A S S F 4、T X N L 4 B および Z W I N T からなる細胞周期関連遺伝子;

MPO、IER3、BIK、TXNDC1、GADD45BおよびNAIPからなるアポトーシス関連遺伝子;

A K 5 、 A R H G A P 1 8 、 A R R B 1 、 D U S P 6 、 F Y B 、 H C K 、 L P X N 、 M S 4 A 3 、 P A K 1 I P 1 、 P D E 9 A 、 P D K 1 、 P R K A R 1 A 、 P R K C D 、 P X K 、 R A B 2 0 、 R A B 8 A 、 R A B I F 、 R A S G R P 3 、 R G S 1 8 および S 1 0 0 A 1 1 からなるシグナル伝達関連遺伝子;

WT1、MYCおよびHLXからなる転写因子遺伝子;ならびに

A C T R 2 、 A L O X 5 、 A N X A 2 P 2 、 A T L 3 、 A T P 6 V 1 B 2 、 A T P 6 V 1 C1、ATP6V1D、C12orf5、C17orf60、C18orf19、C1G ALT1C1, C1orf135, C1orf163, C1orf186, C6orf1 5 0 、 C A L M L 4 、 C C T 5 、 C L C 、 C O M M D 8 、 C O T L 1 、 C O X 1 7 、 C R IP1、CSTA、CTSA、CTSC、CTSG、CYBB、CYP2E1、DENN D3、DHRS3、DLAT、DLEU2、DPH3、EFHD2、ENC1、EXOS C 3 、 F A M 1 O 7 B 、 F A M 1 2 9 A 、 F A M 3 8 B 、 F B X O 2 2 、 F L J 1 4 2 1 3、FNDC3B、GNPDA1、GRPEL1、GTSF1、HIG2、HN1、HV CN1、IDH1、IDH3A、IKIP、KIF2C、KYNU、LCMT2、ME1 、MIRN21、MKKS、MNDA、MTHFD2、MYO1B、MYO1F、NAG A、NCF2、NCF4、NDUFAF1、NP、NRIP3、OBFC2A、PARP 8、PDLIM1、PDSS1、PGM2、PIGK、PIWIL4、PPCDC、PP IF、PRAME、PUS7、RPP40、RRM2、S100A16、S100A8、 S 1 0 0 P 、 S 1 0 0 Z 、 S A M H D 1 、 S H 2 D 1 A 、 S P C S 2 、 S P P L 2 A 、 T ESC、THEX1、TMEM30A、TMEM33、TRIP13、TUBB6、UB ASH3B、UGCG、VSTM1、WDR4、WIT1、WSB2およびZNF253 からなるその他の遺伝子

から選ばれる少なくとも 1 種の白血病幹細胞マーカー遺伝子の翻訳産物を認識する物質とを接触させる工程、ならびに

c)前記物質が結合した細胞を選別し、白血病幹細胞がパージングされた試料を得る工程 を含む、製造方法。

【請求項11】

白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

A D F P、 A L O X 5 A P、 C A C N B 4、 C D 3 3、 C D 3 D、 C D 9 3、 C D 9 7、 C L E C 1 2 A、 D O K 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H C S T、 H O M E R 3、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I T G B 2、 L Y 8 6、

P 2 R Y 5 、 P T H 2 R 、 S U C N R 1 、 T N F R S F 4 、 T Y R O B P および V N N 1 から選ばれる少なくとも 1 種の細胞表面マーカー遺伝子である、請求項 1 0 に記載の製造方法。

【請求項12】

下記遺伝子群:

A D F P、 A L O X 5 A P、 A Z U 1、 C 3 A R 1、 C A C N B 4、 C A L C R L、 C C L 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 6、 C D 3 D、 C D 8 6、 C D 9、 C D 9 3、 C D 9 6、 C D 9 7、 C F D、 C H I 3 L 1、 C L E C 1 2 A、 C L E C L 1、 C O C H、 C S T 7、 C X C L 1、 D O K 2、 E M R 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 F U C A 2、 G P R 1 0 9 B、 G P R 1 6 0、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H A V C R 2、 H B E G F、 H C S T、 H G F、 H L A - D O B、 H O M E R 3、 I F I 3 0、 I L 1 3 R A 1、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I N H B A、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 L Y 8 6、 M A M D C 2、 M G A T 4 A、 P 2 R Y 1 4、 P 2 R Y 5、 P L A U R、 P P B P、 P R G 2、 P R S S 2 1、 P T H 2 R、 P T X 3、 R E E P 5、 R N A S E 2、 R X F P 1、 S L C 3 1 A 2、 S L C 4 3 A 3、 S L C 6 A 6、 S L C 7 A 6、 S T X 7、 S U C N R 1、 T A C S T D 2、 T I M P 1、 T M 4 S F 1、 T M 9 S F 1、 T N F、 T N F R S F 4、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P、 U T S 2 および V N N 1 からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子:

AURKA、C13orf34、CCNA1、DSCC1、FAM33A、HPGD、NEK6、PYHIN1、RASSF4、TXNL4BおよびZWINTからなる細胞周期関連遺伝子;

M P O 、 I E R 3 、 B I K 、 T X N D C 1 、 G A D D 4 5 B および N A I P からなるアポトーシス関連遺伝子;

A K 5、 A R H G A P 1 8、 A R R B 1、 D U S P 6、 F Y B、 H C K、 L P X N、 M S 4 A 3、 P A K 1 I P 1、 P D E 9 A、 P D K 1、 P R K A R 1 A、 P R K C D、 P X K R A B 2 0、 R A B 8 A、 R A B I F、 R A S G R P 3、 R G S 1 8 および S 1 0 0 A 1 1 からなるシグナル伝達関連遺伝子;

WT1、MYCおよびHLXからなる転写因子遺伝子;ならびに

A C T R 2 、 A L O X 5 、 A N X A 2 P 2 、 A T L 3 、 A T P 6 V 1 B 2 、 A T P 6 V 1 C1、ATP6V1D、C12orf5、C17orf60、C18orf19、C1G ALT1C1、C1orf135、C1orf163、C1orf186、C6orf1 5 0 、 C A L M L 4 、 C C T 5 、 C L C 、 C O M M D 8 、 C O T L 1 、 C O X 1 7 、 C R I P 1 、 C S T A 、 C T S A 、 C T S C 、 C T S G 、 C Y B B 、 C Y P 2 E 1 、 D E N N D3、DHRS3、DLAT、DLEU2、DPH3、EFHD2、ENC1、EXOS C 3 、 F A M 1 0 7 B 、 F A M 1 2 9 A 、 F A M 3 8 B 、 F B X O 2 2 、 F L J 1 4 2 1 3、FNDC3B、GNPDA1、GRPEL1、GTSF1、HIG2、HN1、HV CN1、IDH1、IDH3A、IKIP、KIF2C、KYNU、LCMT2、ME1 、MIRN21、MKKS、MNDA、MTHFD2、MYO1B、MYO1F、NAG A、NCF2、NCF4、NDUFAF1、NP、NRIP3、OBFC2A、PARP 8 、 P D L I M 1 、 P D S S 1 、 P G M 2 、 P I G K 、 P I W I L 4 、 P P C D C 、 P P IF、PRAME、PUS7、RPP40、RRM2、S100A16、S100A8、 S 1 0 0 P、S 1 0 0 Z、S A M H D 1、S H 2 D 1 A、S P C S 2、S P P L 2 A、T ESC、THEX1、TMEM30A、TMEM33、TRIP13、TUBB6、UB A S H 3 B 、U G C G 、 V S T M 1 、 W D R 4 、 W I T 1 、 W S B 2 および Z N F 2 5 3 からなるその他の遺伝子

からなる白血病幹細胞マーカー遺伝子から選ばれる遺伝子の発現を抑制し得る物質または 当該遺伝子の翻訳産物の活性を抑制し得る物質の有効量を対象に投与することを含む、白 血病幹細胞を標的化した急性骨髄性白血病の予防または治療方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

20

30

40

[0001]

本発明は、白血病幹細胞マーカーに関し、急性骨髄性白血病の治療分野に関するものである。

【背景技術】

[0002]

急性骨髄性白血病(AML)は、最も一般的な頻度(発症率)の高い成人白血病であり、稀な白血病幹細胞(LSC)から始まる未熟な骨髄芽球のクローン性の増殖によって特徴付けられる(非特許文献1~3)。ヒトLSCの機能的特徴および分子的特徴は、大部分が不明である。従来の化学療法剤はAMLを一時的に寛解し得るものの、後になって再発することが患者を救うことができない困難な問題となっており、有効な治療剤および治療方法の開発のためには、これまでに知られていない白血病の性質を明らかにすることによる再発メカニズムの解明が強く望まれている。

[0003]

最近の研究は、白血病ならびに癌の一定の割合が不均一な細胞画分からなり、クローン性に増殖可能な均一な細胞集団から構成されていないことを明らかにした。LapidotとDickは、急性骨髄性白血病(AML)でそのような不均一性を同定し、CB17-scidおよびNOD/SCIDマウスでCD34+CD38-細胞が選択的に移植することを報告した(非特許文献4)。

[0004]

本発明者らは、マウスでなくヒトのAML、特に細胞株でない個々の患者のAMLの特 徴を再現することができ、長期間評価にたえ得る動物モデルの開発に成功した(非特許文 献 5 、 特 許 出 願 PCT / JP2008 / 068892)。 最 も 高 感 度 の ヒト 幹 細 胞 ア ッ セ イの1つである新生NOD/SCID/IL2rgKOマウスモデルを用いて、本発明者 らは、CD34+CD38-AML細胞がアメリカ癌学会(American Asso ciation for Cancer Research)が推奨する癌幹細胞のすべ ての基準に合致することをさらに同定した(非特許文献6)。具体的には、CD34+C D38-AML細胞は自己複製し、非幹白血病細胞を発生させ、生体内でAMLを発症さ せる独占的能力を有する。NOD/SCID/IL2rgKOマウスで原発性ヒトAML を繰り返すことにより、本発明者らは、本疾患の実体において最も重大な問題である化学 療 法 耐 性 お よ び 再 発 の 根 底 に あ る メ カ ニ ズ ム を 探 求 し 、 ヒ ト A M L 幹 細 胞 に 関 し て 下 記 2 つの必須の特性を同定した。第一に、AML幹細胞は骨髄の骨内膜領域に優先的に存在し . ヒトAML移植マウスを化学療法剤で処置した場合、化学療法耐性AML細胞の大多数 が骨 芽 細 胞 二 ッ チ 内 に 見 い だ さ れ た 。 第 二 に 、 A M L 幹 細 胞 (C D 3 4 + C D 3 8 + お よ び C D 3 4 - A M L 細胞ではない)は静止しており、それ故、細胞周期依存性の化学療法 剤に対して耐性を示す。これらの組織学的実験および細胞周期解析は、多数のAML患者 が化学療法誘導を介して寛解を獲得するが最終的には再発を経験するという臨床的経験と 一致する。LSCを根絶させるように設計された新規治療戦略の開発は、AMLの再発を 克服する厳密なステップであると思われる。

【先行技術文献】

【非特許文献】

[0005]

【非特許文献1】Passegue, E., Jamieson, C.H., Ailes, L.E. & Weissman, I.L. Normal and leukemic hematopoiesis: are leukemias astem cell disorder or a reacquisition of stem cell characteristics? Proc Natl Acad Sci U S A 100 Suppl 1, 11842-11849 (2003).

【非特許文献 2】Hope, K.J., Jin, L. & Dick, J.E. Acute myeloid leukemia originates from 10

20

30

40

hierarchy of leukemic stem cell classe s that differ in self-renewal capacity. Immunol 5, 738-743 (2004).

【非特許文献 3】 Jordan, C.T. & Guzman, M.L. anisms controlling pathogenesis and surv ival of leukemic stem cells. Oncogene 23 7178-7187 (2004).

【非特許文献4】Lapidot, T. et al. A cell initia ting human acute myeloid leukaemia after transplantation into SCID mice. Nature 367, 645-648 (1994).

【非特許文献 5】 I shikawa, F. et al. Chemotherapy -resistant human AML stem cells home and engraft within the bone marrow endos teal region. Nature Biotechnol 25:1315-1 3 2 1 (2 0 0 7) .

【非特許文献 6】 Clarke, M.F. et al. Cancer stem cells--perspectives on current status d future directions: AACR Workshop on ca ncer stem cells. Cancer Res 66, 9339-934 4 (2006).

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

[00006]

解決しようとする課題は、ヒト白血病幹細胞(LSC)に特異的な分子標的を見出し、 急性骨髄性白血病(AML)の根治につながる治療手段などの提供である。

【課題を解決するための手段】

[0007]

本発明者らは、LSCと非幹細胞との間で示差的に発現する遺伝子群を見出し、これら の遺伝子がAMLの治療標的となる可能性を提案してきた(Ishikawa F. al. Nature Biotechnol 25:1315-1321, 7 および P C T / J P 2 0 0 8 / 0 6 8 8 9 2)が、同時に正常の造血幹細胞(H S C) においても示差的に発現している可能性を排除しきれていなかった。すなわち、LSCと 非幹細胞との比較のみならず、LSCとHSCとの間で示差的に発現する遺伝子群を標的 として同定することにより、初めて副作用の少ないAMLの治療剤ならびに治療方法が実 現されるのである。本発明者らは、ヒトAMLが再現できるモデルマウス(NOD/SC ID/IL2 rg ^{n u l l} マウスにヒトAML患者由来の白血病幹細胞含有物を移植した マウス)を開発し、少量のAML患者由来の骨髄細胞を移植し、当該モデル動物内でAM Lの病態を再構築することに成功した。そしてAML患者由来およびAML移植マウス由 来のLSCならびに健常ドナー由来の骨髄試料および臍帯血試料(HSCが含まれる)を 準備して網羅的に解析を進め、本発明を完成させるに至った。

[00008]

すなわち、本発明は以下を提供する。

[1]急性骨髄性白血病の初発または再発を予測するための試験方法であって、

(1)被験者から採取した生体試料における白血病幹細胞マーカー遺伝子の発現レベルを 、当該遺伝子の転写産物または翻訳産物を対象として測定する工程、および

(2)測定工程で得られた発現レベルを基準値と比較する工程

を含み、当該白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

ADFP、ALOX5AP、AZU1、C3AR1、CACNB4、CALCRL、CC L 4 、 C C L 5 、 C D 3 3 、 C D 3 6 、 C D 3 D 、 C D 8 6 、 C D 9 、 C D 9 3 、 C D 9 10

20

30

40

6、CD97、CFD、CHI3L1、CLEC12A、CLECL1、COCH、CST7、CXCL1、DOK2、EMR2、FCER1G、FCGR2A、FUCA2、GPR109B、GPR160、GPR34、HAVCR2、HBEGF、HCST、HGF、HGF、HLA-DOB、HOMER3、IFI30、IL13RA1、IL2RA1、LY86、MAMDC2、MGAT4A、P2RY14、P2RY5、PLAUR、PPBP、PRG2、PRSS21、PTH2R、PTX3、REEP5、RNASE2、RXFP1、SLC31A2、SLC43A3、SLC6A6、SLC7A6、STX7、SUCNR1、TACST1、TMP1、TM4SF1、TM9SF1、TNF、TNFRSF4、TNFSF13B、TYROBP、UTS2およびVNN1からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;

AURKA、C13orf34、CCNA1、DSCC1、FAM33A、HPGD、NEK6、PYHIN1、RASSF4、TXNL4BおよびZWINTからなる細胞周期関連遺伝子;

MPO、IER3、BIK、TXNDC1、GADD45BおよびNAIPからなるアポトーシス関連遺伝子:

A K 5 、 A R H G A P 1 8 、 A R R B 1 、 D U S P 6 、 F Y B 、 H C K 、 L P X N 、 M S 4 A 3 、 P A K 1 I P 1 、 P D E 9 A 、 P D K 1 、 P R K A R 1 A 、 P R K C D 、 P X K 、 R A B 2 0 、 R A B 8 A 、 R A B I F 、 R A S G R P 3 、 R G S 1 8 および S 1 0 0 A 1 1 からなるシグナル伝達関連遺伝子;

WT1、MYCおよびHLXからなる転写因子遺伝子;ならびに

A C T R 2 、 A L O X 5 、 A N X A 2 P 2 、 A T L 3 、 A T P 6 V 1 B 2 、 A T P 6 V 1 C1、ATP6V1D、C12orf5、C17orf60、C18orf19、C1G ALT1C1、C1orf135、C1orf163、C1orf186、C6orf1 5 0 、 C A L M L 4 、 C C T 5 、 C L C 、 C O M M D 8 、 C O T L 1 、 C O X 1 7 、 C R IP1、CSTA、CTSA、CTSC、CTSG、CYBB、CYP2E1、DENN D3、DHRS3、DLAT、DLEU2、DPH3、EFHD2、ENC1、EXOS C 3 、 F A M 1 O 7 B 、 F A M 1 2 9 A 、 F A M 3 8 B 、 F B X O 2 2 、 F L J 1 4 2 1 3、FNDC3B、GNPDA1、GRPEL1、GTSF1、HIG2、HN1、HV CN1、IDH1、IDH3A、IKIP、KIF2C、KYNU、LCMT2、ME1 、MIRN21、MKKS、MNDA、MTHFD2、MYO1B、MYO1F、NAG A、NCF2、NCF4、NDUFAF1、NP、NRIP3、OBFC2A、PARP 8 、 P D L I M 1 、 P D S S 1 、 P G M 2 、 P I G K 、 P I W I L 4 、 P P C D C 、 P P IF、PRAME、PUS7、RPP40、RRM2、S100A16、S100A8、 S 1 0 0 P 、 S 1 0 0 Z 、 S A M H D 1 、 S H 2 D 1 A 、 S P C S 2 、 S P P L 2 A 、 T ESC、THEX1、TMEM30A、TMEM33、TRIP13、TUBB6、UB ASH3B、UGCG、VSTM1、WDR4、WIT1、WSB2およびZNF253 からなるその他の遺伝子

からなる群より選ばれる 2 ~ 2 1 8 の遺伝子であり、被験者における 2 以上の白血病幹細胞マーカー遺伝子の発現が基準値に比べて有意に高い場合、採取した生体試料中または被験者の生体内に白血病幹細胞の存在可能性が示唆される、試験方法。

[2]白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

A D F P 、 A L O X 5 A P 、 C A C N B 4 、 C C L 5 、 C D 3 3 、 C D 3 D 、 C D 9 3 、 C D 9 7 、 C L E C 1 2 A 、 D O K 2 、 F C E R 1 G 、 F C G R 2 A 、 F U C A 2 、 G P R 3 4 、 G P R 8 4 、 H C S T 、 H G F 、 H O M E R 3 、 I L 2 R A 、 I L 2 R G 、 I L 3 R A 、 I T G B 2 、 L G A L S 1 、 L R G 1 、 L Y 8 6 、 M G A T 4 A 、 P 2 R Y 5 、 P R S S 2 1 、 P T H 2 R 、 R N A S E 2 、 S L C 4 3 A 3 、 S U C N R 1 、 T I M P 1 、 T N F 、 T N F R S F 4 、 T N F S F 1 3 B 、 T Y R O B P 、 および V N N 1 からなる 細胞 膜または 細胞 外局 在遺伝子; Z W I N T 、 N E K 6 および T X N L 4 B からなる 細胞 周期 関連遺伝子; B I K からなる アポトーシス 関連遺伝子; A K 5 、 A R H G A P 1 8 、

10

20

30

40

20

30

40

50

FYB、HCK、LPXN、PDE9A、PDK1、PRKCD、RAB20、RAB8 AおよびRABIFからなるシグナル伝達関連遺伝子;WT1およびHLXからなる転写 因子遺伝子;ならびにCYBB、CTSCおよびNCF4からなるその他の遺伝子からな る群より選ばれる2~58の遺伝子である、[1]に記載の試験方法。

「3]下記遺伝子群:

A D F P、 A L O X 5 A P、 A Z U 1、 C 3 A R 1、 C A C N B 4、 C A L C R L、 C C L 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 6、 C D 3 D、 C D 8 6、 C D 9、 C D 9 3、 C D 9 3、 C D 9 6、 C D 9 7、 C F D、 C H I 3 L 1、 C L E C 1 2 A、 C L E C L 1、 C O C H、 C S T 7、 C X C L 1、 D O K 2、 E M R 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 F U C A 2、 G P R 1 0 9 B、 G P R 1 6 0、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H A V C R 2、 H B E G F、 H C S T、 H G F、 H L A - D O B、 H O M E R 3、 I F I 3 0、 I L 1 3 R A 1、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I N H B A、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 L Y 8 6、 M A M D C 2、 M G A T 4 A、 P 2 R Y 1 4、 P 2 R Y 5、 P L A U R、 P P B P、 P R G 2、 P R S S 2 1、 P T H 2 R、 P T X 3、 R E E P 5、 R N A S E 2、 R X F P 1、 S L C 3 1 A 2、 S L C 4 3 A 3、 S L C 6 A 6、 S L C 7 A 6、 S T X 7、 S U C N R 1、 T A C S T D 2、 T I M P 1、 T M 4 S F 1、 T M 9 S F 1、 T N F、 T N F R S F 4、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P、 U T S 2 および V N N 1 からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;

AURKA、C13orf34、CCNA1、DSCC1、FAM33A、HPGD、NEK6、PYHIN1、RASSF4、TXNL4BおよびZWINTからなる細胞周期関連遺伝子;

MPO、IER3、BIK、TXNDC1、GADD45BおよびNAIPからなるアポトーシス関連遺伝子;

A K 5 、 A R H G A P 1 8 、 A R R B 1 、 D U S P 6 、 F Y B 、 H C K 、 L P X N 、 M S 4 A 3 、 P A K 1 I P 1 、 P D E 9 A 、 P D K 1 、 P R K A R 1 A 、 P R K C D 、 P X K 、 R A B 2 0 、 R A B 8 A 、 R A B I F 、 R A S G R P 3 、 R G S 1 8 および S 1 0 0 A 1 1 からなるシグナル伝達関連遺伝子;

WT1、MYCおよびHLXからなる転写因子遺伝子;ならびに

A C T R 2 、 A L O X 5 、 A N X A 2 P 2 、 A T L 3 、 A T P 6 V 1 B 2 、 A T P 6 V 1 C1、ATP6V1D、C12orf5、C17orf60、C18orf19、C1G ALT1C1、C1orf135、C1orf163、C1orf186、C6orf1 5 0 、 C A L M L 4 、 C C T 5 、 C L C 、 C O M M D 8 、 C O T L 1 、 C O X 1 7 、 C R I P 1、 C S T A、 C T S A、 C T S C、 C T S G、 C Y B B、 C Y P 2 E 1、 D E N N D3、DHRS3、DLAT、DLEU2、DPH3、EFHD2、ENC1、EXOS C 3 、 F A M 1 O 7 B 、 F A M 1 2 9 A 、 F A M 3 8 B 、 F B X O 2 2 、 F L J 1 4 2 1 3、FNDC3B、GNPDA1、GRPEL1、GTSF1、HIG2、HN1、HV CN1、IDH1、IDH3A、IKIP、KIF2C、KYNU、LCMT2、ME1 、MIRN21、MKKS、MNDA、MTHFD2、MYO1B、MYO1F、NAG A、NCF2、NCF4、NDUFAF1、NP、NRIP3、OBFC2A、PARP 8、PDLIM1、PDSS1、PGM2、PIGK、PIWIL4、PPCDC、PP IF、PRAME、PUS7、RPP40、RRM2、S100A16、S100A8、 S 1 0 0 P 、 S 1 0 0 Z 、 S A M H D 1 、 S H 2 D 1 A 、 S P C S 2 、 S P P L 2 A 、 T ESC、THEX1、TMEM30A、TMEM33、TRIP13、TUBB6、UB ASH3B、UGCG、VSTM1、WDR4、WIT1、WSB2およびZNF253

からなる白血病幹細胞マーカー遺伝子から選ばれる遺伝子の発現を抑制し得る物質または 当該遺伝子の翻訳産物の活性を抑制し得る物質を有効成分として含有する、白血病幹細胞 を標的化した急性骨髄性白血病の治療剤。

[4]白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

からなるその他の遺伝子

ADFP、ALOX5AP、CACNB4、CCL5、CD33、CD3D、CD93、

CD97、CLEC12A、DOK2、FCER1G、FCGR2A、FUCA2、GPR34、GPR84、HCST、HGF、HOMER3、IL2RA、IL2RG、IL3RA、ITGB2、LGALS1、LRG1、LY86、MGAT4A、P2RY5、PRSS21、PTH2R、RNASE2、SLC43A3、SUCNR1、TIMP1、TNF、TNFRSF4、TNFSF13B、TYROBP、およびVNN1からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;ZWINT、NEK6およびTXNL4Bからなる細胞周期関連遺伝子;BIKからなるアポトーシス関連遺伝子;AK5、ARHGAP18、FYB、HCK、LPXN、PDE9A、PDK1、PRKCD、RAB20、RAB8AおよびRABIFからなるシグナル伝達関連遺伝子;WT1およびHLXからなる転写因子;ならびにCYBB、CTSCおよびNCF4からなるその他の遺伝子からなる群より選ばれる、[3]に記載の治療剤。

[5]白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

ALOX5AP、CACNB4、CCL5、CD33、CD3D、CD93、CD97、CLEC12A、DOK2、FCGR2A、GPR84、HCST、HOMER3、ITGB2、LGALS1、LRG1、PTH2R、RNASE2、TNF、TNFSF13B、TYROBPおよびVNN1からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;NEK6からなる細胞周期関連遺伝子;BIKからなるアポトーシス関連遺伝子;AK5、FYB、HCK、LPXN、PDE9A、PDK1、PRKCDおよびRAB20からなるシグナル伝達関連遺伝子;WT1からなる転写因子遺伝子;ならびにCTSCおよびNCF4からなるその他の遺伝子からなる群より選ばれる、[3]に記載の治療剤。

[6]白血病幹細胞マーカー遺伝子が、骨髄のニッチに存在し、細胞周期が静止し、かつ抗癌剤抵抗性の幹細胞に発現するマーカーであって、AK5、BIK、DOK2、FCGR2A、IL2RA、LRG1、SUCNR1およびWT1からなる群より選ばれる、[3]に記載の治療剤。

[7]遺伝子の発現を抑制し得る物質がアンチセンス核酸またはRNAi誘導性核酸である、[3]~[6]のいずれか一に記載の治療剤。

[8]翻訳産物の活性を抑制し得る物質がアプタマーまたは抗体である、[3]~[6] のいずれかーに記載の治療剤。

[9]抗体が抗体と抗癌物質とのイムノコンジュゲートである、[8]に記載の治療剤。

[10]急性骨髄性白血病患者に対する自家移植または同種移植のための造血細胞を含む 試料の製造方法であって、

a)当該患者またはドナーから造血細胞を含む試料を採取する工程、

b)採取した試料と、下記遺伝子群:

A D F P、 A L O X 5 A P、 A Z U 1、 C 3 A R 1、 C A C N B 4、 C A L C R L、 C C L 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 6、 C D 3 D、 C D 8 6、 C D 9、 C D 9 3、 C D 9 6、 C D 9 7、 C F D、 C H I 3 L 1、 C L E C 1 2 A、 C L E C L 1、 C O C H、 C S T 7、 C X C L 1、 D O K 2、 E M R 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 F U C A 2、 G P R 1 0 9 B、 G P R 1 6 0、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H A V C R 2、 H B E G F、 H C S T、 H G F、 H L A - D O B、 H O M E R 3、 I F I 3 0、 I L 1 3 R A 1、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I N H B A、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 L Y 8 6、 M A M D C 2、 M G A T 4 A、 P 2 R Y 1 4、 P 2 R Y 5、 P L A U R、 P P B P、 P R G 2、 P R S S 2 1、 P T H 2 R、 P T X 3、 R E E P 5、 R N A S E 2、 R X F P 1、 S L C 3 1 A 2、 S L C 4 3 A 3、 S L C 6 A 6、 S L C 7 A 6、 S T X 7、 S U C N R 1、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P、 U T S 2 および V N N 1 からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;

AURKA、C13orf34、CCNA1、DSCC1、FAM33A、HPGD、NEK6、PYHIN1、RASSF4、TXNL4BおよびZWINTからなる細胞周期関連遺伝子;

MPO、IER3、BIK、TXNDC1、GADD45BおよびNAIPからなるアポ

10

20

30

40

20

30

40

50

トーシス関連遺伝子;

A K 5 、 A R H G A P 1 8 、 A R R B 1 、 D U S P 6 、 F Y B 、 H C K 、 L P X N 、 M S 4 A 3 、 P A K 1 I P 1 、 P D E 9 A 、 P D K 1 、 P R K A R 1 A 、 P R K C D 、 P X K 、 R A B 2 0 、 R A B 8 A 、 R A B I F 、 R A S G R P 3 、 R G S 1 8 および S 1 0 0 A 1 1 からなるシグナル伝達関連遺伝子;

WT1、MYCおよびHLXからなる転写因子遺伝子;ならびに

A C T R 2 、 A L O X 5 、 A N X A 2 P 2 、 A T L 3 、 A T P 6 V 1 B 2 、 A T P 6 V 1 C1、ATP6V1D、C12orf5、C17orf60、C18orf19、C1G ALT1C1、C1orf135、C1orf163、C1orf186、C6orf1 50、CALML4、CCT5、CLC、COMMD8、COTL1、COX17、CR I P 1 、 C S T A 、 C T S A 、 C T S C 、 C T S G 、 C Y B B 、 C Y P 2 E 1 、 D E N N D3、DHRS3、DLAT、DLEU2、DPH3、EFHD2、ENC1、EXOS C 3 、 F A M 1 0 7 B 、 F A M 1 2 9 A 、 F A M 3 8 B 、 F B X O 2 2 、 F L J 1 4 2 1 3、FNDC3B、GNPDA1、GRPEL1、GTSF1、HIG2、HN1、HV CN1、IDH1、IDH3A、IKIP、KIF2C、KYNU、LCMT2、ME1 、MIRN21、MKKS、MNDA、MTHFD2、MYO1B、MYO1F、NAG A、NCF2、NCF4、NDUFAF1、NP、NRIP3、OBFC2A、PARP 8、PDLIM1、PDSS1、PGM2、PIGK、PIWIL4、PPCDC、PP IF、PRAME、PUS7、RPP40、RRM2、S100A16、S100A8、 S 1 0 0 P 、 S 1 0 0 Z 、 S A M H D 1 、 S H 2 D 1 A 、 S P C S 2 、 S P P L 2 A 、 T ESC、THEX1、TMEM30A、TMEM33、TRIP13、TUBB6、UB A S H 3 B 、U G C G 、 V S T M 1 、 W D R 4 、 W I T 1 、 W S B 2 および Z N F 2 5 3 からなるその他の遺伝子

から選ばれる少なくとも 1 種の白血病幹細胞マーカー遺伝子の翻訳産物を認識する物質とを接触させる工程、ならびに

c) 前記物質が結合した細胞を選別し、白血病幹細胞がパージングされた試料を得る工程を含む、製造方法。

[11]白血病幹細胞マーカー遺伝子が、

A D F P 、 A L O X 5 A P 、 C A C N B 4 、 C D 3 3 、 C D 3 D 、 C D 9 3 、 C D 9 7 、 C L E C 1 2 A 、 D O K 2 、 F C E R 1 G 、 F C G R 2 A 、 G P R 3 4 、 G P R 8 4 、 H C S T 、 H O M E R 3 、 I L 2 R A 、 I L 2 R G 、 I L 3 R A 、 I T G B 2 、 L Y 8 6 、 P 2 R Y 5 、 P T H 2 R 、 S U C N R 1 、 T N F R S F 4 、 T Y R O B P および V N N 1 から選ばれる少なくとも 1 種の細胞表面マーカー遺伝子である、 [1 0] に記載の製造方法。

[12]下記遺伝子群:

A D F P、 A L O X 5 A P、 A Z U 1、 C 3 A R 1、 C A C N B 4、 C A L C R L、 C C L 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 6、 C D 3 D、 C D 8 6、 C D 9、 C D 9 3、 C D 9 6、 C D 9 7、 C F D、 C H I 3 L 1、 C L E C 1 2 A、 C L E C L 1、 C O C H、 C S T 7、 C X C L 1、 D O K 2、 E M R 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 F U C A 2、 G P R 1 0 9 B、 G P R 1 6 0、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H A V C R 2、 H B E G F、 H C S T、 H G F、 H L A - D O B、 H O M E R 3、 I F I 3 0、 I L 1 3 R A 1、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I N H B A、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 L Y 8 6、 M A M D C 2、 M G A T 4 A、 P 2 R Y 1 4、 P 2 R Y 5、 P L A U R、 P P B P、 P R G 2、 P R S S 2 1、 P T H 2 R、 P T X 3、 R E E P 5、 R N A S E 2、 R X F P 1、 S L C 3 1 A 2、 S L C 4 3 A 3、 S L C 6 A 6、 S L C 7 A 6、 S T X 7、 S U C N R 1、 T A C S T D 2、 T I M P 1、 T M 4 S F 1、 T M 9 S F 1、 T N F、 T N F R S F 4、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P、 U T S 2 および V N N 1 からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;

AURKA、C13orf34、CCNA1、DSCC1、FAM33A、HPGD、NEK6、PYHIN1、RASSF4、TXNL4BおよびZWINTからなる細胞周期

関連遺伝子;

MPO、IER3、BIK、TXNDC1、GADD45BおよびNAIPからなるアポトーシス関連遺伝子;

A K 5 、 A R H G A P 1 8 、 A R R B 1 、 D U S P 6 、 F Y B 、 H C K 、 L P X N 、 M S 4 A 3 、 P A K 1 I P 1 、 P D E 9 A 、 P D K 1 、 P R K A R 1 A 、 P R K C D 、 P X K 、 R A B 2 0 、 R A B 8 A 、 R A B I F 、 R A S G R P 3 、 R G S 1 8 および S 1 0 0 A 1 1 からなるシグナル伝達関連遺伝子;

WT1、MYCおよびHLXからなる転写因子遺伝子; ならびに

A C T R 2 、 A L O X 5 、 A N X A 2 P 2 、 A T L 3 、 A T P 6 V 1 B 2 、 A T P 6 V 1 C 1 、 A T P 6 V 1 D 、 C 1 2 o r f 5 、 C 1 7 o r f 6 0 、 C 1 8 o r f 1 9 、 C 1 G ALT1C1、C1orf135、C1orf163、C1orf186、C6orf1 50、CALML4、CCT5、CLC、COMMD8、COTL1、COX17、CR I P 1 、 C S T A 、 C T S A 、 C T S C 、 C T S G 、 C Y B B 、 C Y P 2 E 1 、 D E N N D3、DHRS3、DLAT、DLEU2、DPH3、EFHD2、ENC1、EXOS C 3 、 F A M 1 0 7 B 、 F A M 1 2 9 A 、 F A M 3 8 B 、 F B X O 2 2 、 F L J 1 4 2 1 3、FNDC3B、GNPDA1、GRPEL1、GTSF1、HIG2、HN1、HV CN1、IDH1、IDH3A、IKIP、KIF2C、KYNU、LCMT2、ME1 、MIRN21、MKKS、MNDA、MTHFD2、MYO1B、MYO1F、NAG A、NCF2、NCF4、NDUFAF1、NP、NRIP3、OBFC2A、PARP 8 、 P D L I M 1 、 P D S S 1 、 P G M 2 、 P I G K 、 P I W I L 4 、 P P C D C 、 P P IF、PRAME、PUS7、RPP40、RRM2、S100A16、S100A8、 S 1 0 0 P、S 1 0 0 Z、S A M H D 1、S H 2 D 1 A、S P C S 2、S P P L 2 A、T ESC、THEX1、TMEM30A、TMEM33、TRIP13、TUBB6、UB ASH3B、UGCG、VSTM1、WDR4、WIT1、WSB2およびZNF253 からなるその他の遺伝子

からなる白血病幹細胞マーカー遺伝子から選ばれる遺伝子の発現を抑制し得る物質または当該遺伝子の翻訳産物の活性を抑制し得る物質の有効量を対象に投与することを含む、白血病幹細胞を標的化した急性骨髄性白血病の予防または治療方法。

【発明の効果】

[0009]

本発明は、ヒト原発性AML由来の白血病幹細胞(LSC)の網羅的発現プロファイリングを解析し、HSCからLSCを分離するLSC特異的標的の同定に成功したことにより、完成したものである。したがって、本発明で見出された白血病幹細胞マーカーは、非幹細胞とLSCとの識別のみならず、これまで識別が困難とされてきた正常の造血幹細胞(HSC)とLSCとの識別を可能ならしめるものである。本発明で見出された白血病幹細胞マーカーを分子標的とすることにより、AMLの発症源または再発源であるLSCに特異的に作用する治療剤を提供することができる。

また、本発明で見出された白血病幹細胞マーカーを指標としてFACS等の細胞選別装置を用いて、患者またはドナーの骨髄細胞からLSCを特異的に除去することができる。これにより、AMLの真の発症源または再発源を有効に除去することにつながる。したがって、AMLの再発を有意に防止することができる。

さらに、本発明で見出された白血病幹細胞マーカーを指標として、採取した生体試料中または生体内でLSCの存否を測定することができ、これにより急性骨髄性白血病の再発または初発を予測することもできる。

【図面の簡単な説明】

[0010]

【図1】図1は正常CD34+CD38-HSCおよびAML CD34+CD38-LSCの移植結果を示す。(上図)正常CD34+CD38-細胞の移植はヒトCD45+ 造血細胞の効率的な再構成という結果になった。ヒトCD45+細胞内で、CD11c+ の通常の樹状細胞、CD123high形質細胞様樹状細胞、T細胞およびB細胞など正 10

20

30

40

常ヒト免疫細胞が分化することからCD34+CD38-が造血幹細胞であることがわかる。(下図)AML CD34+CD38-細胞を移植したところ、レシピエントマウスでのAMLが発症した。レシピエントのBMは、マウスの細胞でなく、完全にヒトCD45+細胞で占有された。移植されたヒト細胞は、樹状細胞、T細胞またはB細胞等の正常な免疫サブセットのいずれも含まなかったことから、CD34+CD38-細胞に正常造血幹細胞が含まれず、白血病幹細胞であることが確認された。

【図2】図2は正常CD34+CD38-HSCよりもAML CD34+CD38-LSCにおいて大量に発現する遺伝子を示す。ヒートマップは35個の突出したLSCマーカーに関する qPCRデータを含む:1)その機能および局在が抗AML薬剤の開発に適する、2)そのmRNA量がHSCよりもLSCにおいて有意に(P<0.05)高い、3)そのmRNA量のメジアン値がHSCよりもLSCにおいて5倍以上高い、および4)試験したすべてのLSC試料において、そのmRNA量が各HSC試料中のmRNA量よりも高い。このパネルにおいて、赤、黄および緑は、本図の左下の参照色コードで示すように、それぞれ、高、中程度、低発現を示す。値1はCD34+CD38-HSC中のmRNAの平均値を示す。

【図3】図3はフローサイトメトリーを示す。LSC特異的分子候補(CD32、ITGB2、CD93およびCD33)の発現をフローサイトメトリーで解析した。ヒストグラムは、正常HSCと5名のAML患者から得られたLSCの相対的発現を示す。

【図4】図4はCD32の機能アッセイおよび組織学的実験の結果を示す。FACSにより、CD32の発現とCD133の発現とを再度解析した。CD32の発現パターンに従い、AML患者をAML-aとAML-bのカテゴリーに分類した。正常HSCは、CD32-画分内に独占的に同定された。同様に、白血病誘発活性は、AML-a群のCD32-画分に見られた。対照的に、AML-bにおいて、CD32+細胞はインビボAML開始能を示した。AML-bにおいて、CD32+細胞は、骨髄の骨髄膜領域および中央領域の両方に検出された。

【図5】図5は、正常CD34+CD38-HSCよりもAML CD34+CD38-LSCにおいて転写物が高発現している遺伝子候補のヒートマップ図を示す。217遺伝子を、ジーンオントロジーに基づいて6つのカテゴリー:1)細胞膜および細胞外、2)細胞周期、3)アポトーシス、4)シグナル伝達、5)転写因子および6)その他に分類した。2つのマイクロアレイプラットフォーム(U133 plus 2.0およびGene 1.0ST)での遺伝子発現レベルを別々に示した。各パネルにおいて、赤、黄および緑はそれぞれ、高、中程度および低発現を示す。

【図 6 】図 6 は、化学療法後の A M L 患者において上記候補遺伝子のひとつである C D 3 2 の発現がダウンレギュレートしないことを示すフローサイトメトリーの図である。

【図7】図7は、骨髄ニッチに存在し、細胞周期が静止した、白血病幹細胞における各マーカー遺伝子の発現を免疫蛍光染色で調べた図である。各遺伝子について4枚の写真をセットにし、左上の青色染色がDAPI抗体(核染色)、左下の赤色染色が各マーカーに対する抗体、右上の緑色染色が細胞周期マーカーであるCD34に対する抗体(FCGR2A,AK5,DOK2, LRG1,BIKの場合)またはKi67抗体(IL2RA,WT1,SUCNR1の場合)を用いた結果を示す。右下は、Mergeを示す。

【発明を実施するための形態】

[0011]

(定義)

本発明において、白血病の初発とは、白血病を初めて発症した、または発症が見込まれる状態をいい、白血病の再発とは、初発白血病の治療後または寛解後に再び発症した、または発症が見込まれる状態をいう。再発する組織または再発が見込まれる組織は、初発組織に限定されるものではなく、別の組織であってもよい。したがって、再発という概念には浸潤または転移も含まれる。

[0 0 1 2]

本発明において、白血病の治療とは、抗癌剤投与、放射線療法、骨髄移植を始めとした

10

20

30

40

あらゆる治療を包含する。

[0013]

本発明において、白血病幹細胞(LSC)とは、骨髄由来のCD34+細胞画分であってよく、CD34+CD38-細胞画分が好ましい。粗LSC含有物は常法により被験者または患者の骨髄より採取することができ、LSCを含む細胞画分は、CD34およびCD38の細胞表面マーカー分子を用いたフローサイトメトリーなどにより得ることができる。さらに、本発明により見出された白血病幹細胞マーカーから選択した別の細胞表面マーカー分子を指標にして、LSCをさらに選別することも可能である。

[0014]

(試験方法)

本発明は、急性骨髄性白血病の初発または再発を予測するための試験方法を提供する。本発明の試験方法は、

- (1)被験者から採取した生体試料における白血病幹細胞マーカー遺伝子の発現レベルを 、当該遺伝子の転写産物または翻訳産物を対象として測定する工程、および
- (2)測定工程で得られた発現レベルを健常人の発現レベルと比較する工程を含む。

[0015]

(1)被験者から採取した生体試料における白血病幹細胞マーカー遺伝子の発現レベルを 、当該遺伝子の転写産物または翻訳産物を対象として測定する工程

[0016]

本発明が標的とする白血病幹細胞マーカー遺伝子とは、CD34+CD38+細胞画分に比べてCD34+CD38-細胞画分で示差的に発現される遺伝子群の中から本発明者らが独自の視点に基づいて選別した、白血病幹細胞特異的マーカーであり、下記白血病幹細胞マーカー遺伝子(以下、単に「マーカー遺伝子」または「マーカー」と省略する場合がある)(1)から選ばれる2~218の遺伝子から構成される。マーカー遺伝子(1)は、好ましくは3以上、5以上、10以上、15以上、20以上または25以上の遺伝子から構成される。

[0017]

マーカー遺伝子(1):

A D F P、 A L O X 5 A P、 A Z U 1、 C 3 A R 1、 C A C N B 4、 C A L C R L、 C C L 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 6、 C D 3 D、 C D 8 6、 C D 9、 C D 9 3、 C D 9 6、 C D 9 7、 C F D、 C H I 3 L 1、 C L E C 1 2 A、 C L E C L 1、 C O C H、 C S T 7、 C X C L 1、 D O K 2、 E M R 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 F U C A 2、 G P R 1 0 9 B、 G P R 1 6 0、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H A V C R 2、 H B E G F、 H C S T、 H G F、 H L A - D O B、 H O M E R 3、 I F I 3 0、 I L 1 3 R A 1、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I N H B A、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 L Y 8 6、 M A M D C 2、 M G A T 4 A、 P 2 R Y 1 4、 P 2 R Y 5、 P L A U R、 P P B P 、 P R G 2、 P R S S 2 1、 P T H 2 R、 P T X 3、 R E E P 5、 R N A S E 2、 R X F P 1、 S L C 3 1 A 2、 S L C 4 3 A 3、 S L C 6 A 6、 S L C 7 A 6、 S T X 7、 S U C N R 1、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P、 U T S 2 および V N N 1 からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子;

AURKA、C13orf34、CCNA1、DSCC1、FAM33A、HPGD、NEK6、PYHIN1、RASSF4、TXNL4BおよびZWINTからなる細胞周期関連遺伝子:

MPO、IER3、BIK、TXNDC1、GADD45BおよびNAIPからなるアポトーシス関連遺伝子;

A K 5、 A R H G A P 1 8、 A R R B 1、 D U S P 6、 F Y B、 H C K、 L P X N、 M S 4 A 3、 P A K 1 I P 1、 P D E 9 A、 P D K 1、 P R K A R 1 A、 P R K C D、 P X K R A B 2 0、 R A B 8 A、 R A B I F、 R A S G R P 3、 R G S 1 8 および S 1 0 0 A 1 1 からなるシグナル伝達関連遺伝子;

10

20

30

40

WT1、MYCおよびHLXからなる転写因子遺伝子;ならびに A C T R 2 、 A L O X 5 、 A N X A 2 P 2 、 A T L 3 、 A T P 6 V 1 B 2 、 A T P 6 V 1 C1、ATP6V1D、C12orf5、C17orf60、C18orf19、C1G ALT1C1、C1orf135、C1orf163、C1orf186、C6orf1 50、CALML4、CCT5、CLC、COMMD8、COTL1、COX17、CR IP1、CSTA、CTSA、CTSC、CTSG、CYBB、CYP2E1、DENN D3、DHRS3、DLAT、DLEU2、DPH3、EFHD2、ENC1、EXOS C3、FAM107B、FAM129A、FAM38B、FBXO22、FLJ1421 3、FNDC3B、GNPDA1、GRPEL1、GTSF1、HIG2、HN1、HV CN1、IDH1、IDH3A、IKIP、KIF2C、KYNU、LCMT2、ME1 、MIRN21、MKKS、MNDA、MTHFD2、MYO1B、MYO1F、NAG A、NCF2、NCF4、NDUFAF1、NP、NRIP3、OBFC2A、PARP 8 、 P D L I M 1 、 P D S S 1 、 P G M 2 、 P I G K 、 P I W I L 4 、 P P C D C 、 P P IF、PRAME、PUS7、RPP40、RRM2、S100A16、S100A8、 S 1 0 0 P 、 S 1 0 0 Z 、 S A M H D 1 、 S H 2 D 1 A 、 S P C S 2 、 S P P L 2 A 、 T ESC、THEX1、TMEM30A、TMEM33、TRIP13、TUBB6、UB ASH3B、UGCG、VSTM1、WDR4、WIT1、WSB2およびZNF253 からなるその他の遺伝子。

[0018]

前記白血病幹細胞マーカー遺伝子を構成する個々の遺伝子は公知であり、その塩基配列およびアミノ酸配列も既知である。IL2RAを除くマーカー遺伝子のシンボル名、Gene ID、位置する染色体およびその特徴などを表1に示す。IL2RAは、CD25とも称し、Gene ID:3559、第10染色体に位置し、インターロイキン2受容体アルファをコードする。IL2RAタンパク質は、細胞膜に局在する膜貫通型受容体である。

[0019]

10

【表1-1】

Tonot	probeID 1133 GenesT		(AML/Health	(AMI/Health	4		機能	局在	プロセス
097	10097 1558015 s at	37	638		2	2 actin-related protein 2 olog (yeast)		維胎質	
123	it i		3.2797	2.3209	6	adipose differentiation-related protein		細胞膜	
26289	L	7902452	3.1895	16.5796	1	adenylate kinase 5	シグナル伝達分子	細胞質	
240	ß	7927215	18.4004	2.6463	10	arachidonate 5-lipoxygenase		細胞質	
241	a	7968344	2.8061		13	arachidonate 5-lipoxygenase- activating protein		細胞膜	
304		8154836	4.5495	4.8032	o	annexin A2 pseudogene 2		不明	
93663	at	8129458		2.5895	9	activating protein 18	シグナル伝達分子	不明	
408		7950473	3.8043	1.9404	11	arrestin, beta 1	シグナル伝達分子	細胞質	
25923		7948997	3.6187	1.8605	11		·	不明	
526	a	8144931	4.0733	2.0284	8	ATPase, H+ transporting, lysosomal 56/58kDa, V1 subunit B2		細胞質	
528	528 202872 at	8147724	3.2006	2.3894	8	ATPase, H+ transporting, lysosomal 42kDa, V1 subunit C1		維胞質	
51382		7979698	4.6313		1.4	ATPase, H+ transporting, lysosomal 34kDa, V1 subunit D		細胞質	
6790	6790 208079 s at	8067167	2.0444	2.4771	20	aurora kinase A	シグナル伝達分子	校	細胞周期
566	ß	8024038	3.3641	4.0737	19	azurocidin 1		細胞外間隙	
638	at	8073605		8.8991	22	BCL2-interacting killer (apoptosis-inducing)		維胎質	アポトーシス
57103		7953211	6.1678	4.4117	12	chromosome 12 open reading frame 5		不明	
79866		7969374	3.7631	2.3038	13	chromosome 13 open reading frame 34		不明	細胞周期
284021		8009243		3.7201	17	17 open reading		不明	
125228		8022404			18	chromosome 18 open reading frame 19		光題	
29071		8174820	4	2.2689	×	C1GALT1-specific chaperone 1		不明	
79000	79000 220011 at	7913852		2.9438	1	chromosome 1 open reading frame 135		不遇	
65260		7916219	2.97		П	chromosome 1 open reading frame 163		不明	
440712	la la	7923875	10.2556	2.3674	н	chromosome 1 open reading frame 186		不明	
719	719 209906 at	7960874	8.2753	4.4025	12	complement component 3a receptor 1	膜貫通型受容体	細胞膜	
115004				3.4927	9	chromosome 6 open reading frame 150		光男	
785	at l		2.83		2	calcium channel, voltage- dependent, beta 4 subunit		細胞膜	
10203		8057578	2.5601	2.2268	2	calcitonin receptor-like	膜貫通型受容体	細胞膜	

[0 0 2 0]

10

20

30

【表1-2】

									T			T																
		免疫、細胞接着	細胞周期		細胞接着					細胞接着		免疫、細胞接着								·						免疫	免疫	
不明	維胎外間隙	細胞外間隙	核	細胞質	細胞膜	維胎膜	細胞膜	維 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	番 胎膜	維胞膜	細胞膜	維胞膜	細胞外間隙	細胞外間隙	細胞質	細胞膜	細胞膜	細胞外間隙	不明	細胞質	細胞質	維 胞質	細胞外間隙	新胞質	維 配質	着	盤問質	細胞外間隙
	サイトカイン&成長因 子	サイトカイン&成長因 子			シゲナル伝達分子		膜貫通型受容体	膜貫通型受容体				膜貫通型受容体												-				サイトカイン&成長因
calmodulin-like 4	chemokine (C-C motif) ligand 4	chemokine (C-C motif) ligand 5	cyclin Al	chaperonin containing TCP1, subunit 5 (epsilon)	CD33 molecule	(thromb	CD3d molecule, delta (CD3-TCR complex)	CD86 molecule	CD9 molecule	CD93 molecule	CD96 molecule	CD97 molecule	complement factor D (adipsin)	- 1	Charcot-Leyden crystal protein	C-type lectin domain family 12, member A	C-type lectin-like 1	coagulation factor C homolog, cochlin (Limulus polyphemus)	COMM domain containing 8	coactosin-like 1 (Dictyostelium)		<pre>cysteine-rich protein 1 (intestinal)</pre>	cystatin F (leukocystatin)		cathepsin A	cathepsin C	cathepsin G	chemokine (G-X-C motif) ligand 1
15	17	17	13	5	19	7	11	3	12	20	3	19	19	1	19	12	12	14	4	16	3	14	20	3	20	11	14	
2.2694	2.1087	10.0074	3.9705	2.0069	4.0167	2.1815	11.2019	4.1863	1.7512	1.9706	4.9945	2.0902	3,955	2.3625	20.5111	10.4421	9.2279	2.5193	2.2621	1,9761	2.0975	1.9145	4.3944	8.2554	2.0204	3.1109	5.8038	
2.5411	12.0201	13.0433	3.325		3.4258	6.3287	6.673	3.6193	28.019	13.7302	4.247	7.6085	7.7147	3.3299	4.9719	1 9	3.2716	2.6217	4.696	4.2253	2.9867	10.2268	4.5721		7.4704	4.4802	4.5766	
7989968	8006602	8014316	7968637	8104449	8030804	8133876	7952056	8082035	7953291	8065359	8081564	8026300	8024062	7923547	8036755	1	1	7973797	8100145	8003171	7968972	7977409	8061416	8082028	8063078	7950906	7978351	
91860 221879 at		1405 i at	6	22948 229068 at		948 228766 at		942 210895 s at	928 201005 at	22918 202878 s at	la La	976 202910 s at	1675 205382 s at	ū	1178 206207 at	160364 1552398 a at	<u> </u>	1690 205229 s at	54951 218351 at			1396 205081 at		1475 204971 at				
91860	6351	6352 1405	0068	22948	945	948	915	942	928	22918	10225	976	1675	1116	1178	160364	160365	1690	54951	23406	10063	1396	8530	1475	5476	1075	1511	
CALML4			1 \ \		CD33	9800	CD3D	CD86	CD9	CD93	CD96	CD97	CED	CHI3L1	010	CI.EC12A	CT.ECT.1	HUCU	COMMD8	COWT.1	COX17	CRIPI	7.8E7	CSTA	CTSA	CISC	CTSG	

【表1-3】

T	\ \ \		J ,						T	T			T				Т			T								П	\neg
免疫	. :							細胞周期								細胞周期			免疫、アポトーシス					免疫	アポトーシス				
細胞質	葡胞質	不明	細胞質	細胞質	不明	細胞膜	細胞質	校	維 類 類 類 類 類 類 類 類 類	不遇	細胞膜	첫	核	校	細胞質	校	不明	不明	維胞膜	維	不明	不遇	細胞外間隙	校	細胞質	葡 配	备 抱	維 胞膜	維 胞膜
						シグナル伝達分子			シグナル伝達分子										膜貫通型受容体	膜貫通型受容体				シグナル伝達分子			膜貫通型受容体	膜貫通型受容体	膜貫通型受容体
beta 1	cytochrome P450, family 2, subfamily E, polypeptide 1	DENN/MADD domain containing 3	dehydrogenase/reductase (SDR family) member 3	dihydrolipoamide S- acetyltransferase	deleted in lymphocytic leukemia 2 (non-protein coding)	docking protein 2, 56kDa	DPH3, KTI11 homolog (S. cerevisiae)	defective in sister chromatid cohesion 1 homolog (S. cerevisiae)	dual specificity phosphatase 6	EF-hand domain family, member D2	egf-like module containing, mucin- like, hormone receptor-like 2	<pre>ectodermal-neural cortex (with BTB-like domain)</pre>		sequence B	family with sequence similarity 129, member A	family with sequence similarity 33, member A	family with sequence similarity 38, member B	F-box protein 22	Fc fragment of IgE, high affinity I, receptor for; gamma polypeptide	Ec fragment of IgG, low affinity IIa, receptor (CD32)	protor-2	fibronectin type III domain containing 3B	fucosidase, alpha-L- 2, plasma	FYN binding protein (FYB-120/130)	growth arrest and DNA-damage- inducible, beta	glucosamine-6-phosphate deaminase 1	G protein-coupled receptor 109B	G protein-coupled receptor 160	G protein-coupled receptor 34
х	10	8	1	11	13	8	е	8	12	1	19	5	ō	10	1	17	18	15	1	1	11	ю	9	r.	19	5	12	3	×
4.1921	2.2439	2.0985	2.499	2.2002	3.9304	3.0391	2.0279	2.6348	2.0696	2.0378	2.0458	1.8298	2.019	2.1322	1.714	2.0228	2.4385	1.8734	4.5138	4.5895	1.8592	1.815	2.214	3.4782	1.8588	1.8908	5.9615	2.4379	2.7359
3.9235	2.58	2.9132		5.313	2.876		2.875	2.5694	3.9521	3.0525	10.5352	6.3235	3.051	11,3343	7.1413	2.6048	2.7684	3,3569	5.172	3.6163	3.2662	4.0438	2.7625	5.75	8.2835	4.3678	25.4362	2.4534	3.7631
8166730	7931643	8148476	7912537	7943827	7971653	8149638	8085660	8152582	7965335	7898161	8034873	8112615	8161242	7932160	7922846	8017133	8022283	7985053	7906720	7906757	7939383	8083901	8129974	8111739	8024485	8114787	7967322	8083839	8166906
1536 203923 s at		22898 212975 at			8847 1556821 x at	at t	225200	219000	1848 208893 s at	at [30817 207610 s at	201341 at	227916	83641 223058 at			63895 219602 s at	a ta	2207 204232 at	2212 203561 at	79899 233379 at		2519 223120 at	2533 227266 s at	υ	ທ	8843 205220 at	26996 223423 at	2857 223620 at
1536	1571	22898	9249	1737	8847	9046	285381	79075	1848	79180	30817	8507	51010	83641	116496	348235	63895	26263	2207	2212	79899	64778	2519	2533	4616	10007	8843	26996	2857
CYBB	CYP2E1	DENND3	DHRS3	-πα.TC	DI.EU2	DOK2	ренз	DSCC1	DUSP6	ЕЕНО2	EMR2	ENC1	EXOSC3	FAM107B	FAM129A	FAM33A	FAM38B	FBXO22	FCER1G	FCGR2A	FLJ14213	FNDC3B	FUCA2	FYR	GADD45B	GNPDA1	GPR109B	GPR160	GPR34

[0 0 2 2]

10

20

30

20

30

40

【表1-4】

-coupled receptor	.like 1, mitochondrial (E. 細胞質	gametocyte specific factor 1 細胞質	hepatitis A virus cellular 膜質通型受容体 細胞膜 receptor 2	heparin-binding EGF-like growth サイトカイン&成長因 細胞外間隙 factor		1		hepatocyte growth factor サイトカイン&成長因 細胞外間隊 (hepapoietin A; scatter factor) 子		major histocompatibility complex, <mark>旗貫通型受容体</mark> 細胞膜 class II, DO beta	H2.0-like homeobox 転写因子 核	hematological and neurological 核 expressed 1	homer homolog 3 (Drosophila) シグナル伝達分子 細胞膜	hydroxyprostaglandin dehydrogenase 細胞質 細胞質 細胞間期 15-(NAD)	hydrogen voltage-gated channel 1	Н	isocitrate dehydrogenase 3 (NAD+) 細胞質 alpha	immediate early response 3 細胞質 アポトーシス	interferon, gamma-inducible 細胞外間隙 protein 30	IKK interacting protein		gamma deficie	interleukin 3 receptor, alpha (low <mark>陳貫通型受容体</mark> 細胞膜 affinity)		integrin, beta 2 (complement シグナル伝達分子 細胞膜 細胞接着、アポトーシス component 3 receptor 3 and 4	kinesin-family member 2C	kynureninase (I-kynurenine 細胞質 hydrolase)	leucine carboxyl methyltransferase 不明 2	lectin, galactoside-binding, 細胞外間隙 アポトーシス soluble, 1	1eupaxin シグナル伝達分子 細胞質 細胞接着	leucine-rich alpha-2-glycoprotein 1	
2.1952 4 Goli) 5.142 12 gamet 2.0482 5 recept 3.4502 5 facto	12 5 5	ro ro	5		ć	.7152 20	2.9073 19 trans	2.7163 7 (hepa	2.0696 7 hypox	1.8281 6 class	1.972 1 H2.0-	2.6057 17 expre	4.0343 19 homer	5.1611 4 15-(N	2.231 12 hydro	2.1009 2 (NADP	isoci 2.6845 15 alpha	2.6543 6 immed	3.0596 19 prote	1.8803 12 IKK i	2.4697 X inter	2.6537 X (seve	2.9718 X Y affin	1.977 7 inhib	2.3718 21 compo	2.3144 1 kines	2	15	22	5.0537 11 leupa	2.2013 19 1	
8		17 8.6795	3,8093	19.	ľ	17.	04 4.0478	56 4.5623	15 2.6299	2.	90 4.7545	3.5232	66 13.8417	1.9977	56 3.112	52 2.5681	34 3.9339	04 2.9818	11.	3.5724	7.1957	44 2.2169	3.392		3.4371	10 2.4566	21.	2	17	32 6.1566	34 5.7066	
212432 at 8099246 227711 at 7963817	at		at	at	1	3055 208018 s at 8061668	10870 223640 at 8028104	3082 210997_at 8140556	218507 at 8135915	sat	at	217755 at 8018305	9454 204647 at 8035566	x at	at	201193 at 8058552	s at	s at	at	227295 at 7965681	3597 201887 at 8169580	at	3563 206148 at 8176323	sat	9 a at		at	sat	at	s at	at	
GRPEL1 80273 212432 GTSF1 121355 227711	GTSF1 121355 2		HAVCR2 84868 235458				HCST 10870		2 29923	DOB		100	ER3		8	IDH1 3417	Ą		0 1	121457	RA1					T			1		11	

[0 0 2 3]

20

30

40

【表1-5】

MAMDC2	256691	256691 228885 at	8155754	50.0231	1.8485	6	MAM domain containing 2		細胞外間隙	
ME1	4199	4199 204059 s at	8127854	3.167	6.0952	9	malic enzyme 1, NADP(+)-dependent, cytosolic		葡 葡萄	
MGAT4A	11320	11320 226039 at	8054135	2.488	2.145	2	mannosyl (alpha-1,3-)-glycoprotein beta-1,4-N-		細胞外間隙	
MIRN21	406991	224917 at	8008885	7.1437	2.2647	17	microRNA 21		不明	
MKKS	8195	8195 218138 at	8064967	5.0082	2.1926	20	McKusick-Kaufman syndrome		細胞質	
MINDA	4332	4332 204959 at	7906377	7.9908	6.7427	1	myeloid cell nuclear differentiation antigen		枚	
МРО	4353	4353 203949 at	8016932	3.4405	2.9167	17	myeloperoxidase		細胞質	アポトーシス
MS4A3	932	932 210254 at	7940216	2.9166	6.6468	11	membrane-spanning 4-domains, subfamily A, member 3	シグナル伝達分子	着	
MTHFD2	10797	10797 201761 at	8042830	2.7123	1.9426	2	<pre>methylenetetrahydrofolate dehydrogenase (NADP+ dependent) 2,</pre>		番 配質	
MYC	4609	4609 202431 s at	8148317	4.8528	1.9292	80	v-myc myelocytomatosis viral oncogene homolog (avian)	転写因子	枚	
MYO1B	4430	4430 212364 at	8047127	3.1023	1.9101	2	myosin IB		細胞質	
MYOLF	4542	4542 213733 at	8033605	3.93	2.5391	19	myosin IF		維胎質	
NAGA	4668	4668 202943 s at	8076403	2.7565	2.4116	22	N-acetylgalactosaminidase, alpha-		細胞質	
NAIP	4671	4671 239944 at	8177527	3.9106	2.0172	S.	NLR family, apoptosis inhibitory protein		細胞質	アポトーシス
NCF2	4688	4688 209949 at	7922773	8.0756	3.4526	н			細胞質	
NCF4	4689	4689 205147 x at	8072744	3.0753	3.3081	22	neutrophil cytosolic factor 4, 40kDa		备形質	免疫
NDUEAF1	51103	51103 204125 at	7987642	4.6031	2.1624	15	NADH dehydrogenase (ubiquinone) 1 alpha subcomplex, assembly factor		备	
NEK6	10783	10783 223159 s at	8157761	5.1566	3.4558	6	NIMA (never in mitosis gene a)- related kinase 6	シグナル伝達分子	校	細胞周期、アポトーシス
NP	4860	4860 201695 s at	7973067	8.9531	2.1755	14	nucleoside phosphorylase		校	
NRIP3	56675	56675 219557 s at	7946446	3.2732	3.6133	11	nuclear receptor interacting protein 3		出	
OBFC2A	64859	64859 222872 x at	8047161	13.5591	2.7032	2	oligonucleotide/oligosaccharide- binding fold containing 2A		校	
P2RY14	9934	9934 206637 at	8091511	3.0798	2.4295	ю		膜貫通型受容体	細胞膜	
P2RY5	10161	10161 218589 at	7971565	1.5532	2.7233	13	purinergic receptor P2X, G-protein coupled, 5	膜貫通型受容体	細胞膜	
PAK1 I P 1	55003	55003 218886 at	8116848	4.0989	2.4834	9		シグナル伝達分子	核	
PARP8	79668	79668 219033 at	8105191	7.2902	2.9745	5	poly (ADP-ribose) polymerase family, member 8		校	
PDE9A	5152	5152 205593 s at	8068833	5.8044	3,5595	21		シグナル伝達分子	細胞質	
PDK1	5163	5163 226452 at	8046408	2.6927	2.4033	7	pyruvate dehydrogenase kinase, isozyme 1	シグナル伝達分子	細胞質	
PDLIM1	9124	9124 208690 s at	7935180	15.0721	1.5551	10	1 LIM domain 1		細胞質	:
PDSS1	23590 220865	220865 s at	7926807	2.7366	2.4594	10	prenyl (decaprenyl) diphosphate synthase, subunit 1		不明	
PGM2	55276	55276 225366 at	8094556	3.8421	2.1135	₫†			細胞質	
PIGK	10026;	10026 209707 at	7917088	4.7506	2.9006	н	phosphatidylinositol glycan anchor biosynthesis, class K		維制質	
PIWIL4	143689	143689 230480 at	7943240	3,308	1.9009	11	piwi-like 4 (Drosophila)		不明	
PLAUR	5329	5329 210845 s at	8037374	6.5367	1.697	19	plasminogen activator, urokinase receptor	膜貫通型受容体	細胞膜	

[0 0 2 4]

20

30

40

【表1-6】

5473	3 214146 s at	8100971	12.1498	1.5966	4	chemokine (C-X-C motif) ligand 7)	4	雅問外回張		
60490	219066 at	7984943	3.3971	2.0648	15			光细		·
10105		7928589	5.105	2.4099	10	peptidylprolyl isomerase F (cyclophilin F)		备		П
23532		8074856	2.9345	7.1984	22	preferentially expressed antigen in melanoma		校		
555		7948221	5.7443	5,1313				細胞外間隙		- T
5572		8009457	2.5728	1.9221		ent, tissue	シグナル伝達分子	細胞質		
PRKCD 5580	a l	8080487	11.8684	4.4878	3		シグナル伝達分子	备 超		
10942		7992722	2.8945	2.4783	16	protease, serine, 21 (testisin)		細胞外間隙		Т
5746		8047910	32.9485	2.6488	2		膜貫通型受容体	細胞膜		Т
5806		8083594	1.371	1.7203	е	pentraxin-related gene, rapidly induced by IL-1 beta		葡胞外間 際		Т
5451	54517 218984 at	8142061	3.473	2.0097	7	pseudouridylate synthase 7 homolog (S. cerevisiae)		不明		
5489		8080781	2.9549	2.2995	е	PX domain containing serine/threonine kinase	シグナル伝達分子	备形質		
149628	at	7906386		1.9866	1	pyrin and HIN domain family, member 1		校	細胞周期	Т
5564		7972805	4.2758	1.9982	13	RAB20, member RAS oncogene family	シグナル伝達分子	备問知		Т
421	4218 208819 at	8026520	3.089	2.0472	19	RAB8A, member RAS oncogene family	シグナル伝達分子	盆形質		T
587	5877 204478 s at	7923483	6.673	1.9163	н		シグナル伝達分子	不明		Т
RASGRP3 2578	ι o	8041422	12.2403	2.3489	2	RAS guanyl releasing protein 3 (calcium and DAG-regulated)	シグナル伝達分子	备 配		
	a ta	7927186	5.1219	1.8566	10	Ras association (RalGDS/AF-6) domain family member 4		光明	細胞周期	П
7906	208873	8113542	1.9895	2.4938	ıл	receptor accessory protein 5		細胞外間隙		Т
6440	at	7908376	18.2071	3.0532	1	iali	シグナル伝達分子	維 胎質		T
603	6036 206111 at	7973110	6.2056	30.3509	14	ribonuclease, RNase A family, 2 (liver, eosinophil-derived		細胞外間隙		
10799	213427	8123717	2.5261	2.3867	9	ribonuclease P/MRP 40kDa subunit		校		
624	201890	8040223	1.8022	1.9629	2	ribonucleotide reductase M2 polypeptide		葡胞質		
5935		0908608	8.4366	4.7218	4	relaxin/insulin-like family peptide receptor 1	膜貫通型受容体	維 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報		
S100A11 628	6282 200660 at	7920128	2.6989	1.9757	1	S100 calcium binding protein All	シグナル伝達分子	着 電電 類		T
S100A16 14057	140576 227998 at	7920291	6.5974	5.2295	1	S100 calcium binding protein A16		校		Т
	6279 202917 s at	7920244	3.7254	4.1401	Н	S100 calcium binding protein A8		維胎質		
628	Ť	8093950	2.8439	4.35	Ţ [†]	S100 calcium binding protein P		葡 葡萄		
17059	U 0		2.5656	3,2588	20	S100 calcium binding protein Z		光思		
2593	l l		3.5478	3.315	20	SAM domain and HD domain 1		校	免疫	Т
406		8169792	5.4768	4.944	×	1		着		
SLC31A2 131		8157264	6.5551	1.9871	6	solute carrier family 31 (copper transporters), member 2		細胞膜		
						,		奎西久丽露		

[0025]

20

30

40

50

【表1-7】

																									都胞接着							
														免疫、アポトーシス	免疫	免疫			アポトーシス	細胞周期					免疫、アポトーシス、細胞接着					細胞周期		备胞周期
細胞膜	細胞膜	細胞質	不明	备 名 。	奮蹈驥	細胞膜	不明	木明	备跑外置 聚	細胞膜	細胞膜	野田	不明	細胞外間隙	維 類 類 類 類 類 類 類 類 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	細胞外間隙	維 和 和 的 質	細胞質	細胞質	极	細胞膜	部长	細胞質	細胞外間隙	細胞膜	米島	掻	不明	不明	校	枚	校
					膜貫通型受容体									サイトカイン&成長因 子	膜貫通型受容体	サイトカイン&成長因 子					シグナル伝達分子									転写因子		
6 1sp	(1)	signal peptidase complex subunit 2 homolog (S. cerevisiae)	signal peptide peptidase-like 2A	svntaxin 7	receptor 1	tumor-associated calcium signal transducer 2	tescalcin	three prime histone mRNA exonuclease 1	TIMP metallopeptidase inhibitor 1	transmembrane 4 L six family member 1	transmembrane 9 superfamily member 1	transmembrane protein 30A		NF	ls factor receptor member 4	igand)	thyroid hormone receptor interactor 13	tubulin, beta 6	thioredoxin domain containing 1	thioredoxin-like 4B	e kinase	ubiquitin associated and SH3 domain containing, B	UDP-glucose ceramide glucosyltransferase	urotensin 2	vanin 1	V-set and transmembrane domain containing 1	WD repeat domain 4	Wilms tumor upstream neighbor 1	WD repeat and SOCS box-containing 2	Wilms tumor 1	zinc finger protein 253	ZW10 interactor
m	16		1.5	9						б	14	9	4	9	1	13	5	_		16	19	11	o	1	9	19	21	11	12	11	19	1.0
1.9332	2.0624	2.8859	3.1645	1.957	8.9094		4.194	2.084	1.8176	3.1159	1.9283	1.8579	2.4022	3,3831	2.4055	2.3209	2.0662	1.8033	1.9163	1.9453	5.4076	2.858	2.3729	6.4651	5.0877	5.2732	2.2356	2.6555	1.9757	1.7707	2.176	9 1 3 4 1 9
3.3096		2.8247	3.6826	3.044	10.3593	4.5271	6.7818	3.539	2.6582	13.9334	3.8307	3.436	2.7565	5.16	4.2204	9.7537	2.146	5.4543	2.8632	4 1397	21.8206	3.5884	4.0106	5,3996	11.9292	2.8594	2,8509	2.8415	3.5848	93.6087	2.6622	1 9796
8078014	7996772	7914180	7988753	8129590	8083422	7916584	7966749	8144516	8167185	8091411	7978166	8127637	8094830	8179263	7911413	9866967	8104234	8020220	7974303	8002660	8036224	7944722	8157216	7912136	8129618	8039109	8070615	7939131	7966829	7947363	8027241	7075507
6533 211030 s at	203579 s	201239	, to	# 159212 T18	203030		54997 218872 at	90459 226416 at	7076 201666 at		209149 s	υ	i to	7124 207113 s at	×	223501 at		84617 209191 at		0	+= 2017222				, a		241937	1 4		7490 206067 s at	i ie	90000
SLC6A6	SLC7A6	SPCS2	SPP1,2A	- CAII-O	Laworra	SOCIAL F	TOTAL COME	THEX1	TIMP1	TM4 SF1	TM9SF1	TMEM30A	TMEM33	H. H.	TANE DE NA	TANE SEL	101111111111111111111111111111111111111	TUBBE	DUXT-	TWILL AD	TANLAD	d Cuo r di	Obashab	2000	TMM1			WTT	M C B S M	200	ZNF253	CO THE

[0026]

本発明の試験方法がLSCとHSCとをより明確に識別することを目的とする場合、上記マーカー遺伝子(1)の中から、例えば、下記マーカー遺伝子(2)を指標とすることが好ましい。この実施態様において、マーカー遺伝子(2)は2~58の遺伝子から構成され、より好ましくは3以上、5以上、10以上、15以上、20以上または25以上の遺伝子から構成される。また、LSCとHSCとをさらにより明確に識別することを目的

20

30

40

50

とする場合、マーカー遺伝子(2)の中から、下記マーカー遺伝子(3)を指標とすることが好ましい。マーカー遺伝子(3)は、HSCに比べてLSCにおいて、通常5倍以上の示差的発現が観察されるのでより好ましい。この実施態様において、マーカー遺伝子(3)は2~35の遺伝子から構成され、より好ましくは3以上、5以上、10以上、15以上、20以上または25以上の遺伝子から構成される。

[0027]

マーカー遺伝子(2):

A D F P、 A L O X 5 A P、 C A C N B 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 D、 C D 9 3、 C D 9 7、 C L E C 1 2 A、 D O K 2、 F C E R 1 G、 F C G R 2 A、 F U C A 2、 G P R 3 4、 G P R 8 4、 H C S T、 H G F、 H O M E R 3、 I L 2 R A、 I L 2 R G、 I L 3 R A、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 L Y 8 6、 M G A T 4 A、 P 2 R Y 5、 P R S S 2 1、 P T H 2 R、 R N A S E 2、 S L C 4 3 A 3、 S U C N R 1、 T I M P 1、 T N F、 T N F R S F 4、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P、 および V N N 1 からなる 細胞膜または細胞外局在遺伝子; Z W I N T、 N E K 6 および T X N L 4 B からなる 細胞 周期関連遺伝子; B I K からなるアポトーシス関連遺伝子; A K 5、 A R H G A P 1 8、 F Y B、 H C K、 L P X N、 P D E 9 A、 P D K 1、 P R K C D、 R A B 2 0、 R A B 8 A および R A B I F からなるシグナル伝達関連遺伝子; W T 1 および H L X からなる転写 因子遺伝子; ならびに C Y B B、 C T S C および N C F 4 からなるその他の遺伝子。

[0028]

マーカー遺伝子(3):

A L O X 5 A P、 C A C N B 4、 C C L 5、 C D 3 3、 C D 3 D、 C D 9 3、 C D 9 7、 C L E C 1 2 A、 D O K 2、 F C G R 2 A、 G P R 8 4、 H C S T、 H O M E R 3、 I T G B 2、 L G A L S 1、 L R G 1、 P T H 2 R、 R N A S E 2、 T N F、 T N F S F 1 3 B、 T Y R O B P および V N N 1 からなる細胞膜または細胞外局在遺伝子; N E K 6 からなる細胞周期関連遺伝子; B I K からなるアポトーシス関連遺伝子; A K 5、 F Y B、 H C K、 L P X N、 P D E 9 A、 P D K 1、 P R K C D および R A B 2 0 からなるシグナル伝達関連遺伝子; W T 1 からなる転写因子遺伝子; ならびに C T S C および N C F 4 からなるその他の遺伝子。

[0029]

本発明の試験方法における被験者は、ヒトを始めとする哺乳動物であれば特に限定されるものではないが、白血病の初発または再発が疑われるヒトが好ましい。

[0030]

本発明の試験方法が測定対象とする生体試料は、哺乳動物、好ましくはヒトから採取可能なものであれば特に限定されるものではなく、血液、骨髄液、リンパ液などの体液試料、リンパ節、血管、骨髄、脳、脾臓、皮膚などの固形試料があげられる。

[0031]

本発明の試験方法において、マーカー遺伝子の発現レベルは、当該遺伝子の転写産物または翻訳産物を対象として測定する。転写産物を対象とする場合、常法に従い、RNAを生体試料から単離することができる。RNAを抽出するための一般的な方法が、当技術分野において周知されており、Ausubeletal.,Current Protocols of Molecular Biology,John Wiley and Sons (1997)など、分子生物学の標準的な教科書に開示されている。具体的には、Qiagenなどの製造業者から入手した精製キット、緩衝液セット、およびプロテアーゼを用いて、製造業者の指示に従ってRNA単離を行うことができる。

[0032]

転写産物を対象とするマーカー遺伝子の発現レベルの測定方法としては、特に限定されるものではないが、ノーザンブロッティングおよびインサイチュハイブリダイゼーション(Parker & Barnes, Methods in Molecular Biology 106:247-283(1999)); RNaseプロテクション・アッセイ法(Hod, Biotechniques 13:852-854(1992));

逆転写ポリメラーゼ連鎖反応法(RT-PCR)(Weis et al., Trends in Genetics 8:263-264(1992));リアルタイム定量的RT-PCR(Held et al., Genome Research 6:986-994(1996));ならびにマイクロアレイ解析法などがある。マイクロアレイ解析法は、製造業者の指示に従って、Affymetrix GeneChip技術、Agilent Technologiesのマイクロアレイ技術またはIncyteのマイクロアレイ技術を用いるなどして、市販されている装置によって実施することができる。リアルタイム定量的RT-PCRの詳細は、後述する実施例に記載されている。リアルタイム定量的RT-PCRに好適に用いられるプライマーおよびプローブの塩基配列の例は、表3および配列表にリストされている。

[0033]

マーカー遺伝子の翻訳産物を対象とする場合、常法に従い、タンパク質を生体試料から単離することができる。タンパク質を抽出するための一般的な方法が、当技術分野において周知されており、Ausubel et al.,Current Protocols of Molecular Biology,John Wiley and Sons(1997)など、分子生物学の標準的な教科書に開示されている。なお、製造業者から入手した精製キット、緩衝液セット、およびプロテアーゼインヒビターを用いて、製造業者の指示に従ってタンパク質の単離を行うことができる。

[0034]

翻訳産物を対象とするマーカー遺伝子の発現レベルの測定方法としては、特に限定されるものではないが、免疫組織化学法、プロテオミクス法などがあげられる。免疫組織化学法、プロテオミクス法などがあげられる。免疫組織化学法のプロトコールおよびキットは、当技術分野において周知されていて市販されている。プロテオミクス法は、あるサンプルにおけるタンパク質発現の全体的な変化を調べることを含む。プロテオミクス法は、一般的に以下の工程を含む:(1)2-Dゲルル電気、動く2-D PAGE)によるサンプル中の各タンパク質の分離、(2)このゲルから回収された各タンパク質の同定、例えば、質量分析またはN-末端配列決定法、および(3)バイオインフォマティクスを用いたデータ解析。プロテオミクス法は、他の遺伝子発現のファイリング法の有用な補助法であり、本発明のマーカー遺伝子の産物を検出するために単独または他の方法と組み合わせて使用することができる。また、細胞表面マーカーを標的とする場合、フローサイトメトリーを用いた測定方法が可能である。

[0035]

(2)測定工程で得られた発現レベルを基準値と比較する工程

生体試料中のマーカー遺伝子の2~218種類の発現レベルを測定した結果、それらの2種以上の発現レベルが基準値と比べて有意に高い(遺伝子の発現に約2倍以上、好ましくは約4倍以上、より好ましくは約6倍以上、最も好ましくは約10倍以上の違いがある)場合、当該試料中または被験者の生体内に白血病幹細胞の存在可能性が示唆される。ここで、基準値としては、健常人の発現レベルの平均値あるいは被験者の発症前の平均値など比較対照となる値が用いられる。白血病幹細胞の存在可能性の示唆は、被験対象において白血病の初発または再発の予想につながる。白血病の初発または再発の有無を、さらに別の検査によって確認することが好ましい。

[0036]

本発明の試験方法において、生体試料中のマーカー遺伝子の2~218種類の発現レベルを測定した結果、それらの2種以上の発現レベルが基準値と比べて有意に高い(遺伝子の発現に約2倍以上、好ましくは約4倍以上、より好ましくは約6倍以上、最も好ましくは約10倍以上の違いがある)場合、当該試料中または試料の採取元の生体内に白血病幹細胞の存在可能性が示唆される。ここで、基準値としては、健常人の発現レベルの平均値あるいは被験者の発症前の発現レベルなど比較対照となる値が用いられる。この場合、白血病幹細胞の存在可能性は、白血病患者において癌の治療効果が完全に奏していないとの予測につながる。逆に、前記2種以上の発現レベルが有意に低い(例えば、実質的にゼロ

10

20

30

40

)場合、当該試料中に白血病幹細胞が存在しないと予測することができる。この場合、白 血病の治療によって白血病幹細胞が消失し、治療が奏効していると考えられる。さらに、 その他の検査と組み合わせて、白血病の治療効果を多面的に確認することが好ましい。

[0037]

このように、本発明の試験方法を適用することにより、生体内に存在する白血病幹細胞を白血病が初発または再発する前に検出して、発症を予測することが可能である。あるいは、白血病の発症を初期のステージで検出して癌患者の早期治療に導くことも可能である。さらに、白血病患者に対する治療効果を白血病幹細胞の存否を指標にして評価することも可能である。

[0038]

(治療剤)

また、本発明は、白血病幹細胞マーカー遺伝子の発現を抑制し得る物質または当該遺伝子の翻訳産物の活性を抑制し得る物質を有効成分として含有する、白血病幹細胞を標的化した急性骨髄性白血病の治療剤を提供する。

[0039]

本発明の治療剤の分子標的は、前述した白血病幹細胞マーカー遺伝子であり、治療目的に応じてどのマーカーを選択してもよい。本発明の治療剤が、白血病幹細胞の中でも、骨髄のニッチに存在し、細胞周期が静止し、かつ抗癌剤抵抗性を示す幹細胞を標的とする場合、AK5、BIK、DOK2、FCGR2A、IL2RA、LRG1、SUCNR1およびWT1からなる群より選ばれる遺伝子(以下、マーカー遺伝子(4)とも称する)の発現を抑制し得る物質または当該遺伝子の翻訳産物の活性を抑制し得る物質を選択することが推奨される。マーカー遺伝子(4)を構成する8の遺伝子から2~8(好ましくは2~5)を選択して分子標的とすることにより、多数の症例の白血病幹細胞を駆逐できる可能性が高い。したがって、本発明の治療剤に含まれる有効成分は、少なくとも1つの能性が高い。したがって、本発明の治療剤に含まれる有効成分は、少なくとも1つの医薬製剤に含まれていてもよく、別々の医薬製剤に含まれていてもよい。

以下、有効成分について説明する。

[0040]

白血病幹細胞マーカー遺伝子の発現を抑制し得る物質としては、例えば、アンチセンス核酸またはRNAi誘導性核酸などがあげられる。

[0041]

白血病幹細胞マーカー遺伝子の翻訳産物の活性を抑制し得る物質としては、例えば、アプタマーまたは抗体などがあげられる。当該物質は、各マーカーに直接または間接に作用する阻害物質であってもよい。

[0042]

以下、本発明の治療剤の有効成分について説明する。

[0043]

1.アンチセンス核酸

アンチセンス核酸の種類はDNAであってもRNAであってもよいし、あるいはDNA / RNAキメラであってもよい。アンチセンス核酸は、天然型のリン酸ジエステル結合を有するものであっても、分解酵素に安定なチオリン酸型(リン酸結合のP=OをP=Sに置換)や2'・O・メチル型等の修飾ヌクレオチドであってもよい。アンチセンス核酸の設計に重要な他の要素として、水溶性および細胞膜透過性を高めること等があげても丸にのよりポソームやマイクロスアを使用するなどの剤形の工夫によるであっても丸にである。アンチセンス核酸の長さは、転写産物と特異的にハイブリダイズし得る限り特に制能はなく、短いもので約15個のヌクレオチド程度、長いもので転写産物の全配列に相補的な配列を含むような配列であってもよい。合成の容易さや抗原性の問題等から、より好いな配列を含むような配列であってもよい。合成の容易さや抗原性の財験等から、より行ましくは約15個〜約50個のヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチドが例示される。

10

20

30

40

、二本鎖DNAと結合して三重鎖(トリプレックス)を形成し、mRNAへの転写を阻害 し得るものであってもよい。

[0044]

2. RNA i 誘導性核酸

RNAi誘導性核酸とは、細胞内に導入されることにより、RNA干渉(RNAi)効果を誘導し得るポリヌクレオチドをいい、好ましくはRNAである。RNAi効果とは、mRNAと同一の核酸配列またはその部分配列を含む2本鎖構造のRNAが、当該mRNAの発現を抑制する現象をいう。RNAi効果を得るには、例えば、少なくとも19の連続する標的mRNAと同一の核酸配列(またはその部分配列)を有する2本鎖構造のRNAを用いることが好ましい。2本鎖構造は、異なるストランドで構成されていてもよいし、一つのRNAのステムループ構造によって与えられる2本鎖であってもよい。RNAi誘導性核酸としては、例えばsiRNA、miRNAなどがあげられるが、siRNAが好ましい。siRNAは、RNAiを誘導できる限り特に制限されないが、例えば19~27塩基長、好ましくは21~25塩基長である。

[0045]

3 . アプタマー

アプタマーとは、所定の標的分子に対する結合活性(または阻害活性)を有するポリヌ クレオチドをいう。アプタマーは、RNA、DNA、修飾ヌクレオチドまたはそれらの混 合物である。アプタマーはまた、直鎖状または環状の形態であってもよい。アプタマーの 長さは特に限定されず、通常、約16~約200個のヌクレオチドであるが、例えば約1 00個のヌクレオチド以下であり、好ましくは約50個のヌクレオチド以下であり、より 好ましくは約40個のヌクレオチド以下である。また、アプタマーの長さは、例えば約1 8 個、約 2 0 個、約 2 5 個または約 3 0 個 ヌクレオチド以上であってもよい。アプタマー は、結合性、安定性、薬物送達性等を高めるため、各ヌクレオチドの糖残基(例、リボー ス)が修飾されたものであってもよい。糖残基において修飾される部位としては、例えば 、糖残基の2′位、3′位および/または4′位の酸素原子を他の原子に置き換えたもの などがあげられる。修飾の種類としては、例えば、フルオロ化、O-アルキル化、O-ア リル化、S-アルキル化、S-アリル化およびアミノ化があげられる(例、Sproat et al., (1991) Nucl. Acid. Res. 19, 733 -738; Cotton et al., (1991) Nucl. Acid. 1 9 , 2 6 2 9 - 2 6 3 5 参照)。アプタマーはまた、プリン、ピリミジンが 改変されたものであってもよい。このような改変としては、例えば、5位ピリミジン改変 、 8 位 プリン 改 変 、 環 外 ア ミ ン で の 改 変 、 4 - チ オ ウ リ ジ ン で の 置 換 、 5 - ブ ロ モ ま た は 5.ヨード.ウラシルでの置換があげられる。また、ヌクレアーゼおよび加水分解に対し て耐性であるように、本発明のアプタマーに含まれるリン酸基が改変されていてもよい。 例えば、リン酸基が、チオエート、ジチオエートまたはアミデートで置換されていてもよ い。アプタマーは、既報(例えば、Ellington et al., (1990) Nature, 346, 818-822; Tuerk et al., (199 O) Science, 249, 505-510)に従って作製できる。

[0046]

4 . 抗 体

抗体は、ポリクローナル抗体(抗血清)、モノクローナル抗体のいずれであってもよく、周知の免疫学的手法により作製することができる。モノクローナル抗体は、IgG、IgM、IgA、IgDあるいはIgE等のいずれのアイソタイプであってもよいが、好ましくはIgGまたはIgMである。

[0047]

例えば、ポリクローナル抗体は、上記抗原(必要に応じて、ウシ血清アルブミン、 $KLH(\underline{K}eyhole \underline{L}impet \underline{H}emocyanin)$ 等のキャリア蛋白質に架橋した複合体とすることもできる)を、市販のアジュバント(例えば、完全または不完全フロイントアジュバント)とともに、動物の皮下あるいは腹腔内に $2 \sim 3$ 週間おきに $2 \sim 4$

10

20

30

40

20

30

40

50

回程度投与し(部分採血した血清の抗体価を公知の抗原抗体反応により測定し、その上昇を確認しておく)、最終免疫から約3~10日後に全血を採取して抗血清を精製することにより取得できる。抗原を投与する動物としては、ラット、マウス、ウサギ、ヤギ、モルモット、ハムスターなどの哺乳動物があげられる。

[0048]

また、モノクローナル抗体は、細胞融合法により作成することができる。例えば、マウスに上記抗原を市販のアジュバントと共に2~4回皮下あるいは腹腔内に投与し、最終投与の3日後に脾臓あるいはリンパ節を採取し、白血球を採取する。この白血球と骨髄腫胞(例えば、NS・1、P3X63Ag8など)を細胞融合して該因子に対するモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマは、周知のEIAまであってもよい。所望のモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマは、周知のEIAまたはRIA法等を用いて抗原と特異的に結合する抗体を、培養上清中から検出することにより選択できる。モノクローナル抗体を産生するハイブリドーマの培養は、インビトロ、またはマウスもしくはラット、好ましくはマウス腹水中等のインビボで行うことができる。体はそれぞれハイブリドーマの培養上清および動物の腹水から取得することができる。

[0049]

抗体はまた、キメラ抗体、ヒト化抗体またはヒト抗体であってもよい。

[0050]

キメラ抗体は、その可変領域および定常領域が互いに異なる動物種のイムノグロブリンに由来するモノクローナル抗体を意味する。例えば、キメラ抗体は、その可変領域がマウスイムノグロブリン由来の可変領域であり、かつその定常領域がヒトイムノグロブリン由来の定常領域であるマウス/ヒトキメラモノクローナル抗体であり得る。ヒトイムノグロブリン由来の定常領域は、IgG、IgM、IgA、IgDおよびIgE等のアイソタイプにより各々固有のアミノ酸配列を有するが、本発明における組換キメラモノクローナル抗体の定常領域はいずれのアイソタイプに属するヒトイムノグログリンの定常領域であってもよい。好ましくは、ヒトIgGの定常領域である。

[0 0 5 1]

キメラ抗体は、自体公知の方法により作製できる。例えば、マウス/ヒトキメラモノクローナル抗体は、既報(例、実験医学(臨時増刊号), Vol. 6, No.10, 1988および特公平3-73280号公報)に従って作製できる。詳細には、マウスモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマから単離した該マウスモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマから単離した該マウスモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマから単離した該マウスモノクローナル抗体をコードするC遺伝子(H鎖定常領域をコードするC遺伝子)を、また該ハイブリドーマから単離可では、といるのでは、といるのでは、またはハイブリドーマから単離では、または別ででする。といるの下流にヒトイムノグロブリンをコードでは、自動をはできるに配列して1つまたは別々の発現ベクターに挿入し、該発現ベクターで宿主細胞を形質転換し、該形質転換細胞を培養することにより作製することができる。

[0052]

ヒト化抗体は、遺伝子工学的に作製されるモノクローナル抗体であって、例えば、その超可変領域の相補性決定領域の一部または全部がマウスモノクローナル抗体に由来し、その可変領域の枠組領域およびその定常領域がヒトイムノグロブリンに由来するヒト型モノクローナル抗体を意味する。超可変領域の相補性決定領域は、抗体の可変領域中の超可変領域に存在し、抗原と相補的に直接結合する部位である3つの領域(Complementarity‐determining region;CDR1、CDR2、CDR3)であり、可変領域の枠組領域は、該3つの相補性決定領域の前後に介在する比較的保存された4つの領域(Framework;FR1、FR2、FR3、FR4)である。換言すれば、例えばマウスモノクローナル抗体の超可変領域の相補性決定領域の一部または全部以外の全ての領域が、ヒトイムノグロブリンの対応領域と置き代わったモノクローナ

ル抗体を意味する。

[0053]

[0054]

ヒト抗体は、イムノグロブリンを構成するH鎖およびL鎖の可変領域および定常領域を含む全ての領域がヒトイムノグロブリンをコードする遺伝子に由来する抗体を意味する。 【 0 0 5 5 】

ヒト抗体は、自体公知の方法により作製できる。例えば、ヒト抗体は、少なくともヒトイムノグロブリン遺伝子をマウス等のヒト以外の哺乳動物の遺伝子座中に組込むことにより作製されたトランスジェニック動物を、抗原で免疫感作することにより、前述したポリクローナル抗体あるいはモノクローナル抗体の作製法と同様にして製造することができる。例えば、ヒト抗体を産生するトランスジェニックマウスは、既報(Nature Genetics, Vol.15, p.146-156, 1997;Nature Genetics, Vol.7, p.13-21, 1994;特表平4-504365号公報;国際出願公開WO94/25585号公報;Nature, Vol.368, p.856-859, 1994;および特表平6-500233号公報)に従って作製できる。

[0056]

抗体はまた、前述の抗体(例、モノクローナル抗体)の一部であり得る。このような抗体としては、例えば、F(ab')2、Fab'、Fab、Fv等のフラグメント、scFv、scFv、scFv、まこボディー、ダイアボディー等の遺伝子工学的に作製されたコンジュゲート分子、あるいはポリエチレングリコール(PEG)等の蛋白質安定化作用を有する分子等で修飾されたそれらの誘導体などであってもよい。

[0057]

前記抗体は、種々の抗癌物質などを常法により結合したイムノコンジュゲートの形態であってもよい。この場合、抗体は、LSCに抗癌剤を送達するための薬物送達システムとして機能する。組み合わせる抗癌物質としては、シスプラチン、カルボプラチン、シクフォスファミド、メルファラン、カルムスリン、メトトレキセート、5・フルオロウラシル、シタラビン(AraC)、メルカプトプリン、ダウノルビシン、イダルビシン、ミトキサントロン、チオグアニン、アザシチジン、アムサクリン、ドキソルビシン、トレチノイン、アロプリノール、プレドニゾン(プレドニゾロン)、エピルビシン、ビンブラスチン、ビンクリスチン、ダクチノマイシン(アクチノマイシン)、マイトマイシンC、タキソール、L・アスパラギナーゼ、エトポシド、コルヒチン、デフェロキサミンメシレート、カンプトテシンなどがあげられるが、これに限定されるものではない。さらに、放射線核種、毒素等とのイムノコンジュゲートであってもよい。

[0058]

10

20

30

30

40

本発明の剤は、白血病幹細胞マーカー遺伝子の発現または当該遺伝子の翻訳産物の活性を抑制し得る物質に加え、任意の担体、例えば医薬上許容され得る担体としては、例えば、ショ糖、デンプン、ンムニットウロース、例えば、ショ糖、デンプン、プロース、ガリン酸カルルシウム、ポリプントウロース、炭酸カルシウム、カルース、ポリース、ポリロース、ポリロース、ポリコール、ショ糖、デンプンナールの別にでいては、パリンがリコール、デンプントのルピロリドン、ゼラチン、アラビアゴム、ポリロース、ピロース、クロース、ポリロース、ポリコール、クロース、アリンがリカム、リンがカルルクのカー・スターチ、炭酸水ネシウム、リンルのカー・ステアリン酸マグネシウム、リンルのカー・ステアリン酸マグネシウム、アンロース、ガリウム、メンドール、グリシン・アンローム、グリラベンを息を酸ナトリウム、亜硫酸カーカム、チルパラベンシン、プロピルパラベン等の保存剤、クエン酸、カエン酸アルミニウム等の影濁剤、水の分散剤、水、生理食塩水、オレンジがあげられるが、それらに限定されるものではない。

[0059]

経口投与に好適な製剤は、水、生理食塩水のような希釈液に有効量の物質を溶解させた液剤、有効量の物質を固体や顆粒として含んでいるカプセル剤、サッシェ剤または錠剤、適当な分散媒中に有効量の物質を懸濁させた懸濁液剤、有効量の物質を溶解させた溶液を適当な分散媒中に分散させ乳化させた乳剤、あるいは散剤、顆粒剤等である。

[0060]

非経口的な投与(例、静脈内注射、皮下注射、筋肉注射、局所注入など)に好適な製剤としては、水性および非水性の等張な無菌の注射液剤があり、これには抗酸化剤、緩衝液、制菌剤、等張化剤等が含まれていてもよい。また、水性および非水性の無菌の懸濁液剤があげられ、これには懸濁剤、可溶化剤、増粘剤、安定化剤、防腐剤等が含まれていてもよい。当該製剤は、アンプルやバイアルのように単位投与量あるいは複数回投与量ずつ容器に封入することができる。また、有効成分および医薬上許容され得る担体を凍結乾燥し、使用直前に適当な無菌のビヒクルに溶解または懸濁すればよい状態で保存することもできる。

[0061]

本発明の剤の投与量は、有効成分の活性や種類、投与様式(例、経口、非経口)、病気の重篤度、投与対象となる動物種、投与対象の薬物受容性、体重、年齢等によって異なり一概に云えないが、通常、成人1日あたり有効成分量として約0.001mg~約5.0gである。

[0062]

本発明の剤の投与対象としては造血組織(骨髄)を有し、急性骨髄性白血病に羅患する可能性がある動物種であれば特に限定されないが、好ましくは哺乳動物であり、より好ましくはヒトである。

[0063]

(製造方法)

また、本発明は、急性骨髄性白血病患者に対する自家移植または同種移植のための造血細胞を含む試料の製造方法を提供する。本発明の製造方法は、

- a)当該患者またはドナーから造血細胞を含む試料を採取する工程、
- b)採取した試料と、少なくとも 1 種の白血病幹細胞マーカー遺伝子の翻訳産物を認識する物質とを接触させる工程、ならびに
- c)前記物質が結合した細胞を選別し、白血病幹細胞がパージングされた試料を得る工程を含む。すなわち、本発明は、自家移植または同種移植用の造血細胞を含む試料から白血病幹細胞を実質的に除去し、再発の懸念のない移植用試料を提供することができる。

[0064]

10

20

30

40

白血病幹細胞マーカー遺伝子は、前述の通りであるが、パージング目的のためには、下記遺伝子群:

A D F P 、 A L O X 5 A P 、 C A C N B 4 、 C D 3 3 、 C D 3 D 、 C D 9 3 、 C D 9 7 、 C L E C 1 2 A 、 D O K 2 、 F C E R 1 G 、 F C G R 2 A 、 G P R 3 4 、 G P R 8 4 、 H C S T 、 H O M E R 3 、 I L 2 R A 、 I L 2 R G 、 I L 3 R A 、 I T G B 2 、 L Y 8 6 、 P 2 R Y 5 、 P T H 2 R 、 S U C N R 1 、 T N F R S F 4 、 T Y R O B P および V N N 1 から選ばれる少なくとも 1 種の細胞表面マーカー遺伝子を標的とすることが好ましい。

[0065]

a)急性骨髄性白血病患者またはドナーから造血細胞を含む試料を採取する工程試料は、通常、骨髄穿刺または末梢血採取により行われる。骨髄穿刺は、例えば、S.E. Haynesworth et al. Bone, 13, 81 (1992)に記載された方法等に基づき胸骨または腸骨から骨髄穿刺を行う。具体的には、骨髄穿刺を行う場所の皮膚面を消毒し、局所麻酔を行う。特に骨膜下を充分に麻酔する。骨髄穿刺針の内筒を抜き、5000単位のヘパリンを入れた10mL注射器を装着して必要量の骨髄液を速やかに吸引する。平均的には10 mL~20 mLの骨髄液を吸引する。骨髄穿刺針を取り外し、10分間程圧迫止血する。取得した骨髄液を1,000×gの遠心分離により骨髄細胞を回収した後、該骨髄細胞をPBS(Phosphate Buffered Saline)で洗浄する。洗浄工程を数回繰り返した後、造血細胞を含む試料を得ることができる。

[0066]

末梢血の場合は、静脈から採取を行う。具体的には、末梢血採取を行う場所の皮膚面を消毒する。注射針の内筒を抜き、5000単位のヘパリンを入れた10mL注射器を装着して必要量の末梢血を速やかに吸引する。平均的には10mL~20mLの末梢血を吸引する。注射針を取り外し、10分間程圧迫止血する。取得した末梢血を1,000xgの遠心分離により末梢血細胞を回収した後、該末梢血細胞をPBS(PhosphateBuffered Saline)で洗浄する。洗浄工程を数回繰り返した後、造血細胞を含む試料を得ることができる。

[0067]

b)採取した試料と、少なくとも 1 種の白血病幹細胞マーカー遺伝子の翻訳産物を認識する物質とを接触させる工程

本工程で用いるマーカー遺伝子の翻訳産物を認識する物質は、前述した抗体があげられ、特に、ADFP、ALOX5AP、CACNB4、CD33、CD93、CD97、CLEC12A、DOK2、FCER1G、FCGR2A、GPR34、GPR84、HCST、HOMER3、IL2RA、IL2RG、IL3RA、ITGB2、LY86、P2RY5、PTH2R、SUCNR1、TNFRSF4、TYROBPおよびVNN1から選ばれる少なくとも1種の細胞表面マーカーに対する抗体が好ましい。抗体は蛍光標識されていることが好ましく、標識に用いる蛍光色素はフローサイトメトリーに一般的に用いられている立光物質であることが好ましい。蛍光色素の具体例としては、FITC(フルオレッセインイソチオシアネート)、PE(フィコエリトリン)、PerCP(フルオレッセインイソチオシアネート)、PE(フィコエリトリン)、PerCP(フリジニンクロロフィルタンパク質)、PerCP・Cy5、5、PE・Cy7、PE・TR(PE・テキサスレッド)、APC(アロフィコシアニン)およるの達成される条件であれば特に限定されない。

[0068]

c)前記物質が結合した細胞を選別し、白血病幹細胞がパージングされた試料を得る工程本工程において、細胞の選別は、フローサイトメトリーと組み合わせることで容易に達成することができる。蛍光標識した抗体と接触させた試料をフローサイトメーターにセットし、抗体と結合した細胞を選別し、当該試料から白血病幹細胞を分離することができる

10

20

30

20

30

40

50

このようにして得られたLSCがパージングされた試料は、LSCが効率的に除去され、HSCは除去されずに逆に濃縮されることによって、再発の懸念なくAMLの患者の治療に用いることができる。

【実施例】

[0070]

以下、実施例により本発明を詳細に説明するが、本発明はこれらの実施例により何ら限定されるものではない。

[0 0 7 1]

ヒト試料

すべての実験は、理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センターのInstitutional Review Board for Human Researchからの承認により実施した。AML患者由来の白血病細胞は、書面によるインフォームドコンセントにより収集した。健常ドナー由来のCB(臍帯血)は、書面によるインフォームドコンセントとともにTokyo Cord Blood Bankにより収集した。健常ドナー由来のBMMNC(骨髄単核球細胞)は、Cambrex(Walkerville, MD)から入手した。AML患者由来のBMMNCおよびCBMNC(臍帯血単核球細胞)は、密度勾配遠心分離を使用して単離した。

[0072]

FACSおよびフローサイトメトリーによる解析

蛍光活性化セルソーティング(FACS)のため、AML患者のBMMNC細胞を、蛍光色素結合マウス抗hCD3、抗hCD4、抗hCD8、抗hCD34および抗hCD3 4 および抗hCD3 8 モノクローナル抗体(BD Biosciences,San Jose, CA)で標識し、レシピエントBMMNC細胞を、マウス抗hCD45、抗hCD34および抗hCD38モノクローナル抗体(BD Biosciences)で標識し、FACSAria (BD Biosciences)を用いて細胞をソーティングした。FSC/SSC幅の分析によって、ダブレットを排除した。ソーティング後のhCD34+hCD38-およびhCD34+細胞の純度は、98%よりも高かった。フローサイトメトリー解析のため、AML患者のBMMNC、レシピエント末梢血またはレシピエントBMを、上述した蛍光色素結合マウス抗hCD3、抗hCD45、抗hCD34および抗hCD38モノクローナル抗体で標識した。

[0073]

マイクロアレイ解析

全RNAを、TRIzol試薬(Invitrogen)を用いて抽出し、Agile Bioanalyzerを用いて当該RNAの完全性を評価した。Human enome U133 plus 2.0ジーンチップ (Affymetrix)に対し て、Two-Cycle Target Labelingキット(Affymetri x)を用いてビオチン化cRNAを合成した。Human Gene 1.0STジーン チップ(Affymetrix)に対して、第1ラウンドのcDNA合成およびcRNA 増幅を、MessageAmp Premier RNA Amplification キット(Applied Biosystems)を用いて行い、続く第2ラウンドのc DNA合成、ビオチン化および断片化を、WT cDNA合成およびTerminal Labelingキット(Affymetrix)を用いて行った。ハイブリダイゼーシ ョン、洗浄、染色およびスキャニングを、製造業者の指示書に従って行った。まず、各プ ラットフォームについて、Bioconductorパッケージ(http://www . bioconductor.org/)を用いて、マイクロアレイデータを別々に解析 した。マイクロアレイプラットフォーム上のプローブセットのシグナル強度を、GC-R MAプログラム(Zhijin et al., J. Am. Stat. Asso c . , 99, 909-917, 2004)を用いて正規化した。各プラットフォー ムに対して、正規化したデータをRankProdプログラム(Hong et al.

Bioinformatics, 22, 2825-2827, 2006)によ り解析し、カットオフp値0.01かつ擬陽性推定0.05%として、LSCとHSCと の間で示差的に発現した遺伝子を選択した。HSCに比べてLSCで有意に高いレベルの 発現が両方のマイクロアレイプラットフォームで共通して観察された場合、当該遺伝子を 顕著なLSCマーカーの遺伝子候補として選択した(図5、表1)。さらに、Human Gene 1.0STジーンチップにおいて高率にヒットした遺伝子IL2RAも、タ ンパク質レベルでの解析結果がよく、後述する抗癌剤抵抗性の幹細胞で発現しているとい う観点から、マーカー遺伝子候補として選択した(表1)。候補の局在および生物学的機 能は、Ingenuity Pathway Analysisデータベース(Inge nuity Systems) およびジーンオントロジーアノテーションデータベース(h t t p : //www.ebi.ac.uk/GOA/)の情報に基づいてアノテーショ ンした。

[0074]

定量PCR(aPCR)解析

HSCおよびLSCから10ngの全RNAを、WT-Ovation RNA増幅シ ステム(Nugen)を用いるcDNA増幅に供した。cDNA産物をTEで1:7.5 に希釈し、25µlのqPCR反応あたり1µlの希釈産物を使用した。二重標識した蛍 光プローブおよび遺伝子特異的プライマー(Sigma-Aldrich)の配列を、表 3に記載した。PCR反応は、LightCycler 480(Roche Appl ied Science)を使用して、Platinum Quantitative PCR SuperMix-UDG(Invitrogen)で行った。各転写物の存在 量は、標準曲線法(Methods, 25, 386-401, 2001)により計 算した。Kaleida Graphソフトウェアパッケージ中のKruskal-Wa llis、Wilcoxon-Mann-Whitney、Student's t-検 定のいずれかがP<0.05を示した場合、LSCとHSCとの間で発現レベルが有意に 異なるとみなした。

[0075]

動物

NOD.Cg-Prkdc^{scid}Il2rg^{tmlWjl}/Sz(NOD/SCID / IL2 rg^{null}) マウスは、Il2 rg遺伝子座の完全ヌル変異をNOD.Cg-Prkdc^{scid}(NOD/SCID)系統と戻し交雑することによって、The ackson Laboratory(Bar Harbor, ME)で開発された(Shultz, L.D. et al. Multiple defects innate and adaptive immunologic function NOD/LtSz-scid mice. J Immunol 154, 1 80-191 (1995))。マウスを、理研およびThe Jackson Lab oratoryの動物施設で、各施設でInstitutional Animal ommitteesによって確立されたガイドラインに従って、照射した食物および酸性 化した水を用いて飼育し、規定された細菌叢のもとで維持した。

40

30

10

20

[0076]

異種移植

新生仔(誕生後2日以内) NOD/SCID/IL2rg^{null}マウスに、¹³⁷ C s 源 照 射 器 を 使 用 し て 、 1 5 0 c G y の 全 身 照 射 を 与 え 、 そ の 後 2 時 間 以 内 に A M L 細 胞の静脈内注射を行なった。レシピエントは、3~4週間毎に後眼窩から採血し、末梢血 ヒトAML移植キメリズムを調べた。

[0077]

免疫蛍光標識およびイメージング

原発 AML移植レシピエントの大腿骨から、パラホルムアルデヒド固定し脱灰したパラ フィン包埋切片を調製した。標識に使用した一次抗体は、マウス抗ヒトCD45モノクロ ーナル抗体(DAKO, Denmark)およびウサギ抗CD32モノクローナル抗体

(Abcam, UK)であった。Zeiss LSM ExciterおよびLSM 7 1 0 (Carl Zeiss)を用いて、レーザースキャニング共焦点イメージング を得た。

[0078]

免疫蛍光標識およびイメージング(2)

原発AMLを移植し、抗癌剤処置したレシピエントの大腿骨から、パラホルムアルデヒ ド固定し脱灰したパラフィン包埋切片を調製し、DAPI(核染色:青);各マーカー(FCGR2A, AK5, DOK2, LRG1, BIK, IL2RA, WT1 , SUCNR1:赤);静止細胞マーカー(緑:CD34(FCGR2A, AK5, DOK2, LRG1, BIK) またはKi67(IL2RA, WT1, SUC NR1)に対する抗体で標識した。 Zeiss LSM ExciterおよびLSM 7 1 0 (Carl Zeiss)を用いて、レーザースキャニング共焦点イメージング を得た(図7)。

[0079]

表 2 : 正常 C D 3 4 + C D 3 8 - H S C s よりも A M L C D 3 4 + C D 3 8 - L S C s で転写物が大量に発現している遺伝子のリスト

[0800]

【表2】

						 統計			
GeneID	遺伝子名	局在	機能	プロセス	T-test	Wilcoxon Mann Whitney	Kruskal-Wallis	メジアン値の比 (LSC/HSC)	すべてのHSC試料より も高発現を示すLSC 試料の数(最大5)
123	ADFP	細胞膜			0.011	0.032	0.027	5.5	4
26289	AK5	細胞質	シグナル伝達分子		0.014	0.018	0.013	>10000	5
241	ALOX5AP	細胞膜			0.125	0.016	0.014	33.8	5
	ARHGAP18		シグナル伝達分子		0.033	0.063	0.050	2.3	4
	BIK	細胞質		アポトーシス	0.087	0.016	0.014	129.4	5
	CACNB4	細胞膜			0.009	0.016	0.014	50.4	5
	CCL5	細胞外間隙	サイトカイン	免疫、細胞接着	0.018	0.016	0.014	58.4	5
	CD33	細胞膜	シグナル伝達分子		0.002	0.016	0.014	8.0	5
	CD3D	細胞膜	膜貫通型受容体		0.086	0.015	0.011	>10000	5
22918		細胞膜		細胞接着	0.018	0.016	0.014	27.1	5
	CD97	細胞膜		免疫、細胞接着	0.014	0.016	0.014	5.7	5
	CLEC12A	細胞膜	(大型工文·1)	JULY WANGER	0.049	0.016	0.014	180.2	5
	CTSC	細胞質			<0.001	0.016	0.014	6.6	5
	CYBB	細胞質		免疫	0.107	0.036	0.014	639.5	4
	DOK2	細胞膜	シグナル伝達分子	元及	0.080	0.019	0.027	31.5	5
	FCER1G	細胞膜		免疫、アポトーシス	0.042	0.016	0.014	24.5	4
	FCGR2A	細胞膜	膜貫通型受容体	元及、アホトーラス	0.347	0.016	0.014		5
	FUCA2		膜貝迪空文谷体				0.014	21.1	
		細胞外間隙	いだよりにキハフ	在 城	0.005	0.016		2.7	5
2533	GPR34	核 細胞膜	シグナル伝達分子	光技	0.031	0.018	0.013	5.4	5
			膜貫通型受容体		0.085	0.016	0.014	4.3	5
	GPR84	細胞膜 細胞質	膜貫通型受容体		0.259	0.016	0.014	3521.9	5
	HCK	細胞質	シグナル伝達分子		0.031	0.016	0.014	82.6	5
	HCST	細胞膜	A= m 7		< 0.001	0.016	0.014	17.3	5
	HGF	細胞外間隙	成長因子		0.034	0.191	0.142	27.2	4
	HLX	核	転写調節分子		0.003	0.016	0.014	2.9	5
	HOMER3	細胞膜	シグナル伝達分子		0.081	0.018	0.013	330.1	5
	IL2RG	細胞膜		免疫	0.039	0.016	0.014	3.0	5
	IL3RA	細胞膜	膜貫通型受容体		0.142	0.016	0.014	2.7	5
	ITGB2	細胞膜	シグナル伝達分子	細胞接着、アポトーシス	0.016	0.016	0.014	5.6	5
	LGALS1	細胞外間隙		アポトーシス	0.011	0.016	0.014	34.5	5
	LPXN	細胞質	シグナル伝達分子	細胞接着	0.008	0.016	0.014	5.2	5
116844		細胞外間隙			0.023	0.016	0.014	18.8	5
		細胞膜		免疫、アポトーシス	0.166	0.065	0.049	14.8	4
		細胞外間隙			0.031	0.063	0.050	2.6	4
		細胞質		免疫	0.003	0.016	0.014	5.7	5
				細胞周期、アポトーシス	0.007	0.016	0.014	5.3	5
	P2RY5	細胞膜	膜貫通型受容体		0.043	0.063	0.050	20.8	4
		細胞質	シグナル伝達分子		0.140	0.016	0.014	42.0	5
		細胞質	シグナル伝達分子		0.004	0.016	0.014	11.7	5
	PRKCD	細胞質	シグナル伝達分子		0.059	0.016	0.014	24.2	5
	PRSS21	細胞外間隙			0.023	0.191	0.142	43.3	4
5746	PTH2R	細胞膜	膜貫通型受容体		0.133	0.019	0.014	9.3	5
55647	RAB20	細胞質	シグナル伝達分子		0.117	0.019	0.014	157.1	5
4218	RAB8A	細胞質	シグナル伝達分子		0.017	0.063	0.050	2.1	3
5877	RABIF	不明	シグナル伝達分子		0.008	0.016	0.014	3.1	5
6036	RNASE2	細胞外間隙			0.152	0.016	0.014	88.1	5
	SLC43A3	細胞外間隙			0.013	0.016	0.014	3.3	5
	SUCNR1	細胞膜	膜貫通型受容体		0.075	0.032	0.027	29.9	4 .
7076	TIMP1	細胞外間隙			0.020	0.032	0.027	3.4	4
$71\overline{24}$	TNF	細胞外間隙	サイトカイン・	免疫、アポトーシス	0.325	0.016	0.014	2855.3	5
7293	TNFRSF4	細胞膜	膜貫通型受容体	免疫	0.327	0.034	0.025	>10000	4
10673	TNFSF13B	細胞外間隙	サイトカイン	免疫	0.017	0.016	0.014	6.1	5
54957	TXNL4B	核		細胞周期	0.045	0.032	0.027	3.4	4
7305	TYROBP	細胞膜	シグナル伝達分子		0.016	0.016	0.014	14.8	5
8876	VNN1	細胞膜		免疫、アポトーシス、細胞接着	0.151	0.016	0.014	11.0	5
		1-t-	I						
7490	WT1	核	転写調節分子	細胞周期	0.164	0.019	0.014	100.6	5

20

30

40

[0 0 8 1]

20

30

40

表 3 : q R T - P C R で用いたプライマー、プローブおよび P C R 産物のリスト [0 0 8 2] 【表3-1】

遺伝子	プライマー プローブ	配列	Tm [℃]	b. p	PCR産物予想配列	PCR 産 物 b. p
	Hs_ACTR2-Probe Hs_ACTR2-F Hs_ACTR2-R	TCCTGGCCTGCCATCACGGTTGGA (配列番号1) GTGCTTTCTGGAGGGTCTACTATG (配列番号2) GGTGGGTCTTCAATGCGGATC (配列番号3)	64. 7 63. 9 69. 8	24 21	GTGCTTTCTGGAGGGTCTACTATGTATCCTGGCCTGCCATCACGGTTGGAACGAGAA CTTAAACAGCTTTACTTAGAACGAGTTTTGAAGGGTGATGTGGAAAAACTTTCTAAA TTTAAGATCCGCATTGAAGACCCACC(配列番号175)	
Hs_ADFP	Hs_ADFP-Probe Hs_ADFP-F Hs_ADFP-R	ACTGATGAGTCCCACTGTGCTGAGCA(配列番号4) GTAGAGTGGAAAAGGAGCATTGG(配列番号5) TACACCTTGGATGTTGGACAGG(配列番号6)	73. 9 64. 7 65. 8	23 22	GTAGAGTGGAAAAGGAGCATTGGATATGATGATACTGATGAGTCCCACTGTGCTGAG CACATTGAGTCACGTACTCTTGCAATTGCCCGCAACCTGACTCAGCAGCCCCAGCC ACGTGCCACACCCTCCTGTCCAACATCCAAGGTGTA (配列番号176)	150
	Hs_AK5-Probe Hs_AK5-F Hs_AK5-R	CCTCATCCTCATCGCGGTCGGCATCA(配列番号7) GCTGCTCCATTGGTTAAATACTTCC(配列番号8) GTTGTCAACTGCCATGCTGATG(配列番号9)	65. 9 66. 4 67. 7	25 22	GCTGCTCCATTGGTTAAATACTTCCAGGAAAAGGGGCTCATCATGACATTTGATGCC GACCGCGATGAGGATGAGGTGTTCTATGACATCAGCATGGCAGTTGACAAC(配列 番号177)	108
s_ALOX5A	Hs_ALOX5AP-F Hs_ALOX5AP-R	AGAACGCAGAGCACCCCTGGCTACAT (配列番号10) AGTACTTTGTCGGTTACCTAGGAG (配列番号11) GTAATAGTTGAATATGCCAGCAACG (配列番号12)	75. 4 60. 5 64. 1	24 25	AGTACTITGTCGGTTACCTAGGAGAGAGAGCCAGCCCCCTGGCTACATATTTG GGAAACGCATCATACTCTTCCTGTTCCTCATGTCCGTTGCTGGCATATTCAACTATT AC (配列番号178)	
	Hs_ARHGAP18-F Hs_ARHGAP18-R	TCAGGCTGTCCAGAATCTTCCAACCAAG(配列番号13) GCTCAGTGTGGAGTATCTCAAAG(配列番号14) CTTCAGTGTGTCCCTGTTTGC(配列番号15)	74. 7 61. 8 64. 6	23 21	GCTCAGTGTGGAGTATCTCAAAGCCTTTCAGGCTGTCCAGAATCTTCCAACCAA	
	Hs_BIK-Probe Hs_BIK-F Hs_BIK-R	CGCCTGGCCCAGCTCTCCGAGG(配列番号16) AGATGGACGTGAGCCTCAGG(配列番号17) TCAGTCTGGTCGTAGATGAAAGC(配列番号18)	68. 9 66. 7 64. 4	22 20 23	TCGGGGACGAGATGGACGTGAGCCTCAGGGCCCCGGCCCTGGCCCAGCTCTCCGAGG TGGCCATGCACAGCCTGGGTCTGGCTTTCATCTACGACCAGACTGA(配列番号 180)	103
	Hs_CACNB4-Probe Hs_CACNB4-F Hs_CACNB4-R	AGCGAATGAGGCACAGCAACCACTCC (配列番号19) CCACAGCAATTTCTGGGTTACAG (配列番号20) GACAAGCGGTTCCTACTCTTCC (配列番号21)	77. 0 66. 4 65. 0	23 22	CCACAGCAATTTCTGGGTTACAGAGTCAGCGAATGAGGCACAGCAACCACTCCACAG AGAACTCTCCAATTGAAAGACGAAGTCTAATGACCTCTGATGAAAATTATCACAATG AAAGGGCTCGGAAGAGTAGGAACCGCTTGTC(配列番号181)	
Hs_CCL5	Hs_CCL5-Probe Hs_CCL5-F Hs_CCL5-R	AACCCAGCAGTCGTCTTTGTCACCCG(配列番号22) TCAAGGAGTATTTCTACACCAGTGG(配列番号23) TCCCGAACCCATTTCTTCTCTG(配列番号24)	76. 7 64. 0 68. 2	22	TCAAGGAGTATTTCTACACCAGTGGCAAGTGCTCCCAACCCAGCAGTCGTCTTTGTCA CCCGAAAGAACCGCCAAGTGTGTGCCCAACCCAGAGAAAATGGGTTCGGGA(配 列番号 1 8 2)	109
	Hs_CD33-Probe Hs_CD33-F Hs_CD33-R	TACCACAGGGTCAGCCTCCCCGAAAC (配列番号25) CAGCAGTGGGCAGGAATGAC (配列番号26) TCCTCATCCATCTCCACAGTAGG (配列番号27)	77. 1 68. 1 66. 3	20 23	CAGCAGTGGGCAGGAATGACACCCACCCTACCACAGGGTCAGCCTCCCCGAAACACC AGAAGAAGTCCAAGTTACATGGCCCCACTGAAACCTCAAGCTGTTCAGGTGCCGCCC CTACTGTGGAAGATGGATGAGGA (配列番号 183)	136
Hs_CD3D	Hs_CD3D-Probe Hs_CD3D-F Hs_CD3D-R	TGTTCCCACCGTTCCCTCTACCCATG (配列番号28) TGGTACTGGCTACCCTTCTCTC (配列番号29) TCCAGTCTTGTAATGTCTGACAGC (配列番号30)	76. 2 63. 3 63. 5	26 22 24	TGGTACTGGCTACCCTTCTCTCGCAAGTGAGCCCCTTCAAGATACCTATAGAGGAAC TTGAGGACAGAGTGTTTGTGAATTGCAATACCAGCATCACATGGAGGAACGG TGAGGACACAGCTCTCTCAGACATTCCAAGACTGGA (配列番号184)	148
	Hs_CD93-Probe Hs_CD93-F Hs_CD93-R Hs_Re_CD97-Probe	AGGGCCACCTCACTTTCAGCAGTCTG (配列番号31) AATGCGGCAGACAGTTACTCC (配列番号32) GTGGCTGGTGACTCTAGTGTC (配列番号33)	74. 7 65. 2 61. 4	21 21	AATGCGGCAGACAGTTACTCCTGGGTTCCAGAGCGAGCTGAGAGCAGGGCCATGGAG AACCAGTACAGTCCGACACCTGGGACAGCTGCTGAAAGTGAGGTGGCCCTAGAGAC ACTAGAGTCACCAGCACCCC (配列番号 1 8 5)	132
	Hs_Re_CD97-F Hs_Re_CD97-R	CGCCTTCCTCTACCTGCTGCACTGC (配列番号34) CTATGTGTTTACCATCCTCAACTGC (配列番号35) GCCTCTCACCACACTGCAACAACTATACCAAC (配列番号36)	76. 0 64. 4 67. 5	25 21	CTATETGTTTACCATCCTCAACTGCCTGCAGGGCGCCTTCCTTCTACCTGCTGCACTG CCTGCTCAACAAGAAGGTTCGGGAAGAATACCGGAAGTGGGC (配列番号 1 8 6) ACATGAATATCTCCAACAAGATCAGGAACCTCTCCACCACACTGCAAACAATAGCCA	99
s_CLEC12	Hs_CLEC12A-Probe Hs_CLEC12A-F Hs_CLEC12A-R Hs_CTSC-Probe	CCTCTCCACCACACTGCAAACAATAGCCAC (配列番号37) ACATGAATATCTCCAACAAGCATCAGG (配列番号38) GCTGTCCTTATGCCAAATCCATC (配列番号39)	76. 7 64. 9 67. 3	26 23	CCAAATTATGTCGAACAAGATAAGGAACACTCTCCACCAAACTGGAAACAATAGCCA CCAAATTATGTCGTGAGCTATATAGCACAAGAACAAGAGCACAAATGTAAGCCTTGTC CAAGGAGATGGATTTGGCATAAGGACAGC (配列番号 187) TCTTCCAGGTGGGCTCCAGCGGTTCCCAGCGCGATGTCAACTGCTCGGTTATGGGAC	143
Hs_CTSC	Hs_CTSC-F Hs_CTSC-F Hs_CTSC-R Hs_CYBB-Probe	CCAGCGCGATGTCAACTGCTCGGTT (配列番号40) TCTTCCAGGTGGGCTCCAG (配列番号41) GCCAGAATTGCCAAGGTCATC (配列番号42) TGCCAACAGGGTCACAGCGAGTACA (配列番号43)	78. 7 67. 8 67. 7 77. 4	25 19 21 26	TO TO COMMING TO CHARGE TO CHARGE AND THE CARCHIOLOGY TO CACAGAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA	128
	Hs_CYBB-F Hs_CYBB-R Hs_DOK2-Probe	TGATCCTTATTCACAGCCAGGTACA (配列番号 4 4) AGCGTGATGACAACTCCAGTG (配列番号 4 5) CCTCTCCAGAGACGCACCACCGC (配列番号 4 6)	63. 5 65. 3 79. 3	26 21	CAATTITGCTCGAAAGGAATAAAGAAACCTGAAGGAGGCCTGTACCTGCTGTGGC CCTGTTGGCAGGCATCACTGGACTTGTCATCACGCT (配列番号189) AGCTGTACGACTGGCCCTACAGGTTTCTGCGCCGCTTTGGGCGGGACAAGGTAACCT	150
Hs_DOK2	Hs_DOK2-F Hs_DOK2-R Hs_FCER1G-Probe	AGCTGTACGACTGACCCTAC (配列番号 4 7) TGCCGGGTTTCGAACTCAAAG (配列番号 4 8) AGCACCAGGAACCAGGAGACTTACGA (配列番号 4 9)	63. 2 70. 1 72. 2	20 21 26	TTTCCTTTGAGGCAGGCCGTCGCTGCGTCTCTGGAGAGGGCAACTTTGAGTTCGAAA CCCGGCA (配列番号 1 9 0)	<u> </u>
ls_FCER16	Hs_FCER1G-F Hs_FCER1G-R Hs_FCGR2A-Probe	AGGAAATCAGATGGTGTTTACACG (配列番号50) CTACTGTGGTGGTTCTCATGC (配列番号51) TGTCCCAGAAACCTGTGGCTGCTTCA (配列番号52)	63. 4 63. 4 76. 7	24 22	GAGAAATCAGATGGTGTTTACACGGGCCTGAGCACCAGGAACCAGGAGACTTACGAG ACTCTGAAGCATGAGAAACCACCACAGTAG (配列番号191) GATGACTATGGAGACCCAAATGTCTCAGAATGTATGTCCCAGAAACCTGTGGCTGCT	87
ls_FCGR2#	Hs_FCGR2A-F Hs_FCGR2A-R Hs_FUCA2-Probe	GATGACTATGGAGACCCAAATGTC (配列番号53) CAAGTTTCAGCACAGCCTTTGG (配列番号54) CCCAGTAGTTTCACCTCTGTTGCCCC (配列番号55)	64. 4 67. 8 73. 5	24	TCAACCATTGACAGTTTTGCTGCTGCTGGCTTCTGCAGAGCAGCAAACCTGCAGCTCC CCCAAAGGCTGTGCTGAAACTTG (配列番号192) TTTCTTAAATGGCCCACATCAGGACAGCTGTTCCTTGGCCATCCCAAAGCTATTCTG	
Hs_FUCA2	Hs_FUCA2-F Hs_FUCA2-R Hs_FYB-Probe	TITICTTAAATGGCCCACATCAGG (配列番号56) GAAATCCAGTTAAGTGGCTGTCC (配列番号57) AGCCAACCACCATGAAAGCATCTCAC (配列番号58)	67. 5 64. 6 78. 1	23 23	GGGCAACAGAGGTGAAACTACTGGGCCATGGACAGCACTTAACTGGATTTC(配列番号193)	110
Hs_FYB	Hs_FYB-F Hs_FYB-R Hs_GPR34-Probe	ACCACCTCCACCATCCCATC (配列番号 5 9) ACACCATCTTGATTGATTCTTCATTGAC (配列番号 6 0) TGGCCTTACTCCTCCCACAGAATGCG (配列番号 6 1)	68. 3 65. 9 76. 4	20 26	ACAACCACCAGTCCCAAGCCTACCTCCCAGAAACATTAAACCTCCGTTTGACCTAAA AAGCCCTGTCAATGAAGACAATCAAGATGGTGT(配列番号194) CATACCATAACAATGACGACAACTTCAGTCAGCAGCTGGCCTTACTCCTCCCCACAGA	147
Hs_GPR34	Hs_GPR34-F Hs_GPR34-R Hs_GPR84-Probe	CATACCATAACAATGACGACAACTTC (配列番号62) CATGGGACAGGTAGTAACATTTGG (配列番号63) AGCCCAGCACAGACTCATGGTAGCAG (配列番号64)	64. 1 65. 0 73. 8	26 24	ATGGGCTTTATAACCAATCATAGGGACCAACGGCCACAAAACTTCTCAGCAACACCA AATGTTACTAACCAATCATAGGGACCAACGGCCACAAAACTTCTCAGCAACACCCA AATGTTACTAACCAATCATCAGGAACCACCACAAAACTTCAGGAACACACCACAAACTTCAGGAAGATTGAAGGATTGAAAGAATTGAAAGAATTGAAAGAATTGAAAGAATTGAAAGAATTGAAAGAATTGAAAGAATTGAAAGAATTGAAAGAATTGAAAGAATTGAA	135
Hs_GPR84	Hs_GPR84-F Hs_GPR84-R Hs_HCK-Probe	CTTTGGGTGAGTTGAACATTCTTCC (配列番号65) CCCAGCTAACTGCAACATAACG (配列番号66) ACCCTCGCTTCAGCCACAGTTTCCTC (配列番号67)	65. 8 65. 3 75. 2	24	CCTCTATCATGTGGAACAGCTCTGACGCCAACTTCTCCTGCTACCATGAGTCTGTGC TGGGCTATCGTTATGTTGCAGTTAGCTGGG(配列番号196)	144
Hs_HCK	Hs_HCK-F Hs_HCK-R Hs_HCST-Probe	CCCTTCCTACTCCCAGACACC (配列番号 6 8) AGAGATTTTCCAGTCCAACCTACC (配列番号 6 9) CCTGCTTTTGCTCCCAGTGGCTGC (配列番号 7 0)	65. 8 64. 3 76. 9	21 24	CCCTTCCTACTCCCAGACACCCACCCTCGCTTCAGCCACAGTTTCCTCATCTGTCCAGTGGGTAGGTTGGACTGGAAAATCTCT (配列番号197) GATCCATCTGGGTCACATCCTCTTCCTGCTTTTGCTCCCAGTGGCTGCAGCTCAGAC	84
Hs_HCST	Hs_HCST-F Hs_HCST-R Hs_HGF-Probe	GATCCATCTGGGTCACATCCTC (配列番号71) CAGGGTAAAAGGCAGGGAGTG (配列番号72) TGTTCCCTTGTAGCTGCGTCCTTTACCA (配列番号73)	66. 8 66. 7 74. 4		GACTCCAGGAGAGAGATCATCACTCCCTGCCTTTTACCCTG(配列番号198) GCCATGAATTTGACCTCTATGAAAACAAAGACTACATTAGAAACTGCATCATTGGTA	98
Hs_HGF	Hs_HGF-F Hs_HGF-R Hs_HLX-Probe	GCCATGAATTTGACCTCTATGAAAAC (配列番号74) GCTGACATTTGATGCCACTCTTAG (配列番号75) CCTTCGTGAGCACAGCATAGGGACCT (配列番号76)	66. 2 65. 7 74. 3	26 24 26	AAGGACGCAGCTACAAGGGAACAGTATCTATCACTAAGAGTGGCATCAAATGTCAGC(配列番号199)	114
	Hs_HLX-F Hs_HLX-R Hs_HOMER3-Probe	CAGTTCAGCATCAGCATCAGAC (配列番号 7 7) TTGTACGTCTCGCGCCATGG (配列番号 7 8) TCGCCCCACGGAGCCCTCAGACAA (配列番号 7 9)	64. 9 68. 2 79. 3	23 19	CAGTTCAGCATCAGTTCCAAGACACGTTTCCAGGTCCCTATGCTGTGCTCACGAAGG ACACCATGCCGCAGACGTACAA (配列番号200) AAACTGTTCCGCAGCCAGAGCGCTGATGCCCCCCGGCCCCACAGAGCGCGAGCGGCTA	/9
	Hs_HOMER3-F Hs_HOMER3-R Hs_IL2RG-Probe	AAACTGTTCCGCAGCCAGAG (配列番号80) AACTCGGCCTCCCACTGTAC (配列番号81) TCAGCCAGTCCCTTAGACACACCACT (配列番号82)	66. 6 65. 3 71. 5	20 20	AAGAAGATGTTGTCTGAGGGCTCCGTGGGCGAGGTACAGTGGGAGGCCGAGTT(配列番号201) CCTAGAGGATCTTGTTACTGAATACCACGGGAACTTTTCGGCCTGGAGTGGTGTGTC	110
Hs_IL2RG	Hs_IL2RG-F Hs_IL2RG-R Hs_IL3RA-Probe	CCTAGAGGATCTTGTTACTGAATACC (配列番号83) AGAGTCGTTCACTGTAGTCTGG (配列番号84) TTGCCCGCCTCCCAGACCACCA (配列番号85)	61. 1 60. 0 65. 1	26 22	TAAGGGACTGGCTGAGAGTCTGCAGCCAGACTACAGTGAACGACTCT (配列番号202) CCCGCATCCCTCACATGAAAGACCCCATCGGTGACAGCTTCCAAAACGACAAGCTGG	104
	Hs_IL3RA-F Hs_IL3RA-R	CCCGCATCCCTCACATGAAAG (配列番号86) AGTCACCAGACACTCCTCCAG (配列番号87)	70. 7 63. 4		TGGTCTGGGAGGCGGGCAAAGCCGGCCTGGAGGAGTGTCTGGTGACT(配列番号203)	

【表3-2】

	Hs_ITGB2-Probe	TCTGATCCACCTGAGCGACCTCCGG(配列番号88)	78. 4	25	TCCTGCTGGTCATCTGGAAGGCTCTGATCCACCTGAGCGACCTCCGGGAGTACAGGC	
Hs_ITGB2	Hs_ITGB2-F	TCCTGCTGGTCATCTGGAAGG(配列番号89)	68. 7	21	GCTTTGAGAAGGAGAAGCTCAAGTCCCAGTGGAACAATGATAATCCCCTTTTCAAGA	150
	Hs ITGB2-R	CAGCAAACTTGGGGTTCATGAC(配列番号90)	67. 5	22	GCGCCACCACGACGGTCATGAACCCCAAGTTTGCTG(配列番号204)	1 1
	Hs_LGALS1-Probe	TTCGTATCCATCTGGCAGCTTGACGGTCA(配列番号91)	78. 5	29	GCGGGAGGCTGTCTTTCCCTTCCAGCCTGGAAGTGTTGCAGAGGTGTGCATCACCTT	
Hs_LGALS1		GCGGGAGGCTGTCTTTCC(配列番号92)	67. 2	18		127
-		CAGGTTGAGGCGGTTGGG (配列番号93)	69. 0		CCGCCTCAACCTG (配列番号205)	
	Hs_LPXN-Probe	TGCCAGCATCTGCTCTCACTGCAACC(配列番号94)	77. 6	26	TGAAGCCCAAGAGCCAAAGGAATCACCACCACCTTCTAAAACGTCAGCAGCTGCTCA	
Hs LPXN	Hs_LPXN-F	TGAAGCCCAAGAGCCAAAGG(配列番号95)	68. 5	20	GTTGGATGAGCTCATGGCTCACCTGACTGAGATGCAGGCCAAGGTTGCAGTGAGAGC	150
	Hs LPXN-R	TCCTGCTTGTCTGGTAAGTGC(配列番号96)	64. 2	21	AGATGCTGGCAAGAAGCACTTACCAGACAAGCAGGA(配列番号206)	1.00
	Hs_LRG1-Probe	AGACCTTGCCACCTGACCTCCTGAG(配列番号97)	73. 3	25		$\overline{}$
Hs LRG1	Hs_LRG1-F	CCTTGACCTTGGGGAGAACC(配列番号98)	66.8	20	CCTTGACCTTGGGGAGACCAGTTGGAGACCTTGCCACCTGACCTCCTGAGGGGTCC	85
	Hs LRG1-R	TTCTAGATGTAGCCGTTCTAATTGC (配列番号99)	63. 2	25	GCTGCAATTAGAACGGCTACATCTAGAA(配列番号207)	00
		CTATCCCATCTGTGAGGCGGCTCTGC (配列番号100)	76. 4	26	ATGTCTCAAGGCTCATCTGTTTTGAATTTCTCCTATCCCATCTGTGAGGCGGCTCTG	-
Hs I YR6		ATGTCTCAAGGCTCATCTGTTTTG (配列番号101)	65. 3	24		118
110_2100	Hs LY86-R	TGACAGGCCCAGCATAGTAAATC (配列番号102)	65. 9		GTCA(配列番号208)	' '
	Hs MGAT4A-Probe	TTGGCTCCTGGACCATATTCTCTGGGT (配列番号103)	74. 1		ATATTCATGTTTTACAAGGAGAAACCCATTGATTGGCTCCTGGACCATATTCTCTGG	
Hs MGATAA		ATATTCATGTTTTACAAGGAGAAACCC(配列番号104)	63. 8	27		116
III3_IIIGX14/	Hs MGAT4A-R	AGATTTGCTTTCTGTCTATCACAATG(配列番号105)	63. 2		CT(配列番号209)	' ' '
		CGTTGACCGCATGGCAGCTCCGAG(配列番号106)	66. 4	24	AGAGCGTGTCCCCACAGGGCAACAGCGTTGACCGCATGGCAGCTCCGAGAGCAGAGG	
He NCEA		AGAGCGTGTCCCCACAGG(配列番号107)	66. 6	18	CTCTATTTGACTTCACTGGAAACAGCAAACTGGAGCTGAATTTCAAAGCTGGAGATG	122
113_1101 4	Hs NCF4-R	CGACTGAGGAAGATCACATC (配列番号108)		23	TGATCTTCCTCCTCAGTCG(配列番号210)	133
			66.1		Ida to Floor Gold Gu 5月 田 与 2 T O)	
He NEKE		ACTGGTCAGCATGTGCATCTGCCCTG (配列番号109)	77.4	26	GGGGAGCACTACTCCGAGAAGTTACGAGAACTGGTCAGCATGTGCATCTGCCCTGAC	87
115_NERO		GGGGAGCACTACTCCGAGAAG(配列番号110)	66. 2	21	CCCCACCAGAGACCTGACATCGGATACGTG (配列番号211)	87
	Hs_NEK6-R	CACGTATCCGATGTCAGGTCTC (配列番号111)	25. 6	22	4040077474470704470004440040407040704704	
II- DODYE	Hs_P2RY5-Probe	ACGCTTACCATCGTAAAGGCACGTCCAATT (配列番号112)	75. 5	30	AGAGGTTATAATCTGAATCCCAAAGGAGACTGCAGCTGATGAAAGTGCTTCCAAACT	1.05
HS_P2R15		AGAGGTTATAATCTGAATCCCAAAGG (配列番号113)	64. 1	26		125
	Hs_P2RY5-R	TAAAGGAGTCATTATAGAAGCAGTGG(配列番号114)	62. 4	26	TGACTCCTTTA(配列番号212)	
	Hs_PDE9A-Probe	TCCACCCAAGGCTCTGCGACTTCCAT (配列番号115)	78. 0	26	GACTACAGCAACGAGGAGCACATGACCCTGCTGAAGATGATTTTGATAAAATGCTGT	1
HS_PDE9A		GACTACAGCAACGAGGAGCAC(配列番号116)	63. 9	21	GATATCTCTAACGAGGTCCGTCCAATGGAAGTCGCAGAGCCTTGGGTGGACTGTTTA	142
	Hs_PDE9A-R	GGTCGCTCTGCATAAAATATTCCTC(配列番号117)	66. 4	25	TTAGAGGAATATTTTATGCAGAGCGACC(配列番号213)	
	Hs_PDK1-Probe	TCGTGTTGAGACCTCCCGCGCAGT (配列番号118)	78. 2	24	ACATGTATTCAACTGCACCAAGACCTCGTGTTGAGACCTCCCGCGCAGTGCCTCTGG	
Hs_PDK1	Hs_PDK1-F	ACATGTATTCAACTGCACCAAGAC (配列番号119)	63.8	24	CTGGTTTTGGTTATGGATTGCCCA (配列番号214)	81
	Hs_PDK1-R	TGGGCAATCCATAACCAAAACC(配列番号120)	68. 3	22	1	1 1
	Hs_PRKCD-Probe	TTGCCGTAGGTCCCACTGTTGTCTTGC(配列番号121)	76. 3	27	GATCAGACTCAGCCTCCTCAGAGCCTGTTGGGATATATCAGGGTTTCGAGAAGAAGA	
. Hs_PRKCD	Hs_PRKCD-F	GATCAGACTCAGCCTCCTCAGA (配列番号122)	64. 9	22	CCGGAGTTGCTGGGGAGGACATGCAAGACAACAGTGGGACCTACGGCAAGATCTGGG	125
1	Hs PRKCD-R	GCTGCTGCCCTCCCAGAT (配列番号123)	68.0	18	AGGGCAGCAGC (配列番号215)	1
		AGACCCCTCCTGGCCGCTACTCTTTT(配列番号124)	74. 2	26	TGGCCCAGAGTGGCATGTCCCAGCCAGACCCCTCCTGGCCGCTACTCTTTTTCCCTC	
Hs_PRSS21	Hs_PRSS21-F	TGGCCCAGAGTGGCATGTC (配列番号125)	69. 9	19	TTCTCTGGGCTCTCCCACTCCTGGGGCCGGTCTGAGCCTACCTGAGCC(配列番	105
_		GGCTCAGGTAGGCTCAGACC (配列番号126)	65. 2		号216)	
	Hs PTH2R-Probe	CCAGCACCTCGCATCAGCCAGAGTTG (配列番号127)	76. 5	26		
Hs PTH2R		GGGTTTCCAGCAGCATTTGTTG (配列番号128)	66. 1	22	GGGTTTCCAGCAGCATTTGTTGCAGCATGGGCTGTGGCACGAGCAACTCTGGCTGAT	96
-	Hs PTH2R-R	CCACTTGATGTCTCCAGCACTAAG (配列番号129)	68. 1	24	GCGAGGTGCTGGGAACTTAGTGCTGGAGACATCAAGTGG(配列番号217)	1 1
		ACATCTCCATCTGGGACACCGCAGGG(配列番号130)	78. 6	26	GCCTTCTACCTGAAGCAGTGGCGCTCCTACAACATCTCCATCTGGGACACCGCAGGG	
Hs RAB20		GCCTTCTACCTGAAGCAGTGG(配列番号131)	65. 0	21	CGGGAGCAGTTCCACGGCCTGGGCTCCATGTACTGCCGGGGGGCCGCCGCCATCATC	140
	Hs RAB20-R	TGCCGGTGATTCACATCATAGG (配列番号132)	68. 8	22	CTCACCTATGATGTGAATCACCGGCA (配列番号218)	1
	Hs_RAB8A-Probe	TTTTGACTCCCTGGTTGCTCCCCTGG (配列番号133)	77. 1	26	GCCAACATCAATGTGGAAAATGCATTTTTCACTCTCGCCAGAGATATCAAAGCAAAA	
Hs RABBA		GCCAACATCAATGTGGAAAATGC(配列番号134)	69. 0			140
	Hs_RAB8A-R	CTGCTCCTCTTCTGCTGGTC (配列番号135)	64. 3	20	ACACCGGACCAGCAGAAGAGGAGCAG (配列番号219)	
		CGCCGTCAGGATTGCTGCCGTCA (配列番号136)	64. 9	23	AGGGACCGCTCTCTCTCGCCGACAGCTTTTCCTTCCCTCCATGAGAAAGAA	
He RARIE		AGGGACCGCTCTCTCTCTC (配列番号137)	63. 9	20		119
1110_1011	Hs_RABIF-R	CCTCAACCAGCCAGTGTTCC(配列番号138)	66. 9	20	TGAGG(配列番号220)	113
		AGTCTCCGCGCTGTAGCTCCTGTGA (配列番号139)	74. 7	25		\vdash
Hs RNASE2		CCCTGAACCCCAGAACAACC (配列番号140)	67. 7	20	CCCTGAACCCCAGAACAACCAGCTGGATCAGTTCTCACAGGAGCTACAGCGCGGAGA	91
III _ KINOLZ		GGGAAGTGAACAGTTTTGGAACC(配列番号141)	66.5	23	CTGGGAAACATGGTTCCAAAACTGTTCACTTCCC(配列番号221)	91
		CCTTGTCGGCTGTGGTGTCTCTGCTC(配列番号142)	76.3	26	AAGCTCTTTGGGCTGGTGATGGCCTTGTCGGCTGTGGTGTCTCTGCTCCAGTTCCCC	_
In SI CARA		AAGCTCTTTGGGCTGGTGATG(配列番号143)	67.5	21	ATCTTCACCCTCATCAAAGGCTCCCTTCAGAATGACCCATTTTACGTGAATGTGATG	140
IS_OLU-IOA				24		140
		GGTGGAAGAATGTCAGAAGAATGG (配列番号144) AAGGACTCCCACAACGAACTCAATCCCA (配列番号145)	66.6	28	TTCATGCTTGCCATTCTTCTGACATTCTTCCACC(配列番号222) TACGACATGCTGGGGATCATGGCATGGAATGCAACTTGCAAAAACTGGCTGG	-
He SHOND		TACGACATGCTGGGGATCATGCGA (配列番号145)	75.6			150
I IO_OUGHK	Hs_SUCNR1-F		68.0	21	GAGGCTGCCTGGAAAAGTACTACCTTTCCATTTTTTATGGGATTGAGTTCGTTGTG	150
	Hs_SUCNR1-R	GTAGCCGTAAACAACAATGGTATTTC (配列番号147) TGGTCCGTCCACAAGCAATGAGTGCC (配列番号148)	64.1	26	GGAGTCCTTGGAAATACCATTGTTTACGGCTAC (配列番号223)	\vdash
He TIMD1	Hs_TIMP1-Probe Hs_TIMP1-F		78.6	26	ACTGTTGGCTGTGAGGAATGCACAGTGTTTCCCTGTTTATCCATCC	1112
Ino_i IMP1		ACTGTTGGCTGTGAGGAATGC (配列番号149)	66.4	21		112
		CCTTTTCAGAGCCTTGGAGGAG (配列番号150)	67. 2	22	(配列番号224)	\vdash
Ho THE		CCCGAGTGACAAGCCTGTAGCCCAT (配列番号151)	75.1		CCAGGCAGTCAGCTCAAGCTCAAGCCCAACTCCAAGCCCGAATGTTGT	
Hs_TNF		CCAGGCAGTCAGATCATCTTCTC (配列番号152)	66. 2		AGCAAACCCTCAAGCTGAGGGCAGCTCCAGTGGCTGAACCGCCGGGCCAATGCCCT	140
	Hs_TNF-R	CTCTCAGCTCCACGCCATTG (配列番号153)	68.3	20	CCTGGCCAATGGCGTGGAGCTGAGAG (配列番号225)	\vdash
In THEBOT		CCTTGGCTGGGAAGCACACCCTGC (配列番号154)	78. 5	24	CCTGCAAGCCCTGGACCAACTGCACCTTGGCTGGGAAGCACACCCTGCAGCCGGCCA	70
IS_INFRSF		CCTGCAAGCCCTGGACCA (配列番号155)	70.0	18	GCAATAGCTCGGACGCAATCT(配列番号226)	78
		AGATTGCGTCCGAGCTATTGC (配列番号156)	67. 4	21		\vdash
THEORY		TCTTCTGGACCCTGAACGGCACGCT (配列番号157)	77.6	25	ACCAGCTCCAGGAGAAGGCAACTCCAGTCAGAACAGCAGAAATAAGCGTGCCGTTCA	07
s_TNFSF13		ACCAGCTCCAGGAGAAGGC (配列番号158)	65. 8		GGGTCCAGAAGAACAGTCACTCAAGACTGCTTGCAACTG(配列番号22	97
		CAGTTGCAAGCAGTCTTGAGTG (配列番号159)	65. 0	22	7)	\vdash
		CTCCTTACTCGTCCACGCCGCCTCA (配列番号160)	77.8	25	TCCGAGAAGTGGTTGCTGACAGCCACAAAGTGAAAGGGAGTGAGGCGGCGTGGACGA	1
Hs_fXNL4E	Hs_TXNL4B-F	TCCGAGAAGTGGTTGCTGAC(配列番号161)	65. 4	20		100
		TCTTGAAATAACCCAAATGTGAATCC(配列番号162)	66. 3		8)	Ш
	Hs_TYROBP-Probe	CGCTGTAGACATCCGACCTCTGACCC(配列番号163)	74. 9	26	CTGAGACCGAGTCGCCTTATCAGGAGCTCCAGGGTCAGAGGTCGGATGTCTACAGCG	11
Hs_TYROBI		CTGAGACCGAGTCGCCTTATC (配列番号164)	65. 0	21	ACCTCAACACACAGAGGCCGTAT(配列番号229)	80
		ATACGGCCTCTGTGTGTTGAG(配列番号165)	64. 0	21		\square
1	Hs_VNN1-Probe	AGTACCGATAACAGCCATGCACTGTGC (配列番号166)	72. 9	27	AGTGCTGTGATGATGGACAATTACATAGTACCGATAACAGCCATGCACTGTGCAAAG	1 1
Hs_VNN1	Hs_VNN1-F	AGTGCTGTGATGATGGACAATTAC(配列番号167)	63.8	24	CATGCCCTTCTGCACAGGAGAGCAA(配列番号230)	82
	Hs_VNN1-R	TTGCTCTCTGTGCAGAAGG(配列番号168)	65. 6	20		
	Hs_WT1-Probe	TCTCACCAGTGTGCTTCCTGCTGTGC(配列番号169)	76. 1		GTCGGCATCTGAGACCAGTGAGAAACGCCCCTTCATGTGTGCTTACCCAGGCTGCAA	1
Hs_WT1	Hs_WT1-F	GTCGGCATCTGAGACCAGTG (配列番号170)	66. 0			149
	Hs_WT1-R	GTTCACAGTCCTTGAAGTCACAC(配列番号171)	62. 6		GAAACCATACCAGTGTGACTTCAAGGACTGTGAAC(配列番号231)	
	Hs_ZWINT-Probe	CCACTGGTTCTGGACTGCTCTGCGTT(配列番号172)	75. 5		CCCAGAGGAAACGGACACACTCCGGGAAGCCTTTGAGCAGCTCCAGGCCAAGAAAC	
Hs_ZWINT	Hs_ZWINT-F	CCCAGAGGAAACGGACACAC (配列番号173)	67.8		AAATGGCCATGGAGAAACGCAGAGCAGTCCAGAACCAGTGGCAGCTACAACAGGAGA	124
L	Hs_ZWINT-R	TGCAGATGCTTCTCCTGTTGTAG(配列番号174)	65. 4	23	AGCATCTGCA(配列番号232)	

[0 0 8 4]

マイクロアレイ実験で同定された 2 1 7 遺伝子の中から、次なる q P C R 解析のため、以下のカテゴリー中の分子をコードする 1 2 1 遺伝子を選択した:

- 1)細胞膜または細胞外間隙に位置するもの、
- 2) サイトカイン、成長因子、膜貫通型受容体、プロテインキナーゼ、ホスファターゼ、 転写制御分子、および / またはシグナル伝達分子、ならびに

50

40

10

20

3) 免疫調節、細胞周期、アポトーシス、および / または細胞接着に関与するもの。

[0085]

リストは57遺伝子を含み、当該遺伝子のmRNAレベルは、HSCよりもLSCにおいて有意に(P<0.05 ; Kruskal-Wallis、Wilcoxon-Mann-WhitneyまたはStudent's t-検定による)高かった。表2中の左欄から順に、Entrez Gene ID(Column A)、HUGO Gene Symbol(Column B)、局在(Column C)、分子の機能(Column D)、生物学的プロセス(Column E)、各統計学的検定のP-value(Columns F-H)、mRNAレベルのメジアン値の比(Column I)およびHSC試料のmRNAレベルよりも高い発現レベルを示すLSC試料の数(Column J)を示す。

[0086]

本発明者らは、以前、AML患者起源の骨髄(BM)由来のLSCおよびAML患者B Mを移植したマウスのBM由来のLSCが類似した転写プロファイルを共有することを報 告した(Nature Biotechnology, 2007、上述)。この知見に 基づき、本発明者らは、2つのアレイプラットフォーム:Human Genome U 133 plus 2.0 GeneChips (16名のAML患者由来および5つの AML移植マウス由来のBMを2名の健常ドナー由来のBMおよび5名の健常ドナー由来 の臍帯血(CB)と比較)およびHuman Gene 1.0ST GeneChip s (1 名の A M L 患者由来 B M および 5 つの A M L 移植マウス由来の B M を健常ドナー 1 名のCBおよび4名のBMと比較)を用いて、LSCと正常造血幹細胞(HSC)とを比 較 す る 網 羅 的 ト ラ ン ス ク リ プ ト ー ム 解 析 を 行 っ た 。 以 前 の 研 究 に よ り A M L 幹 細 胞 が 独 占 的にCD34+CD38-画分内に存在することが見出されていたので、>1.2x10 ⁴ 個のCD34+CD38-細胞を>98%の純度で回収した(図1)。また、同様の方 法で、正常BMおよびCB試料からCD34+CD38-HSCも精製した(図1)。新 生NOD/SCID/IL2rgKOマウスに前記精製したHSCおよびLSCを静脈内 注射することにより、LSCによるAMLの発症および正常免疫再構成の欠如を確認し、 HSCによる長期移植および多系統(T/B/骨髄)分化を確認した(図1)。AML移 植マウスに由来するCD34+CD38+細胞またはCD34-細胞ではなく、CD34 + С D 3 8 - 骨髄細胞が、二次レシピエントにおいて白血病を引き起こした。これらのデ - タは、移植したCD34+CD38-細胞はHSCによって混入したのではなくLSC の性質を保持していることを示唆する。得られた発現データセットを解析するため、Bi oconductorパッケージに実装されたRankProd(Bioinforma tics 22, 2825, 2006)を用いて、両方のマイクロアレイプラットフ ォームでHSCよりもLSCにおいて有意に高い(p値<0.01、擬陽性のパーセント < 0 . 0 5)アレイシグナルを示す遺伝子を抽出した。全部で217遺伝子候補がこの基 準に適合し(図5、表1)、さらにIL2Rを追加し、218遺伝子候補とした。

[0087]

次に、LSCとHSCとを分離する候補の発現レベルを実証するため、5名のAML患者起源のBM由来のLSCおよび4名のBM由来のHSCを用いて、各候補遺伝子について定量PCR(aPCR)を行った(表3)。同定した217遺伝子の中から、医薬の開発に最も適する候補として、以下のカテゴリーの中の分子をコードする121遺伝子を選んでその後の解析を行った。前記カテゴリーは、以下の3つである:

1)細胞膜または細胞外間隙に位置するもの、

2)サイトカイン、成長因子、膜貫通型受容体、プロテインキナーゼ、ホスファターゼ、 転写調節分子、および/またはシグナル伝達分子、ならびに

3) 免疫調節、細胞周期、アポトーシス、および / または細胞接着に関与するもの。

[0088]

表 2 に示すように、 1 2 1 遺伝子のうちの 5 7 遺伝子に関する m R N A 含量は H S C に 比べて L S C において統計学的に高かった。前記 5 7 遺伝子のうち、 3 5 遺伝子を優れた 10

20

30

40

10

20

30

40

50

LSCマーカーとして同定した。その理由は、1)LSCにおいて、それらの遺伝子のメジアン発現レベルが5倍よりも高かったこと、および2)試験したすべてのLSC試料において、それらのmRNA含量が試験した各HSC集団のものよりも高かったことである(図2)。

[0089]

これらの L S C 特異的候補分子の発現をタンパク質レベルで確認するために、 3 5 候補 分 子 の そ れ ぞ れ に 対 す る 利 用 可 能 な モ ノ ク ロ ー ナ ル 抗 体 お よ び ポ リ ク ロ ー ナ ル 抗 体 の 品 質 を検証し、有効性を確認した抗体および32のAML患者試料を用いてフローサイトメト リー解析を行った。フローサイトメトリー解析を通じて、各候補分子における以下の側面 を調べた:1)局在(細胞表面または細胞内)、2)陽性細胞の頻度および3)発現強度 。このように評価した57の候補分子の中から、FCGR2A(CD32)、ITGB2 (CD18)、CD93、CD33、CD3DおよびTNF(TNFa)がLSC特異的 マーカー/標的として最も有望な発現レベル/パターンを有していることを見出した。特 に、FCGR2A(CD32)発現は、試験したAML症例の有意な割合でLSCとの強 い相関を示し、さらなる機能解析のために選択した。試験した32のAML症例のうちの 9 つの症例で、 A M L 幹細胞の大多数 (> 8 0 %) がこの抗原を発現する (図 3) 。 C D 32発現が機能と排他的に相関することを確認するため、AMLの3症例由来の精製LS Cを用いて、インビボNOD/SCID/IL2rgKO移植アッセイを行った。 精製し た C D 3 4 + C D 3 8 - C D 3 2 + および C D 3 4 + C D 3 8 - C D 3 2 - 細胞を亜致死 的 に 照 射 した レシ ピエン ト に 移 植 し た 場 合 、 C D 3 2 + 画 分 か ら A M L が 独 占 的 に 発 症 し た(図4)。LSCを標的とするいかなる治療も非LSC AML細胞を除去するのに有 効な慣用の化学療法剤ともに最良に使用されると考えられるので、化学療法後でも標的分 子が連続して発現されることを確認することが重要である。したがって、本発明者らは、 CD32の発現が化学療法後に維持されるかどうかを調べ、AraC処置後のAML移植 マウスのBM、脾臓および末梢血(PB)のCD32の発現を確認した(図6)。また、 CD32発現細胞は、免疫蛍光標識により、骨髄の骨髄膜領域および中央領域内の両方に 見出された(図4)。本知見は、化学療法耐性LSCがBM骨芽細胞ニッチ内に存在する という本発明者らの以前の報告に照らし合わせて、LSC標的療法の候補としてCD32 をさらに支持する(Ishikawa F. et al. Nature Biote chnol 25:1315-1321, 2007およびPCT/JP2008/06 8 8 9 2) 。

[0090]

次に、正常ヒトHSC中のCD32の発現を評価した。原始ヒトCB CD34+CD38-集団内で、CD32+細胞の頻度は、9.8% +/- SDであった(図4A)。本画分内のCD133の発現を解析したとき、CD34+CD38-CD133-画分内にCD32+細胞を独占的に検出した(図4a)。異種移植アッセイにより、CD34+CD38-CD133+CD32-画分がHSCを含むことを見出した(図4B)。さらに、インビトロコロニー形成細胞(CFC)アッセイにより、CD34+CD38-CD32+細胞ではなくCD34+CD38-CD32+細胞ではなくCD34+CD38-CD32-細胞が骨髄系および赤血球系造血コロニーを生じる能力を有することが示唆された。CD32+正常HSCにおけるインビボ長期免疫造血再構成能の欠如は、CD32発現細胞を標的とする治療剤がHSCに危害を与えず、正常な造血および免疫系に関する重大な副作用の回避を助長する可能性を示唆する。

[0091]

LSCがCD32を発現しないAML患者試料において、本発明者らは、新生NOD/SCID/IL2rgKOマウス移植アッセイにより、CD34+CD38-細胞がLSC機能を保有することを最初に確認し(図1)、次に、フローサイトメトリーによりITGB2(CD18)、CD33、CD3DおよびTNF の発現を調べた。抗原CD32、ITGB2、CD93、97および33の併用は、47症例の中の31症例において正常HSCからL

SCを良好に分離することが可能である。

[0092]

2 つのセットのマイクロアレイおよび定量PCRにより同定されたLSC特異的遺伝子 リスト (表 2) は 、 骨 髄 後 代 で 優 先 的 に 発 現 さ れ る 遺 伝 子 を 含 む が 、 H S C で は 発 現 が 限 定されている。例えば、FCGR2A、HCKおよびNCF4は成熟骨髄細胞で高度に発 現し、免疫複合体の食作用およびその後のスーパーオキシド産生に関与する(Prot Natl Acad Sci USA, 97, 1725;2000; J Exp 191, 669, 2000; Nat Cell Biol, 3, 679, 2001; J Biol Chem 279, 1415, 2004)。他方、CD 3 複合体の構成成分である C D 3 D は、成熟 T リンパ球において、その I T A M モチーフ を介するT細胞受容体シグナルを伝達する。したがって、AMLの少なくとも一定の割合 は幹細胞ステージで分化の異常調節を介して発症する可能性がある。

[0093]

リストの別の特徴は、癌細胞および白血病細胞で顕著に発現された遺伝子の関与である 。例えば、CD33はAML細胞のよく認識された免疫学的マーカーであり、ゲムツズマ ブ オゾガマイシン(gemtuzumab ozogamicin)等の抗体医薬の標 的である (Leukemia 19: 176, 2005)。さらに、CD97はリン パ管内に浸潤する結腸直腸癌に蓄積されることが報告されている(Am 1 6 1 , 1 6 5 7 , 2 0 0 2) 。 L S C におけるこれらの分子の過剰発現は、こ れ ら の 分 子 を 標 的 に す る 治 療 法 が L S C ば か り で な く 成 熟 A M L 細 胞 に も 有 効 で あ る か も しれない。BIK、HOMER3、WT1 (Genes Chromosomes ncer 47, 8-20, 2008)およびCLEC12A (encoding CLL-1)(Blood 110, 2659-2666, 2007)などの遺伝 子産物はLSC/AMLブラスト(blasts)に対するマーカー分子として提案され てきたことに注目すべきであり、このことは、本発明の知見が既報と一致することを示し ている。

[0094]

発現レベル/パターンの解析により、候補遺伝子が以下のセットに分類された: 1)RNAおよびタンパク質レベルでLSCの有意な割合で発現するが、HSCの少ない 割合でしか発現しない(または無発現)分子をコードする遺伝子群、ならびに 2)LSCおよびHSCにおいてタンパク質レベルで発現するが、フローサイトメトリー による発現強度がHSCからLSCの分離を可能にする遺伝子群。

[0095]

遺 伝 子 セ ッ ト 1 は 、 L S C を 特 異 的 に 標 的 化 し 、 H S C に 危 害 を 加 え な い 、 例 え ば 、 正 常 HSCに前記候補が欠如していることに基づく抗体医薬などの治療剤の開発にとって有 力な候補を含む。遺伝子セット2に含まれる遺伝子(最も有望な候補としてCD33)は 、 自 家 造 血 幹 細 胞 移 植 の 背 景 で 、 H S C か ら L S C を 分 離 す る L S C の エ ク ス ビ ボ パ ー ジ ング等での適用に有力な利用可能性をもつバイオマーカーをコードする。

[0096]

図 7 では、 各マーカー(F C G R 2 A , A K 5 , D O K 2 , L R G 1 , B I K , I L 2 RA,WT1及びSUCNR1)に対する抗体と静止細胞特異的マーカーを用いて、場所 と 細 胞 周 期 を イ メ ー ジン グ に て 同 定 す る こ と で 、 抗 が ん 剤 抵 抗 性 を 示 す 幹 細 胞 の 存 在 す る 骨内膜(ニッチ)にこれらの分子が多く存在すること、さらに、細胞周期の静止期にある 白血病幹細胞に発現していることが判明した。したがって、これらの各マーカー分子を標 的とすることが、白血病の再発克服に大きく貢献すると考えられる。

尚、WT1は、白血病をはじめ、多くの腫瘍にて発現が確認されている。しかし、この 分 子 が 再 発 や 抗 が ん 剤 抵 抗 性 を 示 す 幹 細 胞 レ ベ ル に 発 現 し て い る か ど う か に つ い て は 、 知 られていなかった。本発明者らは、細胞周期が静止した、ニッチに存在する白血病幹細胞 に 発 現 す る こ と を 見 出 し た こ と か ら 、 こ れ ま で の 化 学 療 法 や 放 射 線 治 療 で は 死 滅 さ せ る こ とができなかった白血病幹細胞を殺すための標的分子として意義があることを示している 10

20

30

40

[0097]

また、47名の様々なステージのAMLの症例から末梢血を採取して造血細胞を含む試料を調製し、試料中に含まれる白血病幹細胞でのFCGR2A(CD32a),FCGR2B(CD32b),IL2RA(CD25),ITGB2(CD18)およびCD93の陽性率を調べた。結果を表4に示す。

[0098]

【表4】

	n	Any marker	CD32-a	CD32-b	CD25	CD18	CD93
AML MO	2	2	2	0	0	0	0
% marker positive		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
AML M1	7	4	0	2	2	3	0
% marker positive		57.1	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0
AML M2	14	9	5	4	4	5	1
% marker positive		64.3	35.7	28.6	28.6	35.7	7.1
AML M4	4	4	3	1	1	2	1
% marker positive		100.0	75.0	25.0	25.0	50.0	25.0
Other AML	3	1	1	0	0	0	0
% marker positive		33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
MDS/AML	17	11	3	6	9	0	1
% marker positive		64.7	17.6	35.3	52.9	0.0	5.9
All cases	47	31	14	13	16	10	3
% marker positive		66.0	29.8	27.7	34.0	21.3	6.4

[0099]

表4より、FCGR2A(CD32a),IL2RA(CD25),ITGB2(CD18)およびCD93の4種類のマーカーを組み合わせることにより、高率に白血病幹細胞を識別でき、これら4種類の遺伝子を標的とする医薬を組み合わせることにより、60%を超える白血病細胞が駆逐できることが示された。

【産業上の利用可能性】

[0100]

本発明で見出された白血病幹細胞マーカーを分子標的とすることにより、AMLの発症源または再発源であるLSCに特異的に作用する治療剤を提供することができる。本発明で見出された白血病幹細胞マーカーを指標としてFACS等の細胞選別装置を用いて、患者またはドナーの骨髄細胞からLSCを特異的に除去することができる。これにより、自家または同種骨髄移植の際のパージングの効率が高くなり、急性骨髄性白血病の再発または初発を有意に防止することができる。さらに、本発明で見出された白血病幹細胞マーカーを指標として、採取した生体試料中または生体内でLSCの存否を測定することができ、これにより急性骨髄性白血病の再発または初発を予測することもできる。

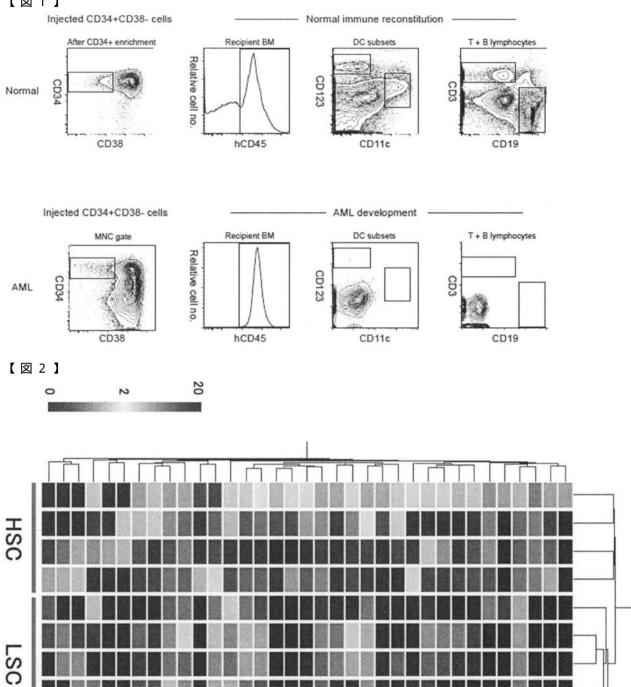
[0101]

本出願は、日本で出願された特願2009-072400(出願日:平成21年3月2 4日)を基礎としており、その内容は本明細書にすべて包含される。 10

20

AK5
HCST
CD3D
CTSC
GPR84
DOK2
ALOX5AP
CACNB4





RNASE2 CD33 LGALS1 CD93 HCK ITGB2 TNFSF13B

BIK HOMER3 NCF4

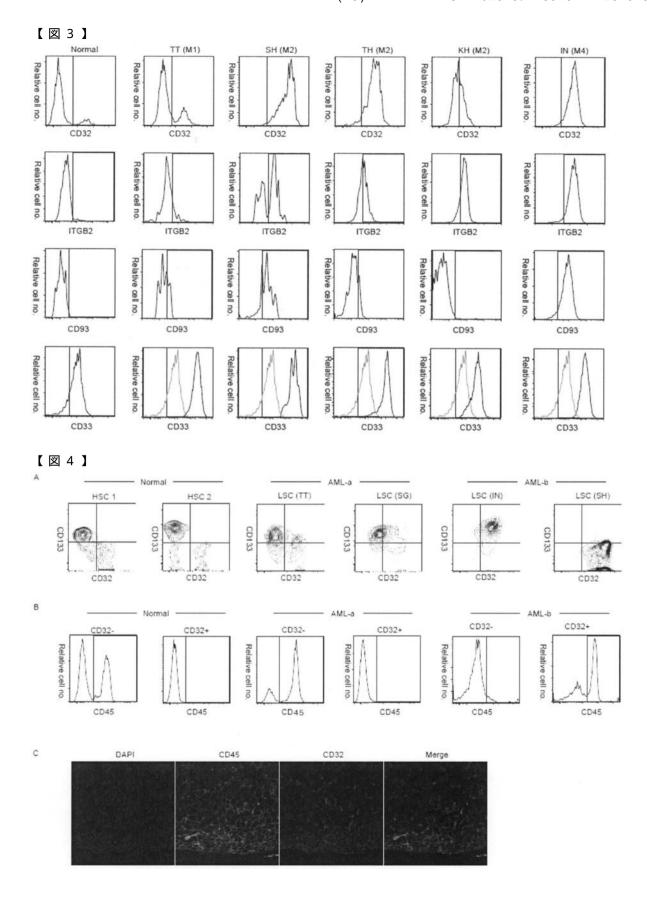
PRKCD

PDE9A PDK1 LRG1

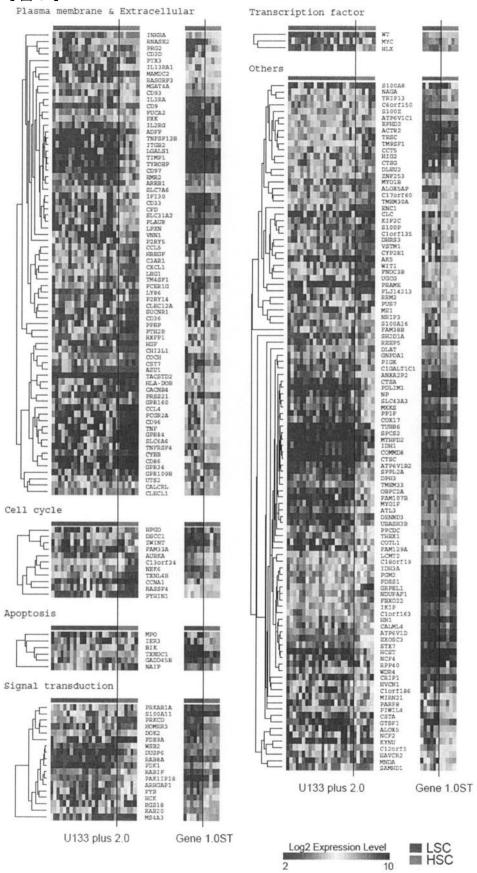
CD97 CLEC12A FYB

NEK6 TYROBP

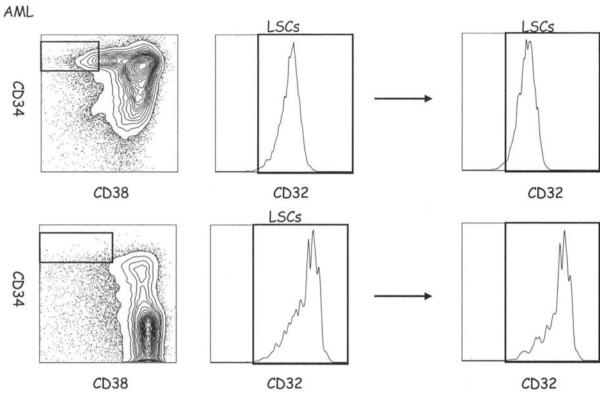
CCL5 TNF FCGR2A PTH2R



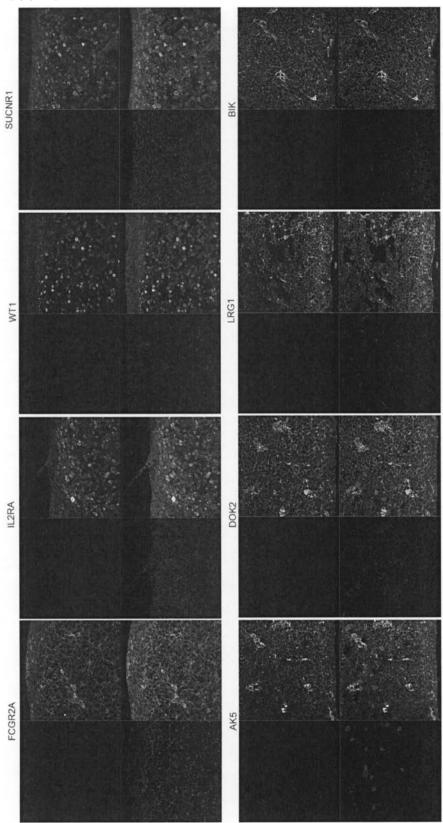
【図5】



【図6】



【図7】



【配列表】 2010110346000001.app

【国際調査報告】

	INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International appli	cation No.		
			PCT/JP2	010/055131		
	A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER C12Q1/68(2006.01)i, C12N15/09(2006.01)i					
According to Inte	ernational Patent Classification (IPC) or to both national	l classification and IP	C			
B. FIELDS SE						
C12Q1/68,	nentation searched (classification system followed by cla C12N15/09					
Jitsuyo Kokai Ji	tsuyo Shinan Koho 1971-2010 To	tsuyo Shinan T roku Jitsuyo S	oroku Koho hinan Koho	1996–2010 1994–2010		
	ase consulted during the international search (name of ds/JMEDPlus (JDreamII), CAplus/BI					
C. DOCUMEN	ITS CONSIDERED TO BE RELEVANT					
Category*	Citation of document, with indication, where app	· ·	ant passages	Relevant to claim No.		
Р,Х	WO 2009/051238 A1 (Riken, Jaj 23 April 2009 (23.04.2009), paragraphs [0026] to [0029] (Family: none)	pan),		1-11		
X/Y	Naoki HOSEN et al., "CD96 wa Hakketsubyo Kansaibo Tokuiteki Saibo Hyomen Marker de aru", Japanese journal of clinical immunology, 2007, vol.30, no.4, page 349 3,7-9/1-2, 4-6,10-11					
X/Y	Kotsuzuisei Hakketsubyo ni Oi Kansaibo to Seijo Zoketsu Kai suru Marker de aru", Dai 66 K the Japanese Cancer Associati	oki HOSEN et al., "CD96 wa Hito Kyusei 3,7-9/1-2, tsuzuisei Hakketsubyo ni Oite Hakketsubyo nsaibo to Seijo Zoketsu Kaisaibo o Kubetsu ru Marker de aru", Dai 66 Kai Proceedings of a Japanese Cancer Association, 20 August D7 (20.08.2007), pages 76 to 77				
X Further do	cuments are listed in the continuation of Box C.	See patent fan	nily annex.			
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means		"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination		ation but cited to understand invention. Italiamed invention cannot be dered to involve an inventive claimed invention cannot be step when the document is document, such combination.		
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "&" document member of the same patent family				amily		
14 Apri	completion of the international search 11, 2010 (14.04.10)	Date of mailing of th 27 April	ne international sear , 2010 (27.			
	g address of the ISA/ se Patent Office	Authorized officer				
Facsimile No.		Telephone No.				

Facsimile No.
Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 2009)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2010/055131

		PCT/JP2	2010/055131
C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relev	ant passages	Relevant to claim No.
X/Y	HOSEN, N., et al., "CD96 is a leukemic st cell-specific marker in human acute myelo leukemia", Proc. Natl. Acad. Sci. U.S.A., Vol. 104, No. 26, pp.11008-11013	oid	3,7-9/1-2, 4-6,10-11
Y	STIREWALT, D., L et al., "Identification Genes with Abnormal Expression Changes in Myeloid Leukemia", Genes, Chromosomes and Cancer, 2008, Vol. 47, pp.8-20	n Acute	1-2,4-6,
A	JP 2007-527238 A (Erasmus Universiteit Rotterdam), 27 September 2007 (27.09.2007), paragraphs [0097] to [0133] & US 2008/0305965 A1 & EP 1723257 A & WO 2005/080601 A2 & CA 2558366 A & CN 101088089 A & SG 155968 A		1-11
A	WO 2005/045434 A2 (ROCHE DIAGNOSTICS GME 19 May 2005 (19.05.2005), claim 1; table 1 & US 2007/0105118 A1 & EP 1682898 A	SH),	1-11
A	Keiki KUMANO, et al., "Zoketsuki Shuyo ni Okeru Gan Kansaibo Kenkyu no Shinten: AMI Kansaibo Kenkyu no Shinten", Hematology (Oncology, 28 June 2008 (28.06.2008), vol. no.6, pages 694 to 700	<u>.</u> 5	1-11
A	DORN, D., C., et al., "The effect of cantharidins on leukemic stem cells", Int Cancer, 2008.11.19, Vol. 124, pp.2186-219		1-11

Form PCT/ISA/210 (continuation of second sheet) (July 2009)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2010/055131

	PCT/JP2010/055131
Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Contin	uation of item 2 of first sheet)
This international search report has not been established in respect of certain claims under 1. Claims Nos.: 12 because they relate to subject matter not required to be searched by this Authorit It pertains to a method for treatment of the hu	y, namely:
 Claims Nos.: because they relate to parts of the international application that do not comply wite extent that no meaningful international search can be carried out, specifically: 	th the prescribed requirements to such an
Claims Nos.: because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the security security.	cond and third sentences of Rule 6.4(a).
Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of ite	em 3 of first sheet)
This International Searching Authority found multiple inventions in this international app	lication, as follows:
 As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this interclaims. As all searchable claims could be searched without effort justifying additional fees, additional fees. As only some of the required additional search fees were timely paid by the appli only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.: 	this Authority did not invite payment of
No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequences restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims in the claims in the claims. Remark on Protest	Ios.:
Remark on Protest The additional search fees were accompanied by the appayment of a protest fee.	oplicant's protest and, where applicable, the
The additional search fees were accompanied by the ag fee was not paid within the time limit specified in the i	
No protest accompanied the payment of additional sea	rch fees.

Form PCT/ISA/210 (continuation of first sheet (2)) (July 2009)

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP2010/055131

発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int.Cl. C12Q1/68(2006.01)i, C12N15/09(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int,Cl. C1201/68, C12N15/09

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2010年 1996-2010年 日本国実用新案登録公報 日本国登録実用新案公報 1994-2010年

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

JSTPlus/JMEDPlus(JDreamII), CAplus/BIOSIS/MEDLINE/WPIDS(STN)

С.	関連す	ると認め	られる又献

) C BEN ON THE CONTROL OF THE CONTRO	
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
PX	WO 2009/051238 A1 (独立行政法人理化学研究所) 2009.04.23, 段落【0026】-【0029】 (ファミリーなし)	1-11
X/Y	保仙直毅 他, "CD96 は白血病幹細胞特異的細胞表面マーカーである", 日本臨床免疫学会会誌,2007,第30巻、第4号,pp.349	3, 7-9 /1-2, 4-6, 10- 11

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

- * 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって もの
- 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願目 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用す る文献(理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願
- の日の後に公表された文献
- 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査報告の発送日 国際調査を完了した日 14.04.2010 27.04.2010

国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁([SA/JP) 郵便番号100-8915 特許庁審査官(権限のある職員)

4 B 4153

高山 敏充 電話番号 03-3581-1101 内線 3448

様式PCT/ISA/210 (第2ページ) (2009年7月)

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP2010/055131

C(続き).	関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー *	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときる	は、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X/Y	保仙直毅 他, "CD96 はヒト急性骨髄性白血病において、 細胞を区別するマーカーである", 第66回 日本癌学会学術総会記事,2007		3,7-9 /1-2,4-6,10- 11
X/Y	HOSEN, N., et al., "CD96 is a leukemic sin human acute myeloid leukemia", Proc. 2007, Vol. 104, No. 26, pp.11008-1101	Natl. Acad. Sci. U.S.A.,	3,7-9 /1-2,4-6,10- 11
Y	STIREWALT, D., L et al., "Identification of Genes with Abnorma Acute Myeloid Leukemia", Genes, Chromosomes and Cancer, 2008,		1-2, 4-6, 10-11
A	JP 2007-527238 A(エラスムス ウニベル 2007. 09. 27, 段落【0097】-【0133】 & US 2008/0305965 A1 & EP 1723257 A & 2558366 A & CN 101088089 A & SG 15596	& WO 2005/080601 A2 & CA	1-11
A	WO 2005/045434 A2 (ROCHE DIAGNOSTICS 2005.05.19, Claim 1, Table 1 & US 2007/0105118 A1 & EP 1682898 A	СМВН)	1-11
A	熊野恵城 他, "造血器腫瘍におけるがん幹細胞研究の進 ", 血液・腫瘍科, 2008.06.28, 第 56 巻、第		1-11
A	DORN, D., C., et al., "The effect of cantharidins on leuken Int. J. Cancer, 2008.11.19, Vol. 124,		1-11

様式PCT/ISA/210 (第2ページの続き) (2009年7月)

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP2010/055131

第Ⅱ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見 (第1ページの2の続き)				
法第8条第3項 (PCT17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。				
1. 🌠 請求項 12 は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。				
つまり、				
人の身体の治療による処置に該当するものである。				
2. 🏥 請求項 は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしてい	· \			
ない国際出願の部分に係るものである。つまり、				
3. 清 請求項 は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に				
従って記載されていない。				
第Ⅲ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見(第1ページの3の続き)	\dashv			
次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。				
1. ご 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な計	青水			
項について作成した。				
2. 🏥 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求項について調査することができたので、追加	調			
査手数料の納付を求めなかった。				
3. 🔚 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の)納			
付のあった次の請求項のみについて作成した。				
4. 『 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記	2載			
されている発明に係る次の請求項について作成した。	<u> </u>			
the health are Wildle or the first or the fi				
追加調査手数料の異議の申立てに関する注意 ご 追加調査手数料及び、該当する場合には、異議申立手数料の納付と共に、出願人から異議申立てがあった。				
1: 垣加調査于数料の納付と共に出願人から異議申立于数料の約付と共に、出願人がら異議中立とかのつた。 ご: 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあったが、異議申立手数料が納付命令書に示した期間				
内に支払われなかった。	'			
****・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				

様式PCT/ISA/210(第1ページの続葉(2))(2009年7月)

フロントページの続き

(51) Int.CI.			FΙ			テーマコード(参考)
A 6 1 K	31/7105	(2006.01)	A 6 1 K	31/7105		
A 6 1 K	31/713	(2006.01)	A 6 1 K	31/713		
A 6 1 K	31/7135	(2006.01)	A 6 1 K	31/7135		
A 6 1 K	39/395	(2006.01)	A 6 1 K	39/395	E	
A 6 1 K	48/00	(2006.01)	A 6 1 K	39/395	Т	
			A 6 1 K	39/395	С	
			A 6 1 K	39/395	L	
			A 6 1 K	48/00		

(81)指定国 AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,SD,SL,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,MD,RU,TJ,TM),EP(AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IS,JP,KE,KG,KM,KN,KP,KR,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PE,PG,PH,PL,PT,RO,RS,RU,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SM,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,ZA,ZM,ZW

(74)代理人 100163658

弁理士 小池 順造

(74)代理人 100174296

弁理士 當麻 博文

(72)発明者 石川 文彦

神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号 独立行政法人理化学研究所 横浜研究所内

(72) 発明者 小原 收

神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号 独立行政法人理化学研究所 横浜研究所内

(72)発明者 齊藤 頼子

神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号 独立行政法人理化学研究所 横浜研究所内

(72) 発明者 北村 浩

神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号 独立行政法人理化学研究所 横浜研究所内

(72)発明者 土方 敦司

神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号 独立行政法人理化学研究所 横浜研究所内

(72)発明者 小澤 秀俊

神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号 独立行政法人理化学研究所 横浜研究所内

(72)発明者 シュルツ、レオナルド ディー.

アメリカ合衆国、メイン州バー ハーバー、メイン ストリート 600、ザ ジャクソン ラボラトリー内

Fターム(参考) 4B024 AA01 AA11 CA04 CA05 CA06 CA09 CA10 CA12 GA18 HA08

HA09 HA12 HA14

4B063 QA01 QA18 QA19 QQ08 QQ42 QQ53 QR08 QR32 QR36 QR42

QR56 QR62 QR63 QR66 QR77 QR82 QS12 QS16 QS25 QS34

QX02

4C084 AA13 AA17 NA14 ZB05 ZB09 ZB27

4C085 AA13 AA14 AA26 BB01 BB11 CC21 DD62 EE01

4C086 AA01 AA02 EA16 MA01 MA04 NA14 ZB05 ZB09 ZB27

(注)この公表は、国際事務局(WIPO)により国際公開された公報を基に作成したものである。なおこの公表に係る日本語特許出願(日本語実用新案登録出願)の国際公開の効果は、特許法第184条の10第1項(実用新案法

第48条の13第2項)により生ずるものであり、本掲載とは関係ありません。